

令和4年度

群馬県内児童館実態調査 集計結果

公益財団法人 群馬県児童健全育成事業団
群馬県児童館連絡協議会

1. 群馬県児童館実態調査の 実施概要

● 実施概要

● 調査目的

群馬県内児童館の実態を総合的に調査し、その現状を明らかにすることで今後の児童館の推進・発展を図る際の基礎資料として役立てていくことを目的とする。

● 調査対象

群馬県内の全市町村(35市町村)における児童館を主管する部署の担当者および「群馬県こども未来部・健康福祉部関係施設等一覧」に基づく各児童館(66館)を対象として調査を依頼した。

● 調査方法・期間

令和4年10月1日～令和5年3月31日を期間とし、調査票を郵送配布により行った。

● 調査項目

市町村調査票：児童館の設置状況、児童館施策と運営内容など 計26問

児童館調査票：児童館の施設概要、運営内容と活動内容など 計61問

● 集計結果の公開

- 集計結果は、ぐんまこどもの国
児童会館公式HPに公開する。

URL（右記二次元コードからもアクセス可）

[https://kodomonokuni.or.jp/another/
conference/](https://kodomonokuni.or.jp/another/conference/)

- PDFファイルを閲覧・ダウンロード
可能。

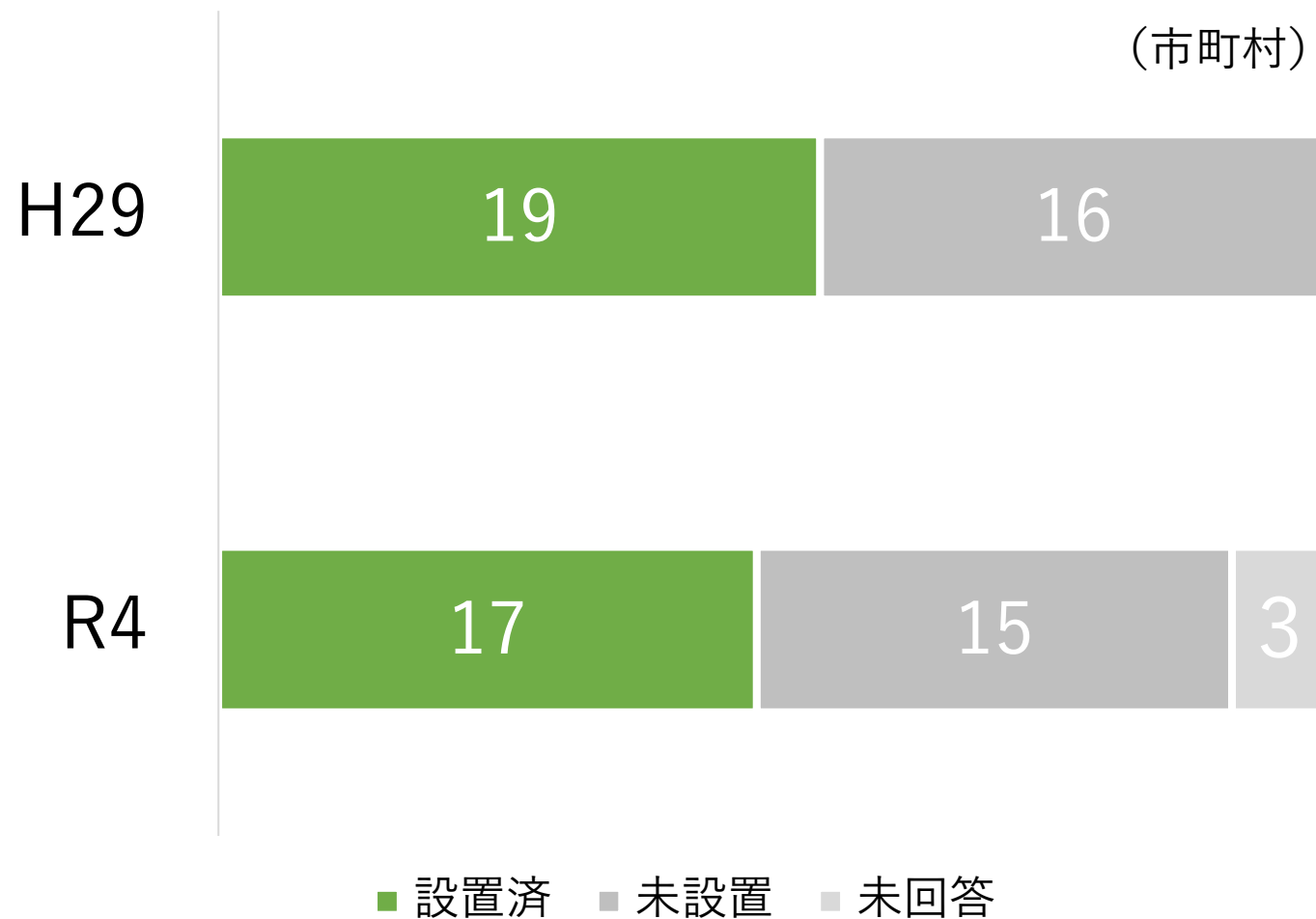


2. 市町村調査票の集計

| | 令和4年 | 平成29年 |
|------|------|-------|
| 配布： | 35件 | 35件 |
| 回収： | 32件 | 35件 |
| 回収率： | 91% | 100% |

(1) 児童館の設置状況

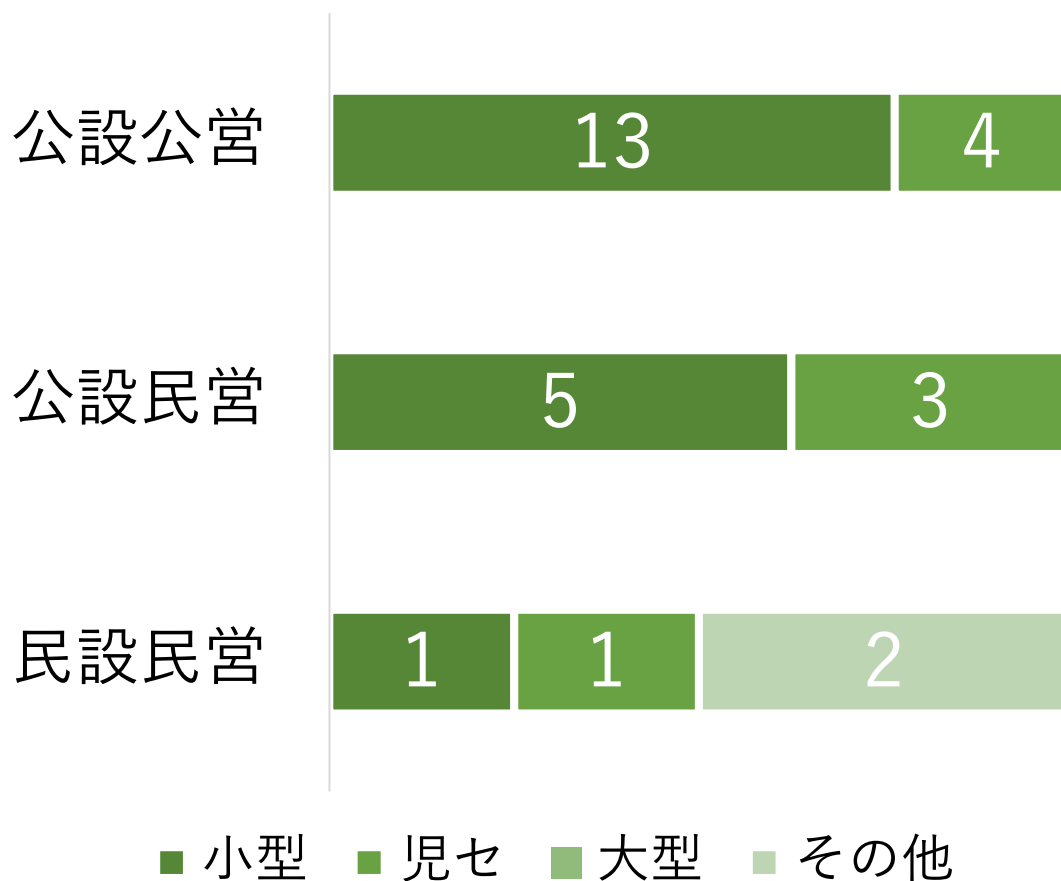
● 児童館の設置



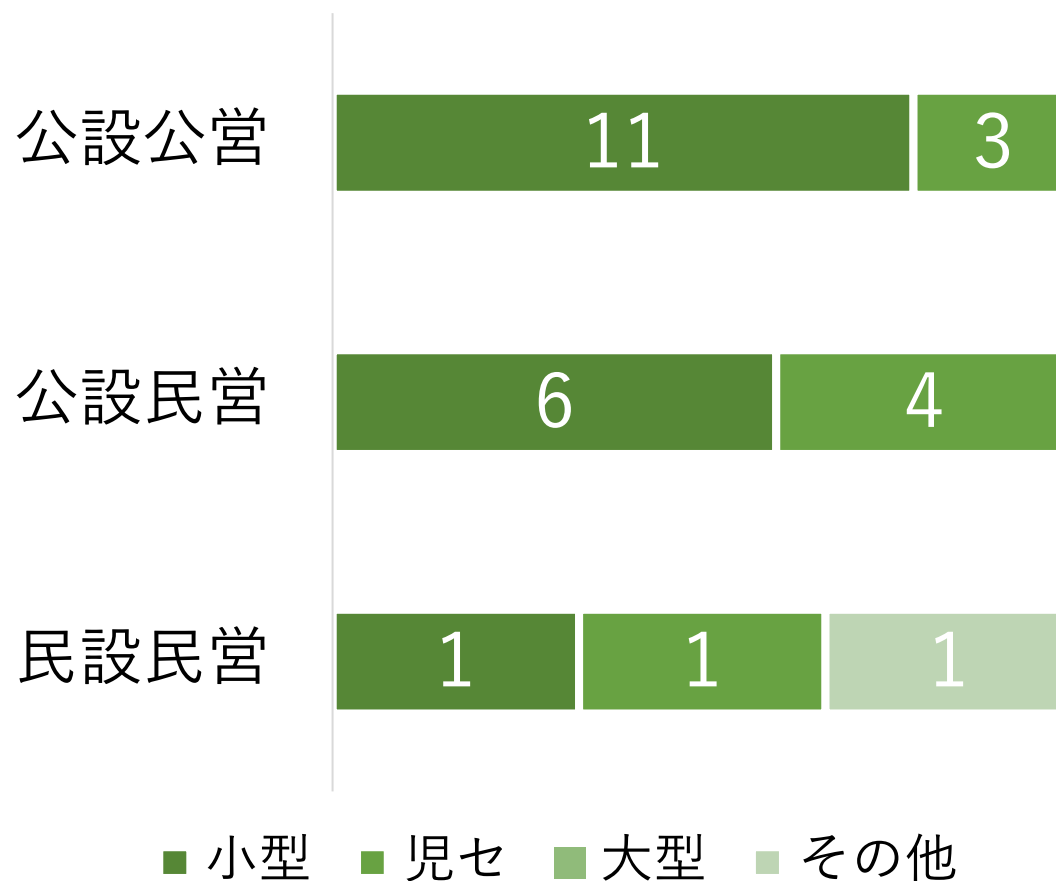
- 児童館数が減少している。
(未回答の自治体には児童館が設置されていないことが分かっている)

● 児童館の規模別・運営形態別 設置状況

平成29年度 (n=17)



令和4年度 (n=14、未回答3市町村を除く)

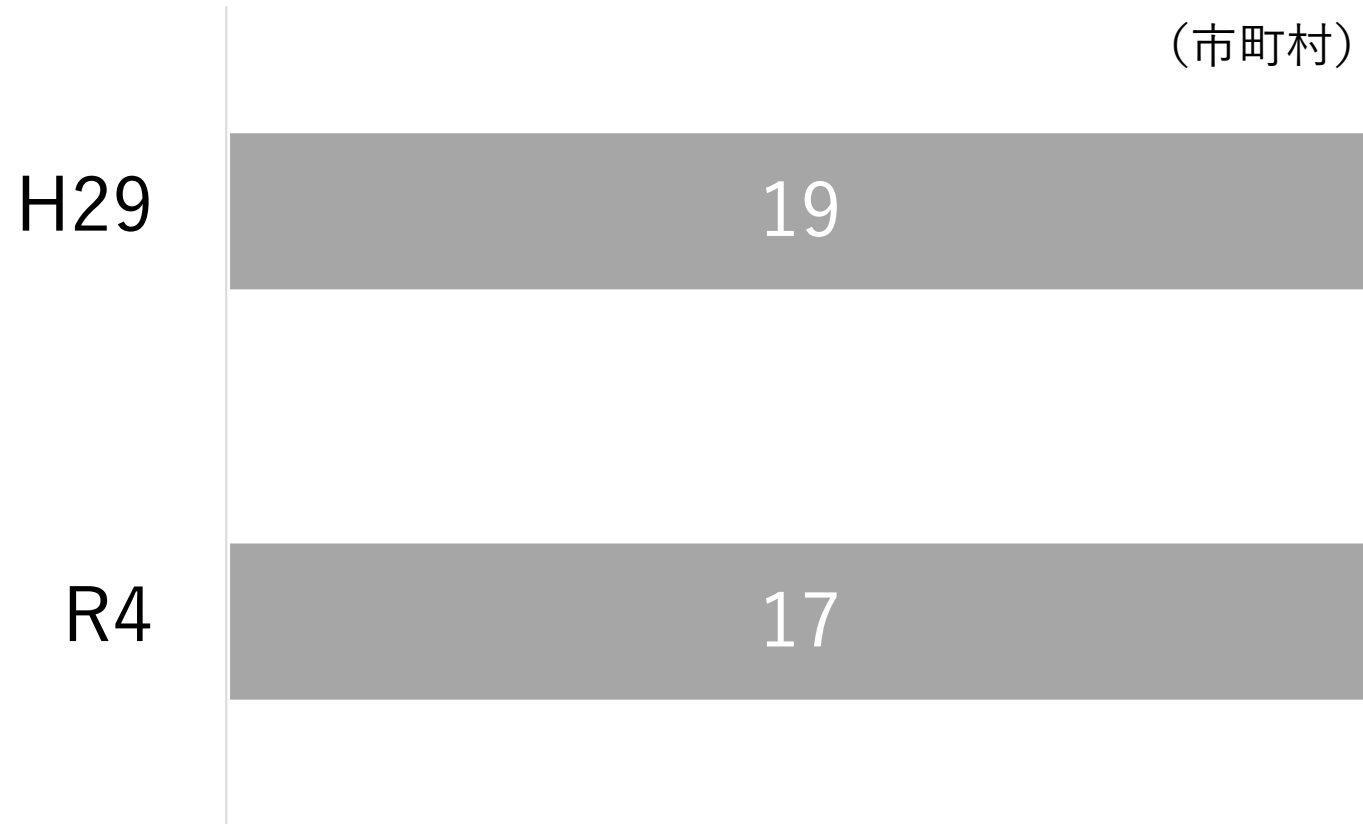


● 児童館新設予定（令和5年度末までに）



- 児童館新設の予定は全市町村において、ない。
- 児童館未設置地域の回答がないため、児童館未設置地域に新設予定があるか不明。

● 休館・廃止の予定

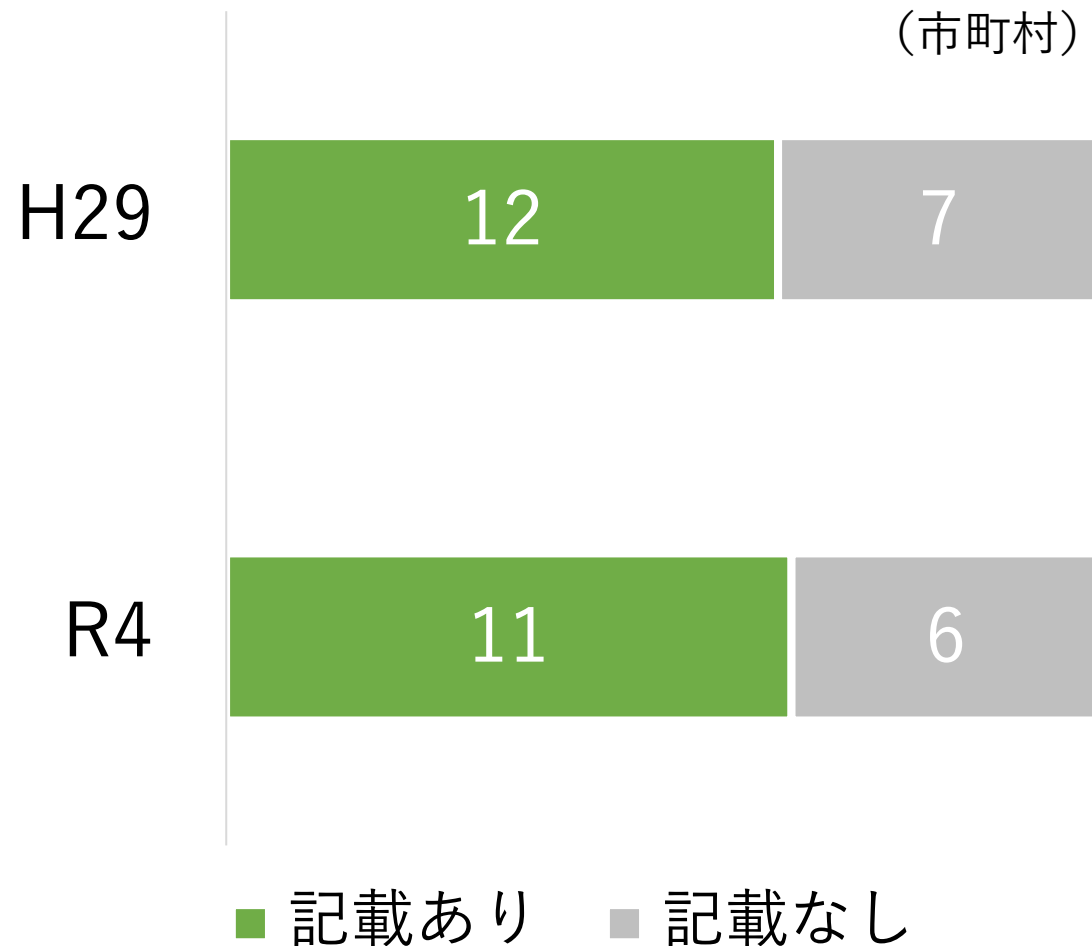


- 全市町村で、休館・廃止の予定はない。

■ 予定なし

(2) 児童館施策と運営内容

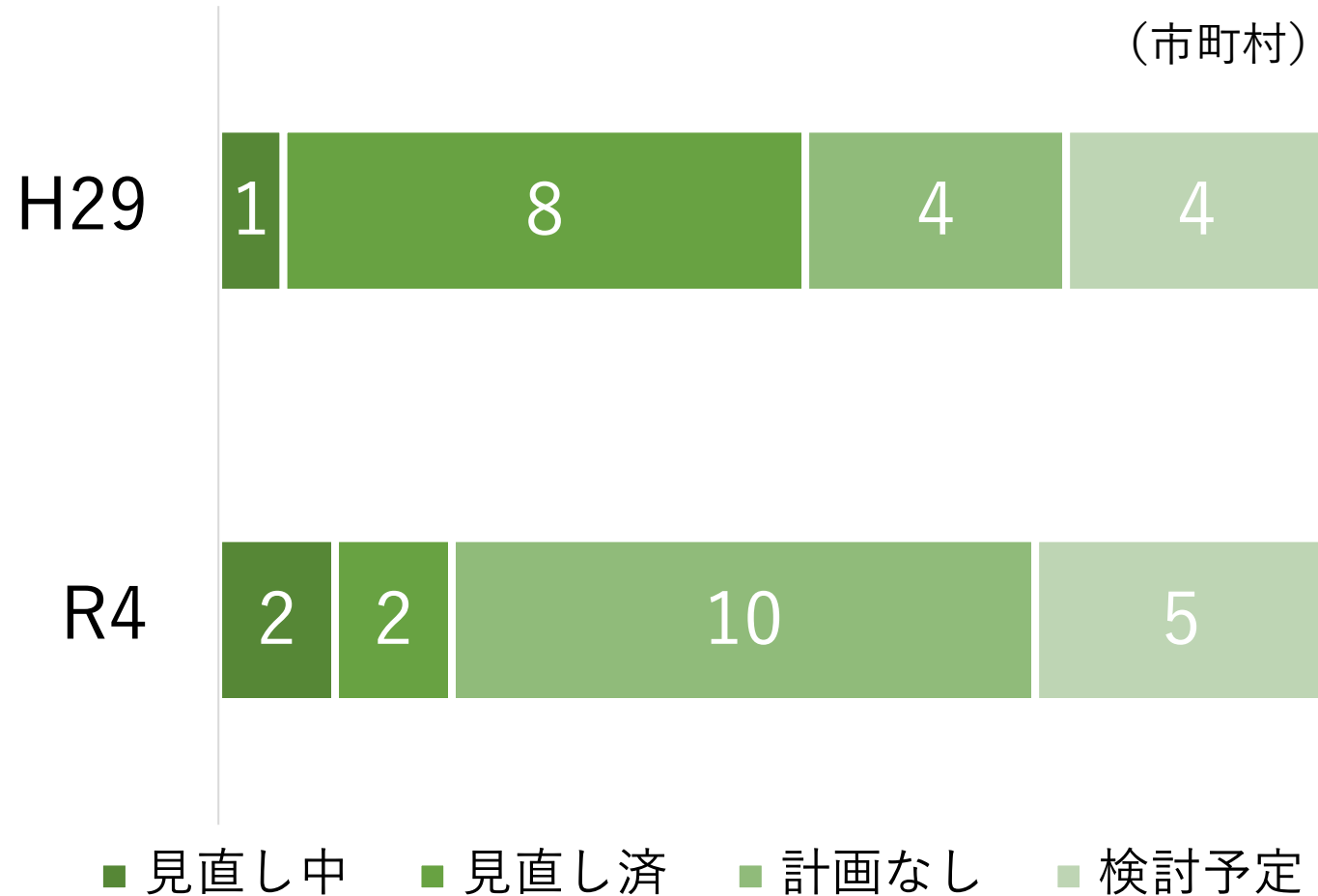
● 「次世代育成支援行動計画」に児童館の施策の記載有無



主な記載内容

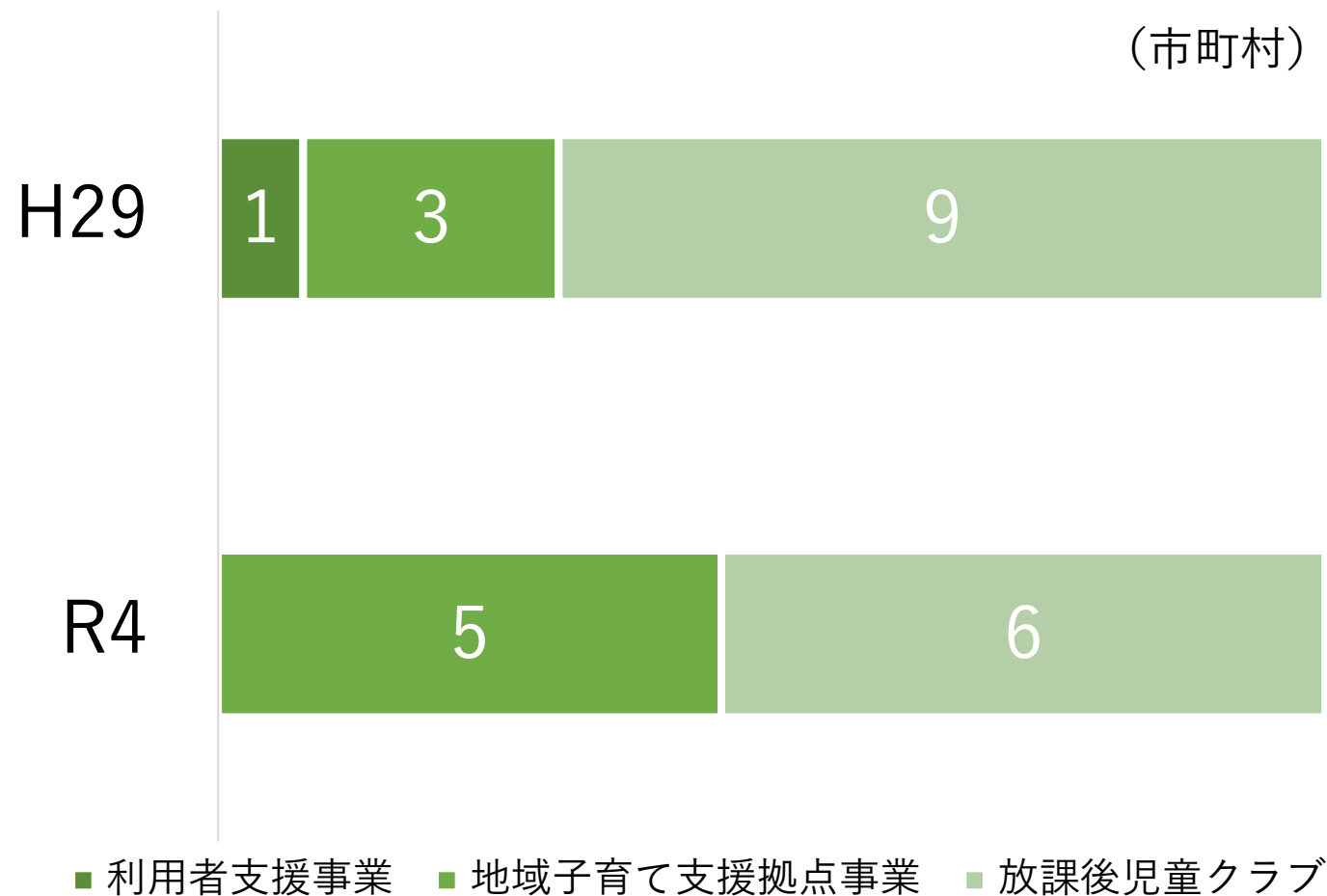
- 子どもの居場所づくりの推進
- 児童館および放課後児童クラブの確保について
- 地域における子育て支援事業の充実
- 児童館におけるボランティア活動の推進 など

● 児童館施策の見直し計画



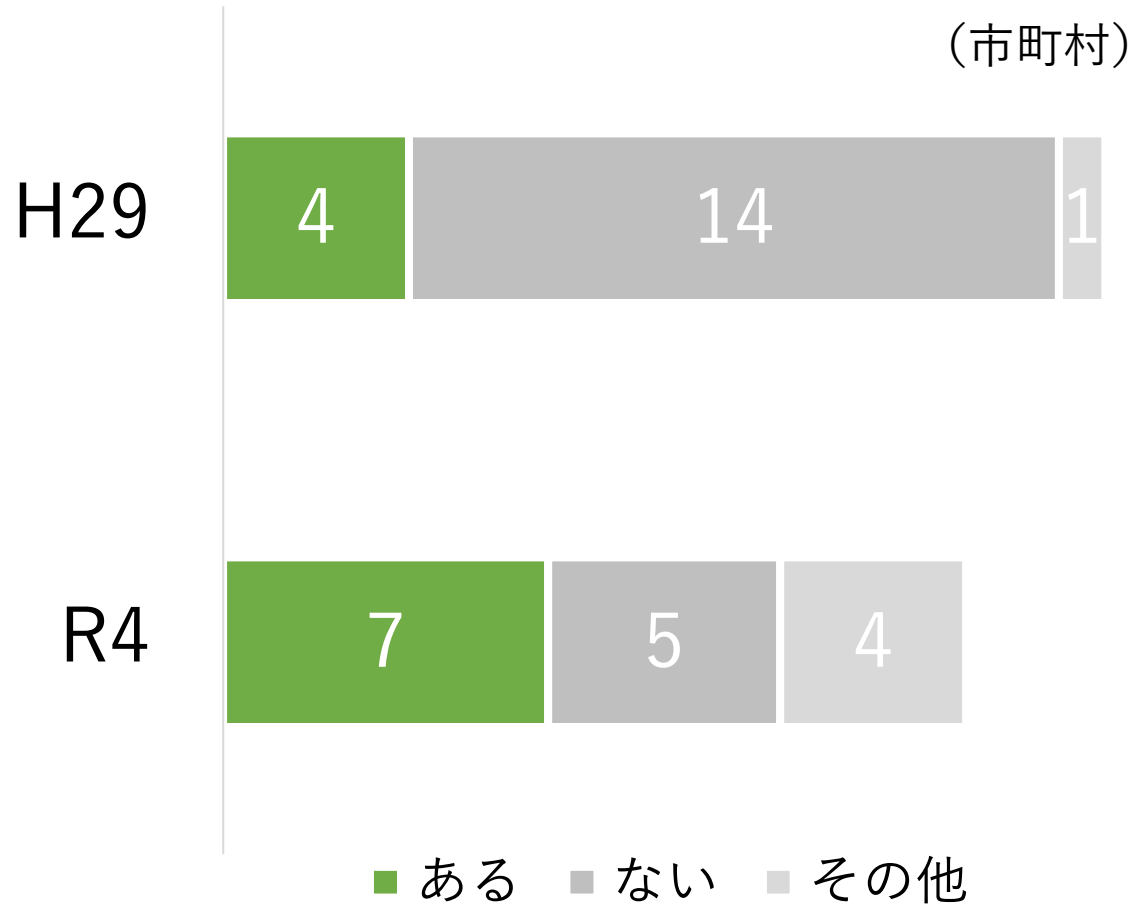
- 令和4年度は、児童館施策の見直し計画がない市町村が多かった(52.6%)。

● 地域子ども・子育て支援事業：実施中または実施予定の事業



- 令和4年度は、地域子育て支援拠点事業と放課後児童クラブを実施中または実施予定としている回答があった。

● 児童館運営に関する自治体の指針やガイドラインの有無



「その他」の記載内容

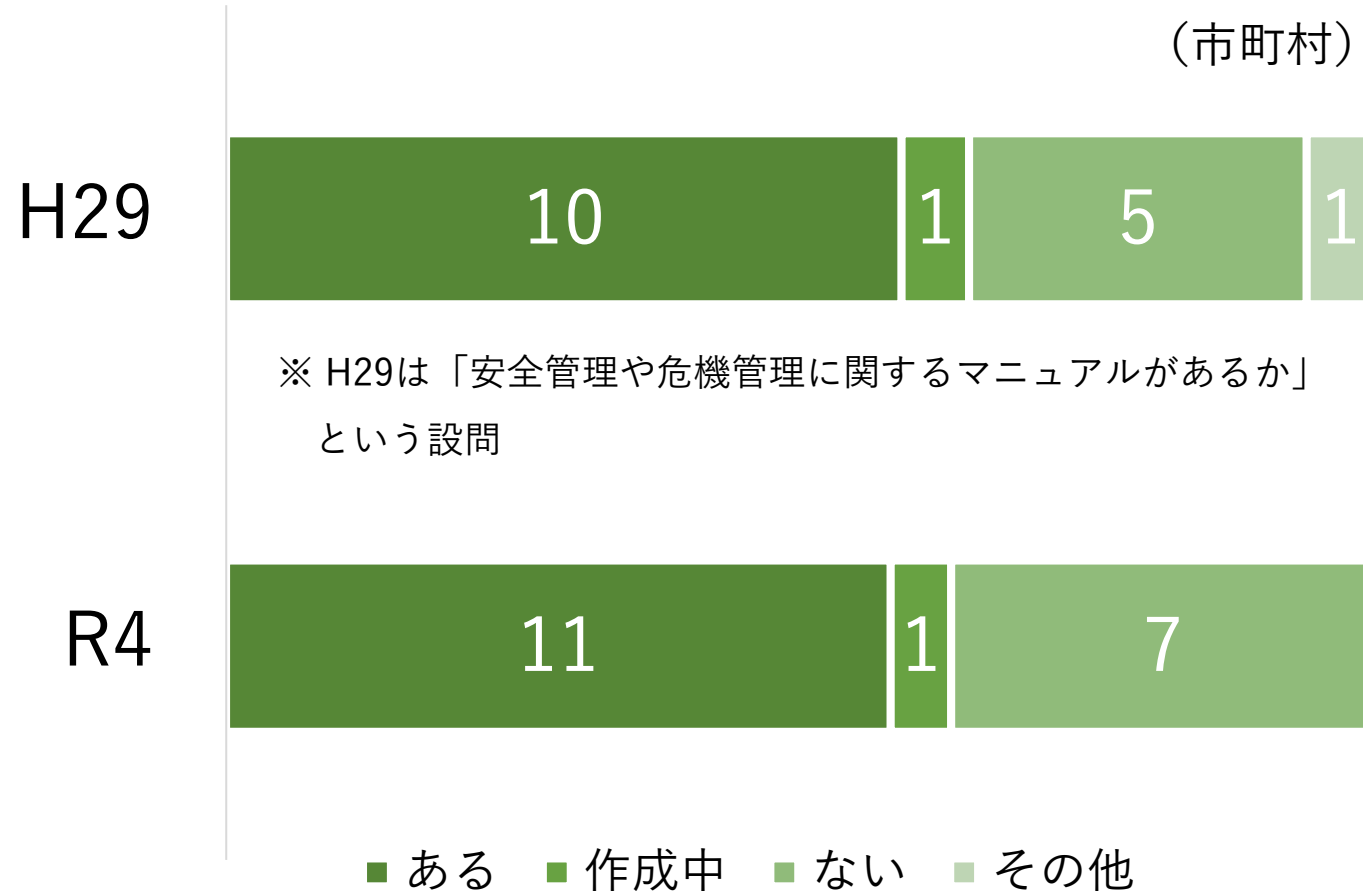
- マニュアルに準ずるような通知や事務連絡
- 市町村の児童館条例、ボランティア要綱、指定管理者の指定手続きに関する条例 など

● 児童館ガイドラインに基づいた運営向上の取り組み



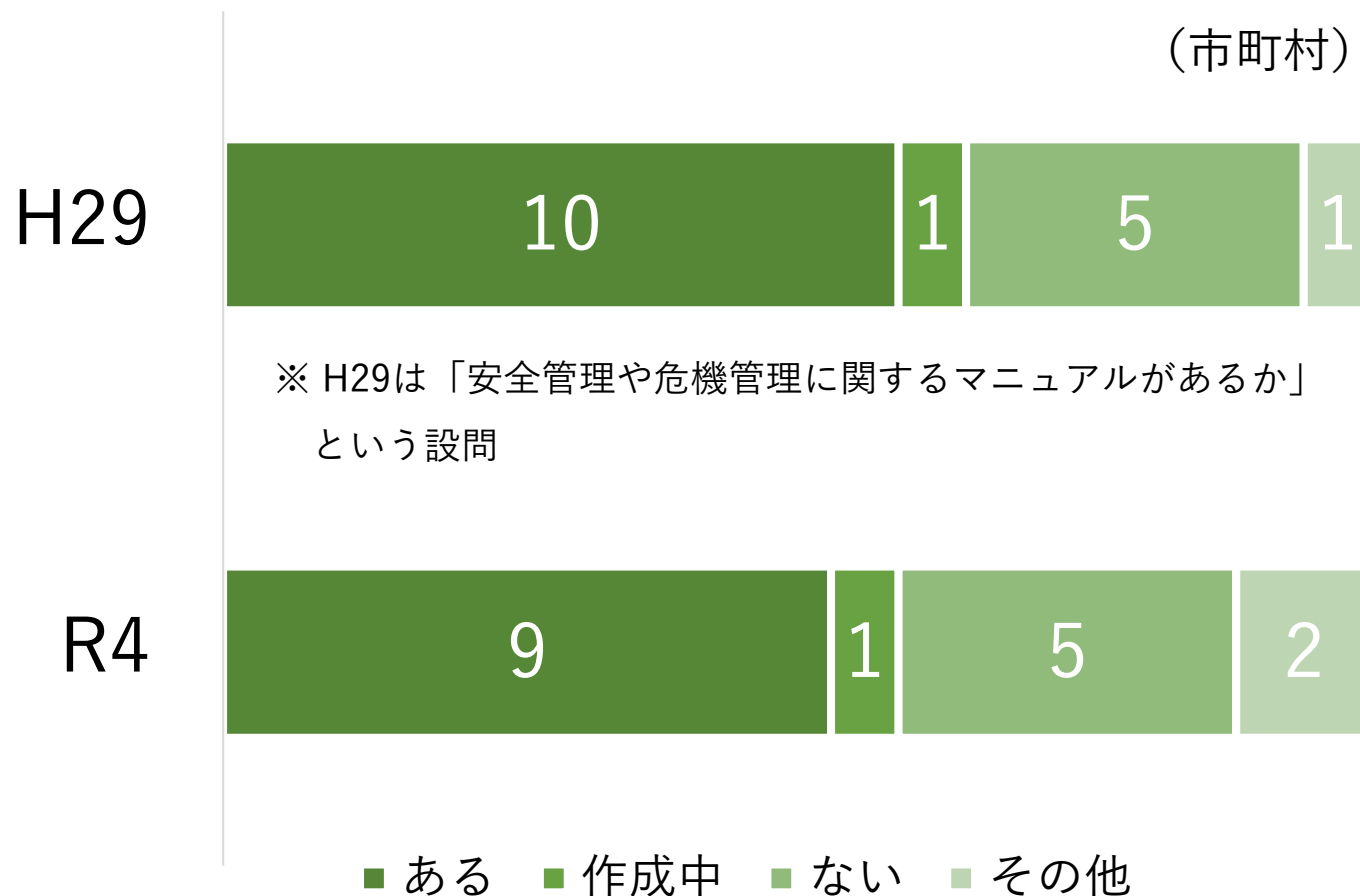
- 令和4年度は、児童館ガイドラインに基づき、運営の点検・見直しをしている市町村が多かった。

● 安全管理に関するマニュアルの有無



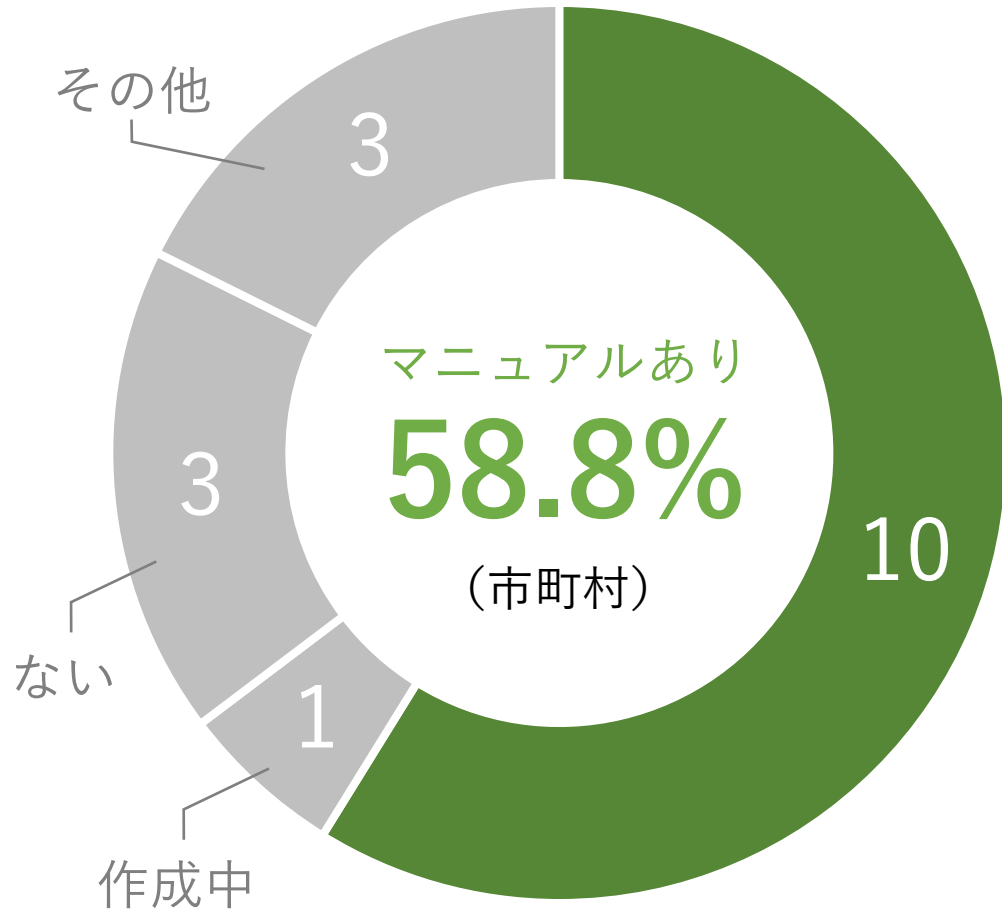
- 令和4年度より、安全管理・危機管理それぞれのマニュアルについての設問に変更された。

● 危機管理に関するマニュアルの有無



- 令和4年度より、安全管理・危機管理それぞれのマニュアルについての設問に変更された。

● 防災に関するマニュアルの有無（新規設問）

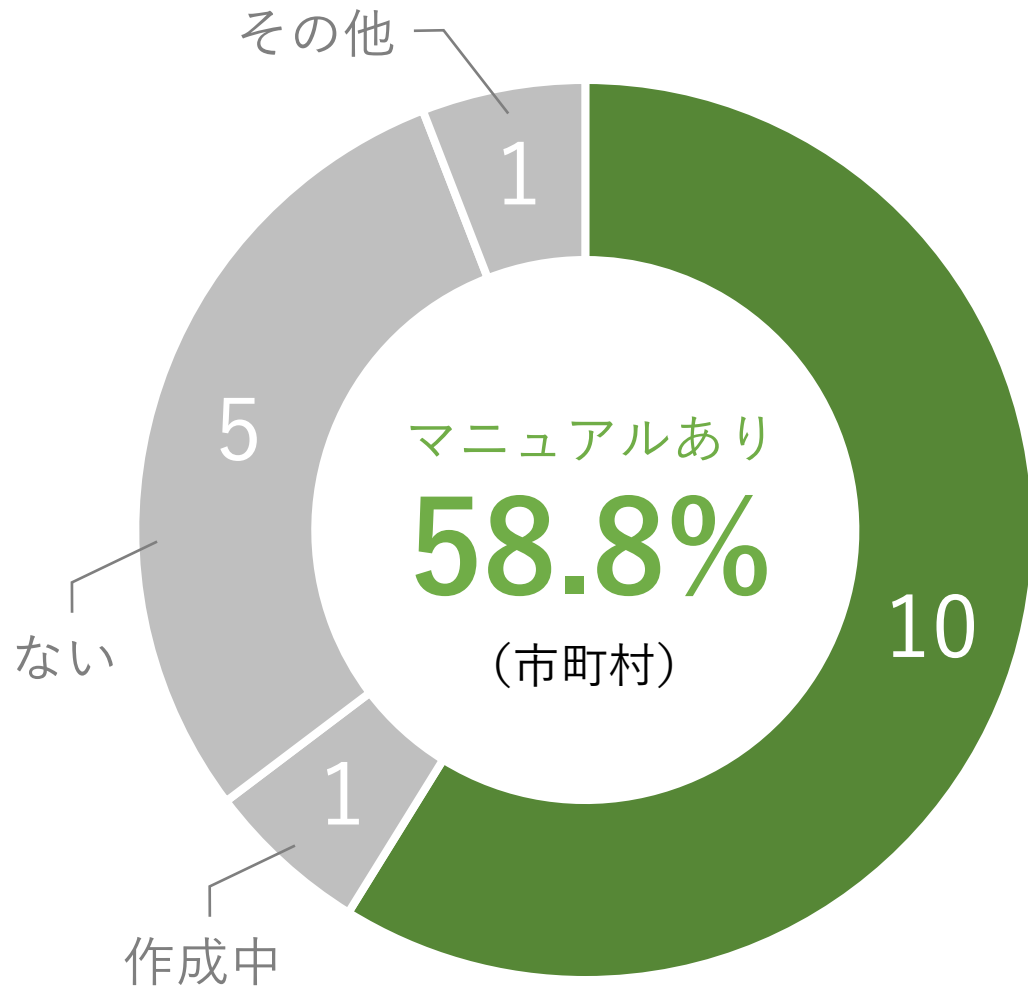


- 防災に関するマニュアルがある市町村が半数を超えていた。

主な「その他」の記載内容

- 市の一般的な公共施設マニュアルに準じている
- マニュアルはないが、それに準ずる事務連絡をしている

● 災害時等の事業継続計画（BCP）に関するマニュアルの有無（新規設問）

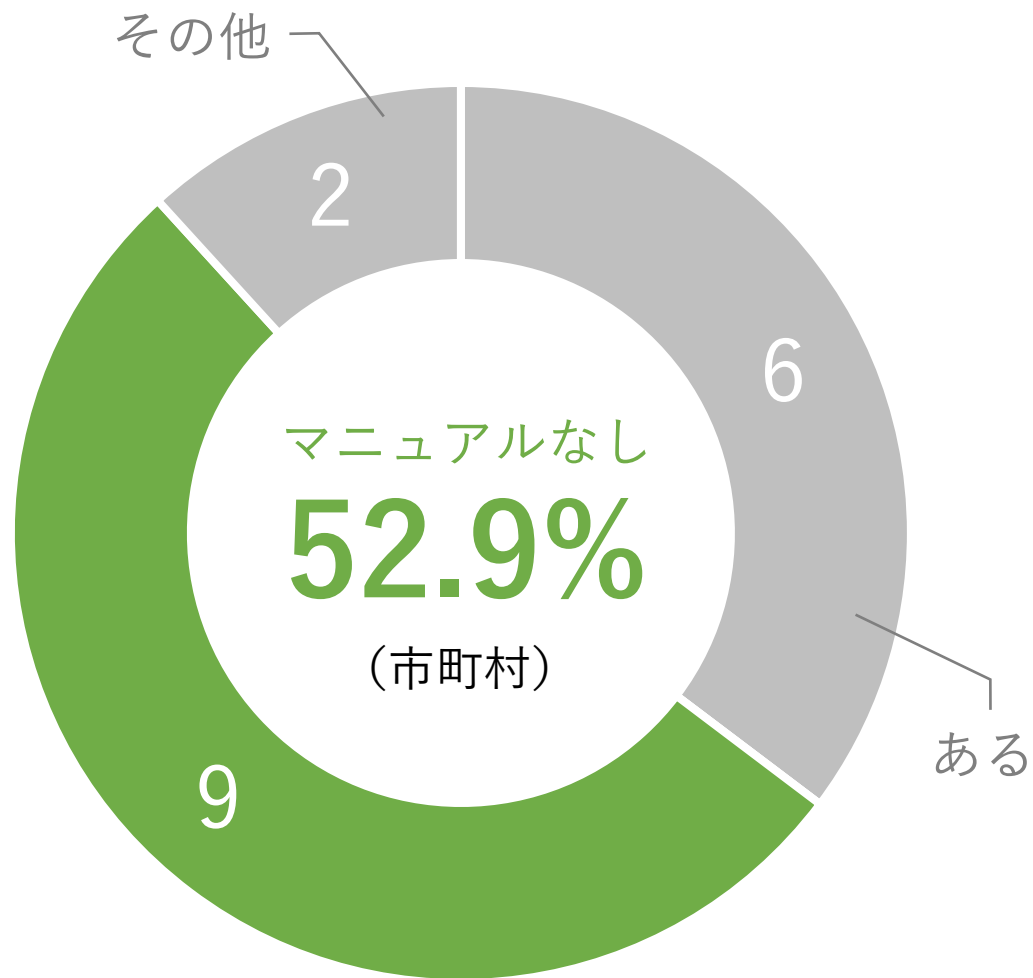


- BCPに関するマニュアルがある市町村が半数を超えていた。

「その他」の記載内容

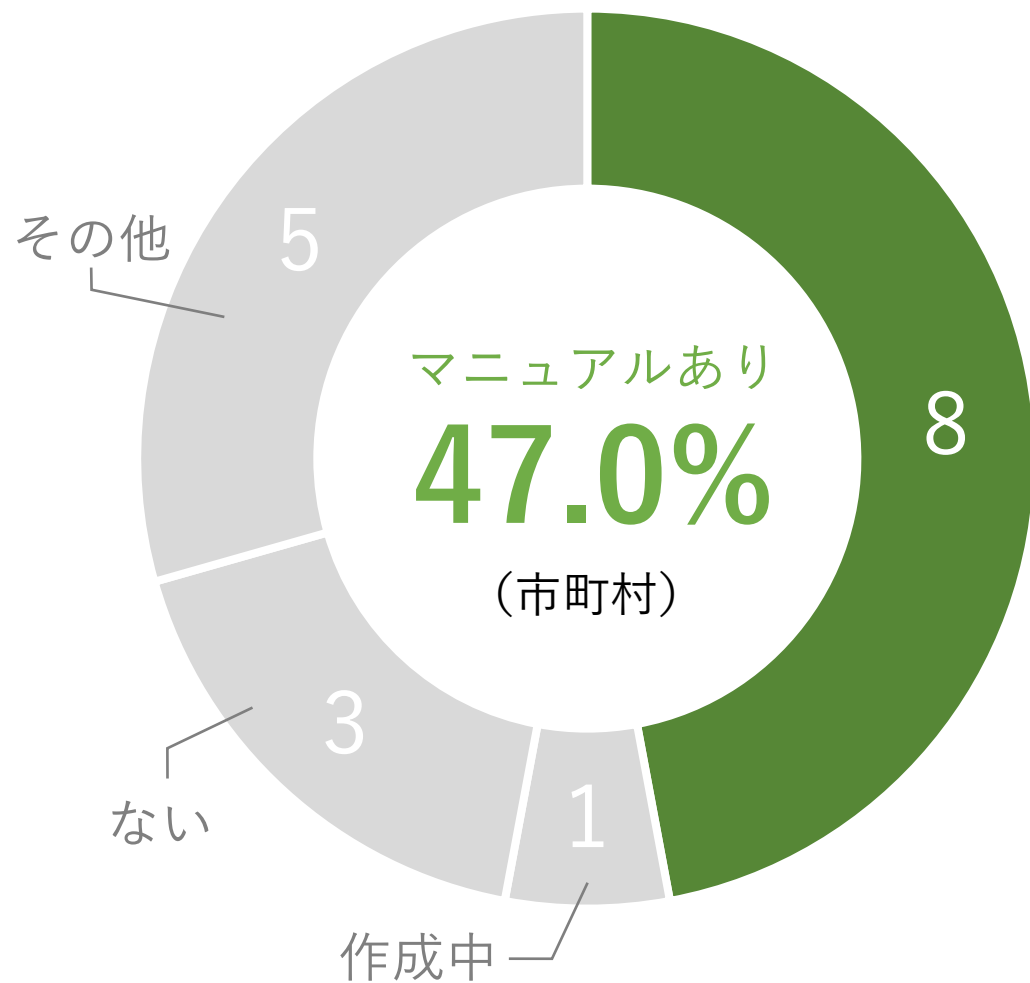
- 市の一般的な公共施設マニュアルに準じている

● 災害時の一時避難受け入れに関するマニュアルの有無（新規設問）



- 災害時の一時避難受け入れに関するマニュアルがない市町村が半数を超えていた。
- 指定避難所が他にあるため、マニュアルを持っていない市町村があった。

● 感染症対策に関するマニュアルの有無（新規設問）



- 感染症対策に関するマニュアルがある市町村は、半数に満たなかった。

「その他」の記載内容

- 国の指針による
- 新型コロナウイルス感染症対策マニュアルのみある

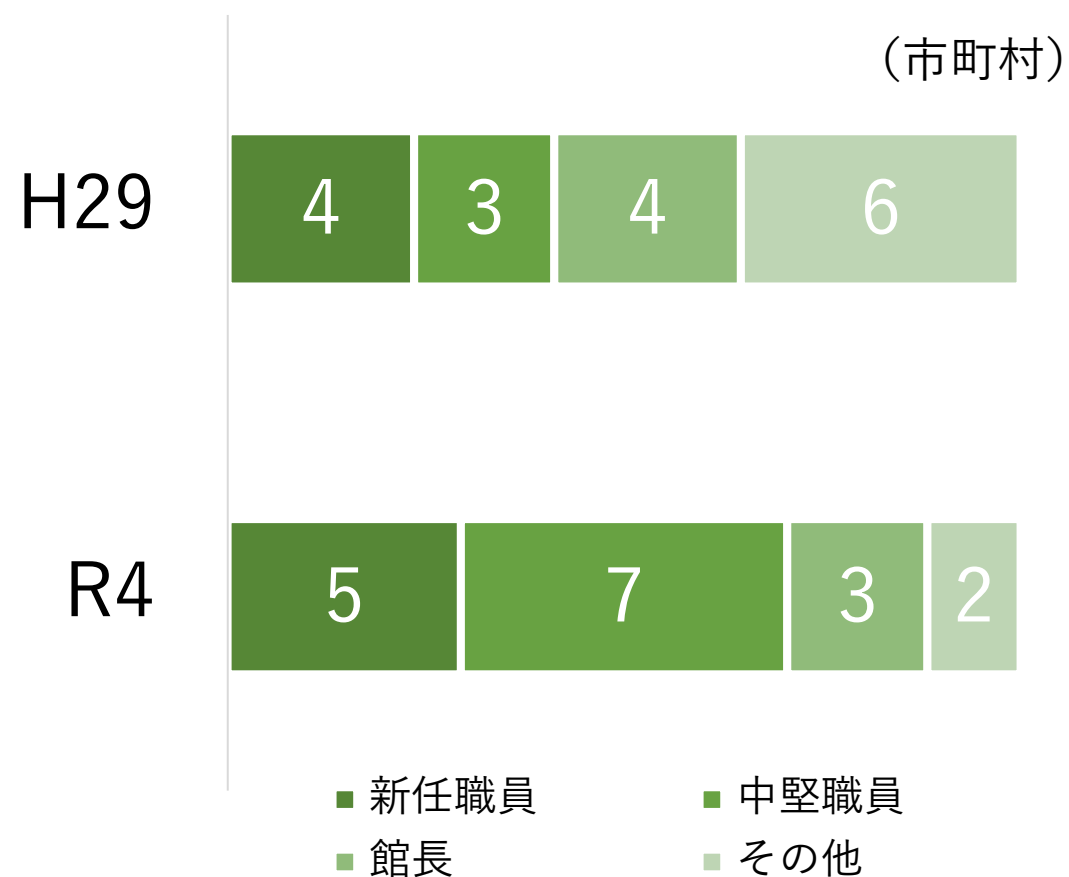
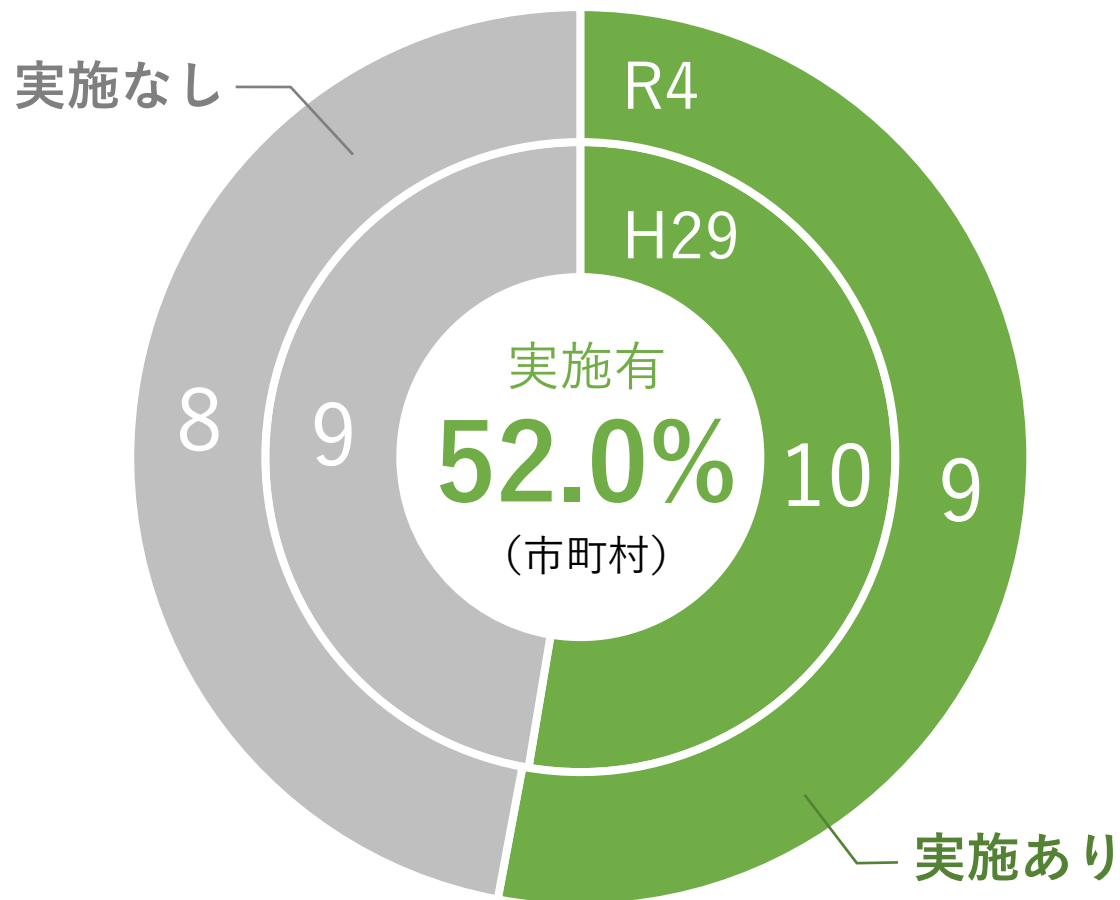
● 職員の配置基準の定め方



「その他」の記載内容

- 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準
- 児童福祉施設最低基準第38条 など

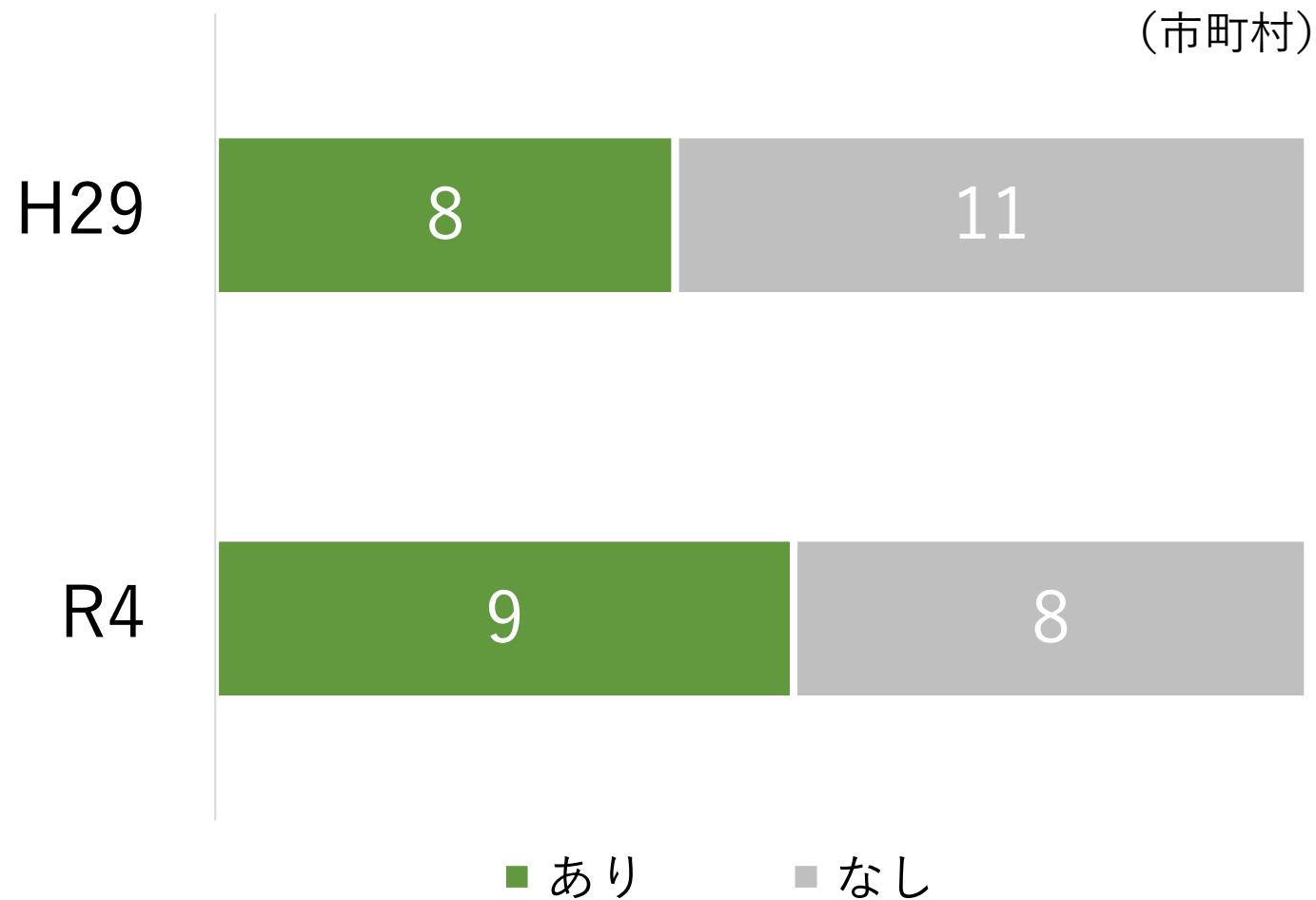
● 職員研修の実施有無



● 両年で、実施有無に差はなかった。

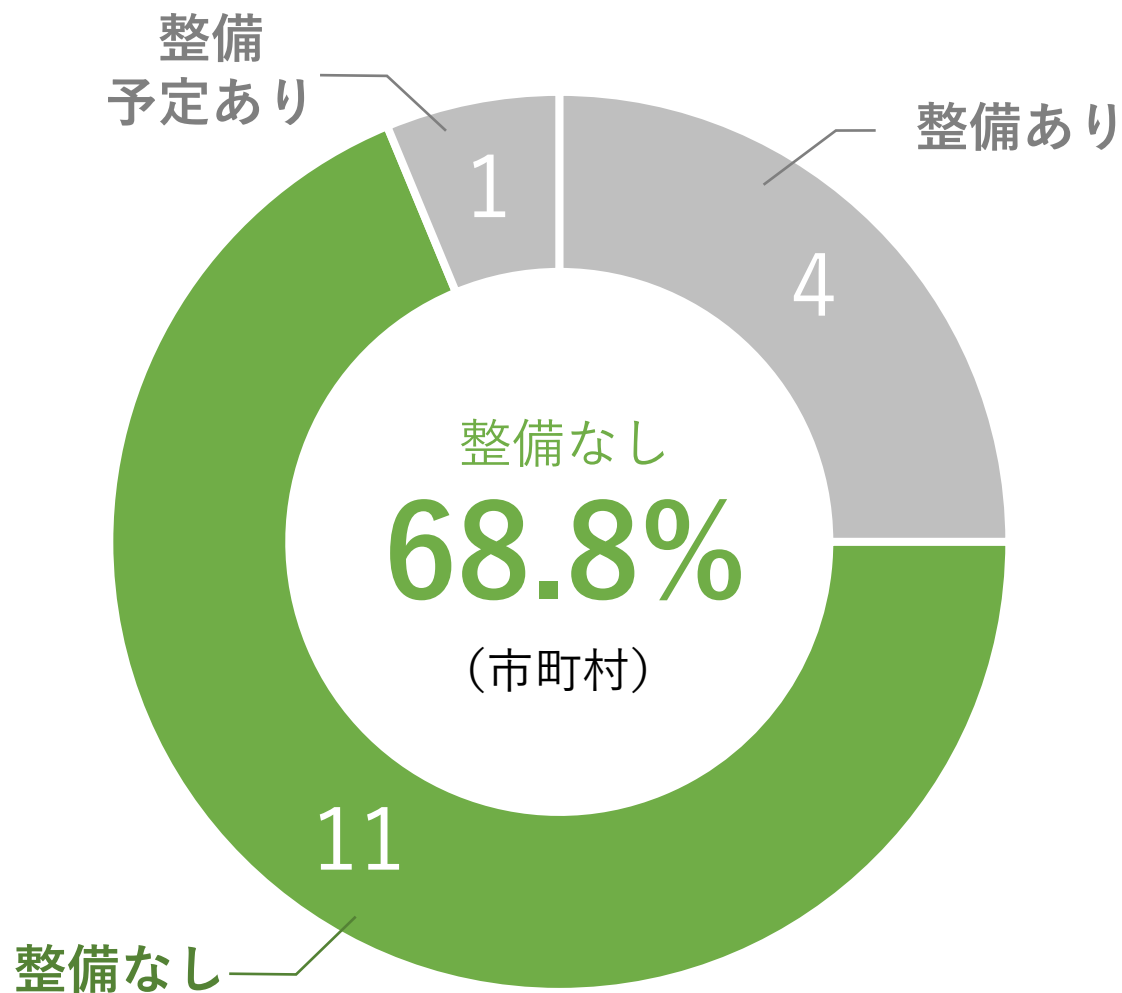
● 中堅職員の職員研修が増加していた。

● 児童館利用者等に対するニーズ調査の実施有無



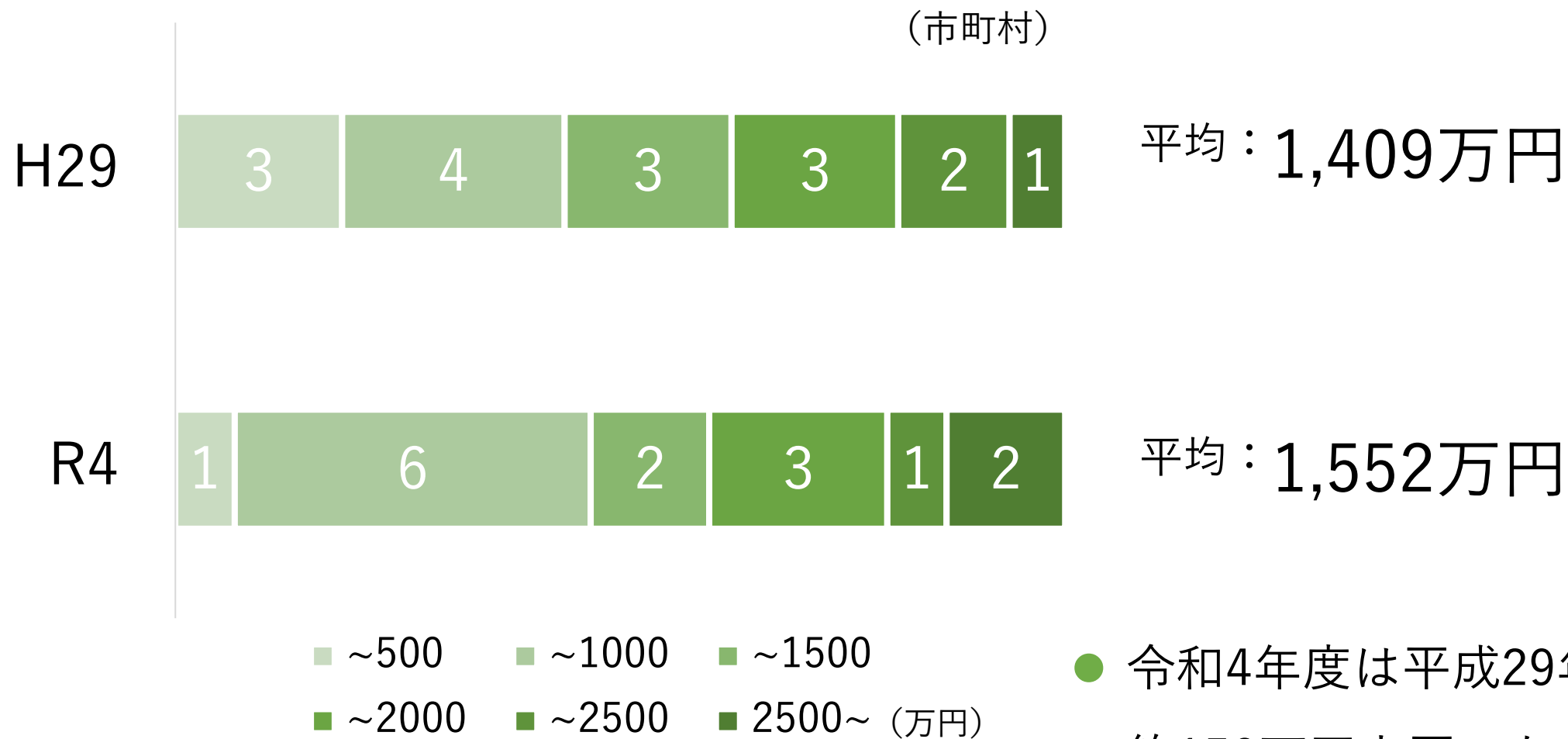
- 令和4年度は、実施をしている市町村の方が実施をしていない市町村よりも1件多かった。

● ICT環境の整備 (新規設問)

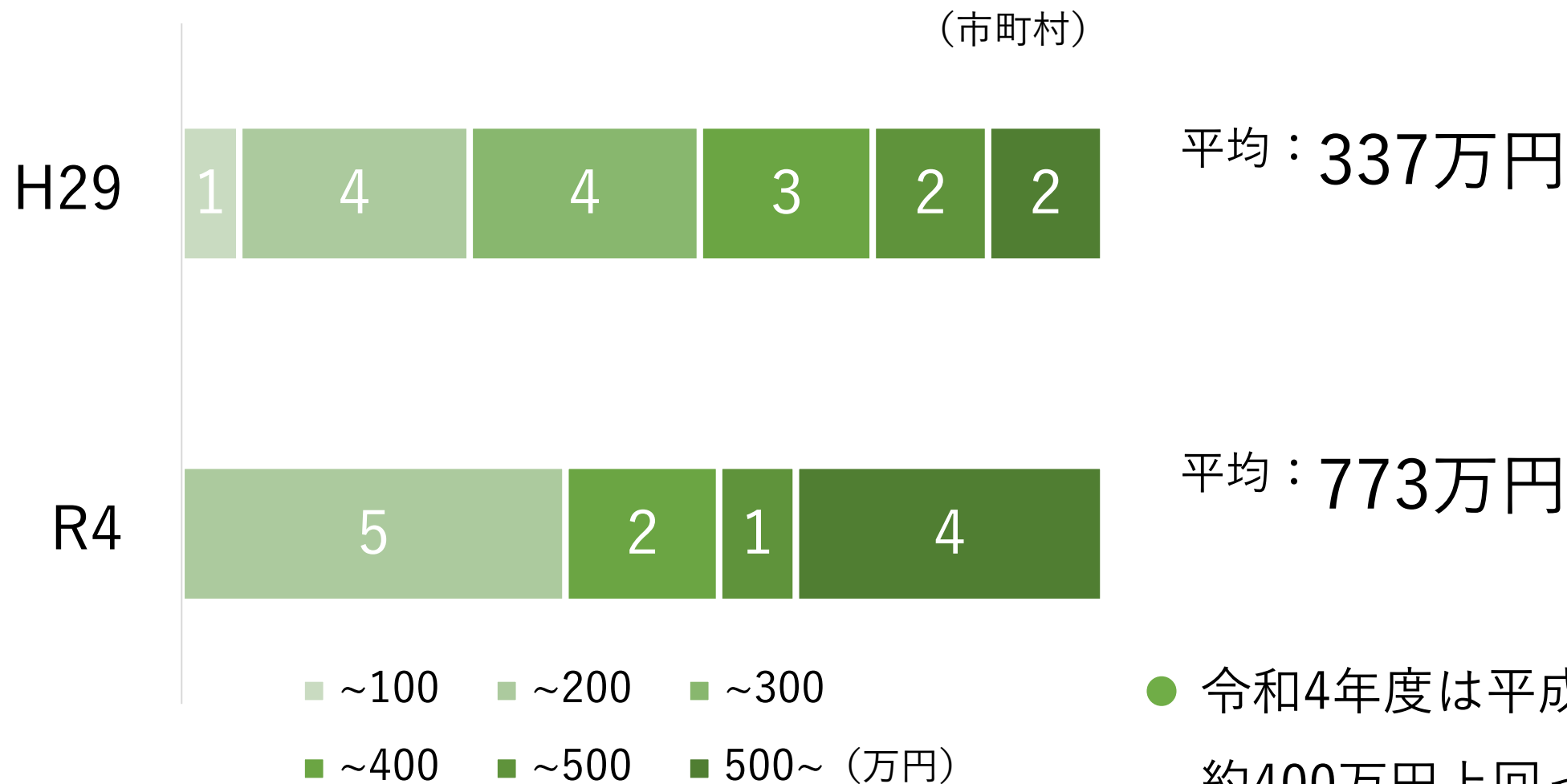


- ICT環境が整っていない児童館が半数以上だった。
- ICT環境の整備を予定している児童館は1件あった。

● 児童館1館あたりの年間予算（人件費込み）

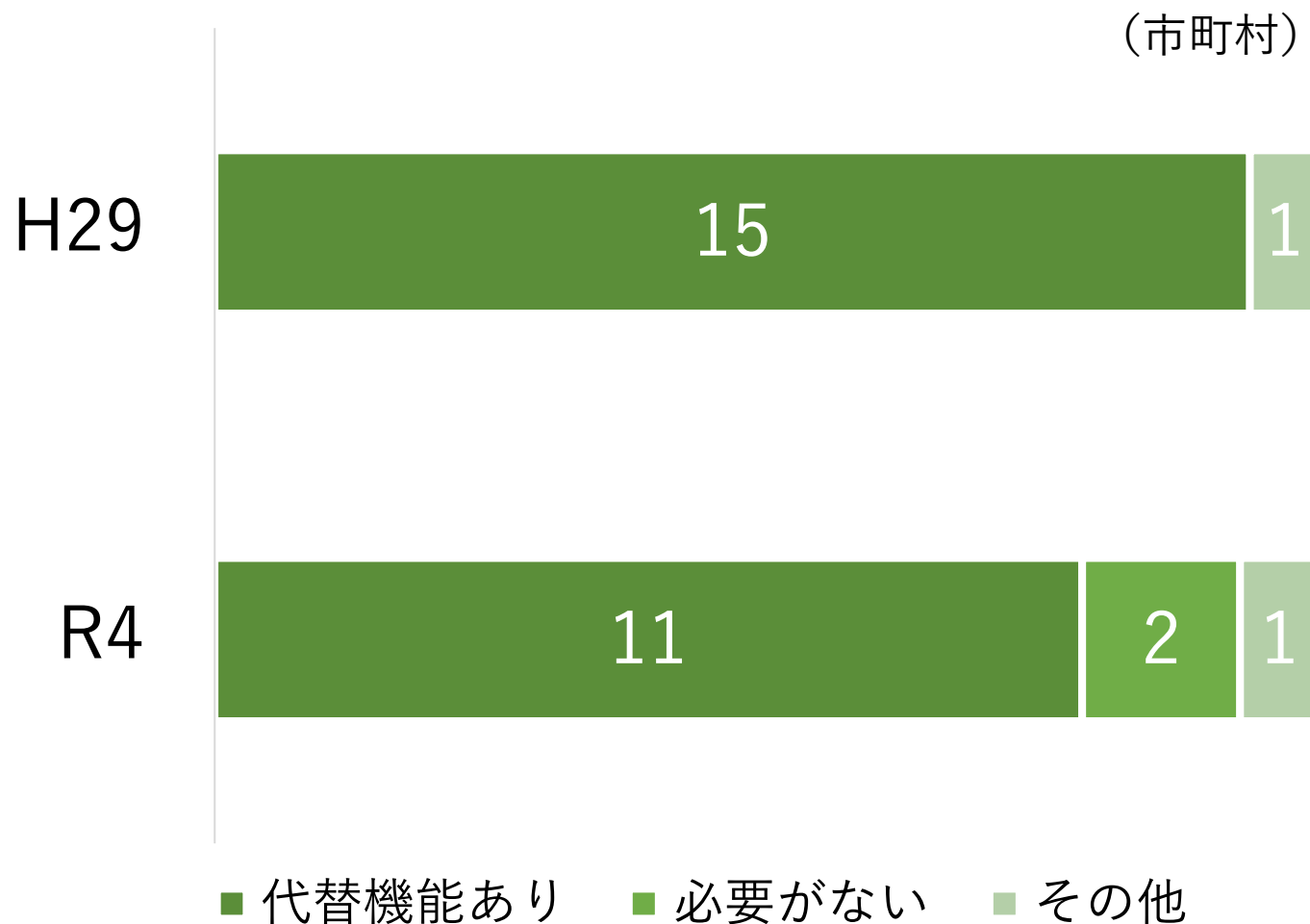


● 児童館1館あたりの年間予算（人件費以外）



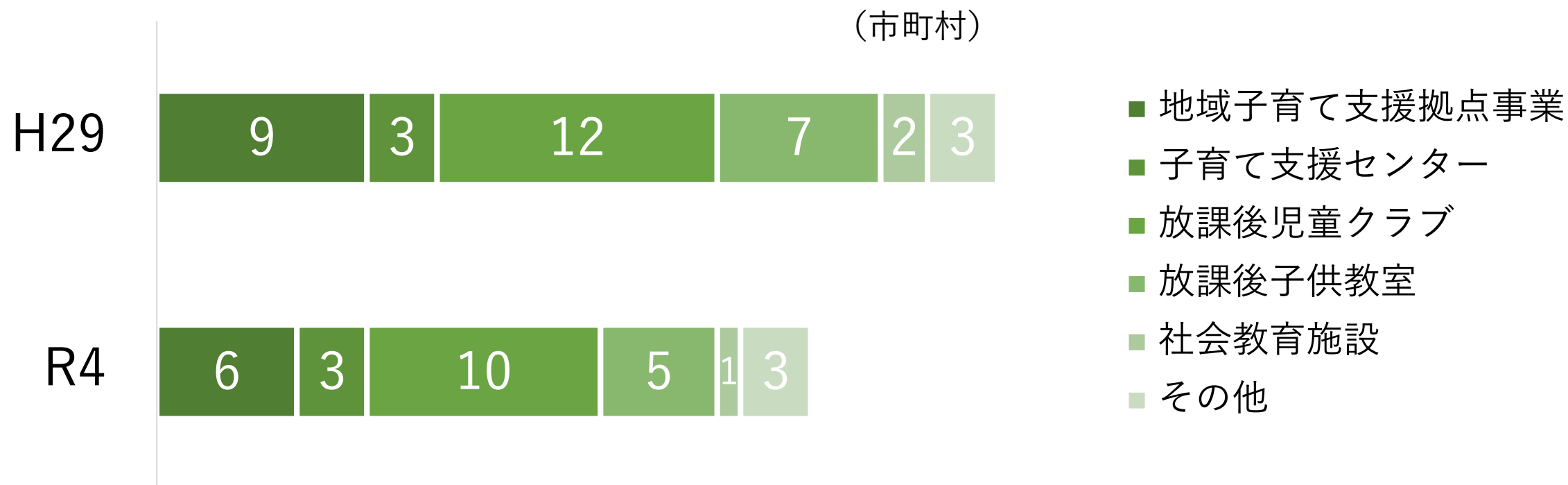
(3) 児童館未設置について

● 児童館を設置していない理由



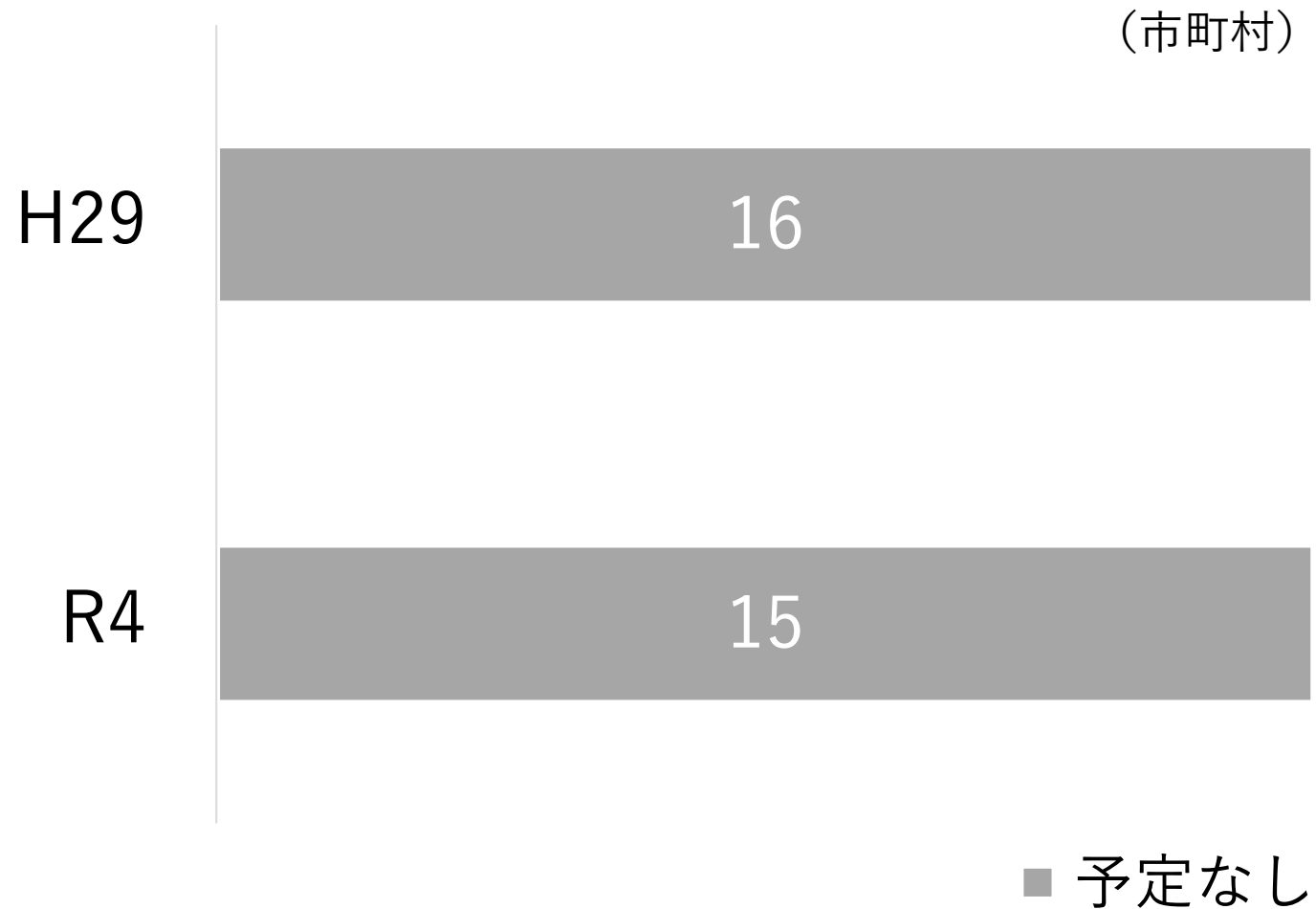
- 78%の市町村が、代替機能があるため児童館を設置していないと回答した（代替機能の詳細は次ページ参照）。
- 子どもがいないため、市町村の理解が得られない場所もあった。

● 代替機能として設置しているもの



- 両年「放課後児童クラブ（専用施設）」を設置している市町村が最も多かった。
- 「屋内遊技場」「親子が集える場所」を設置している市町村もあった。

● 児童館の新設予定



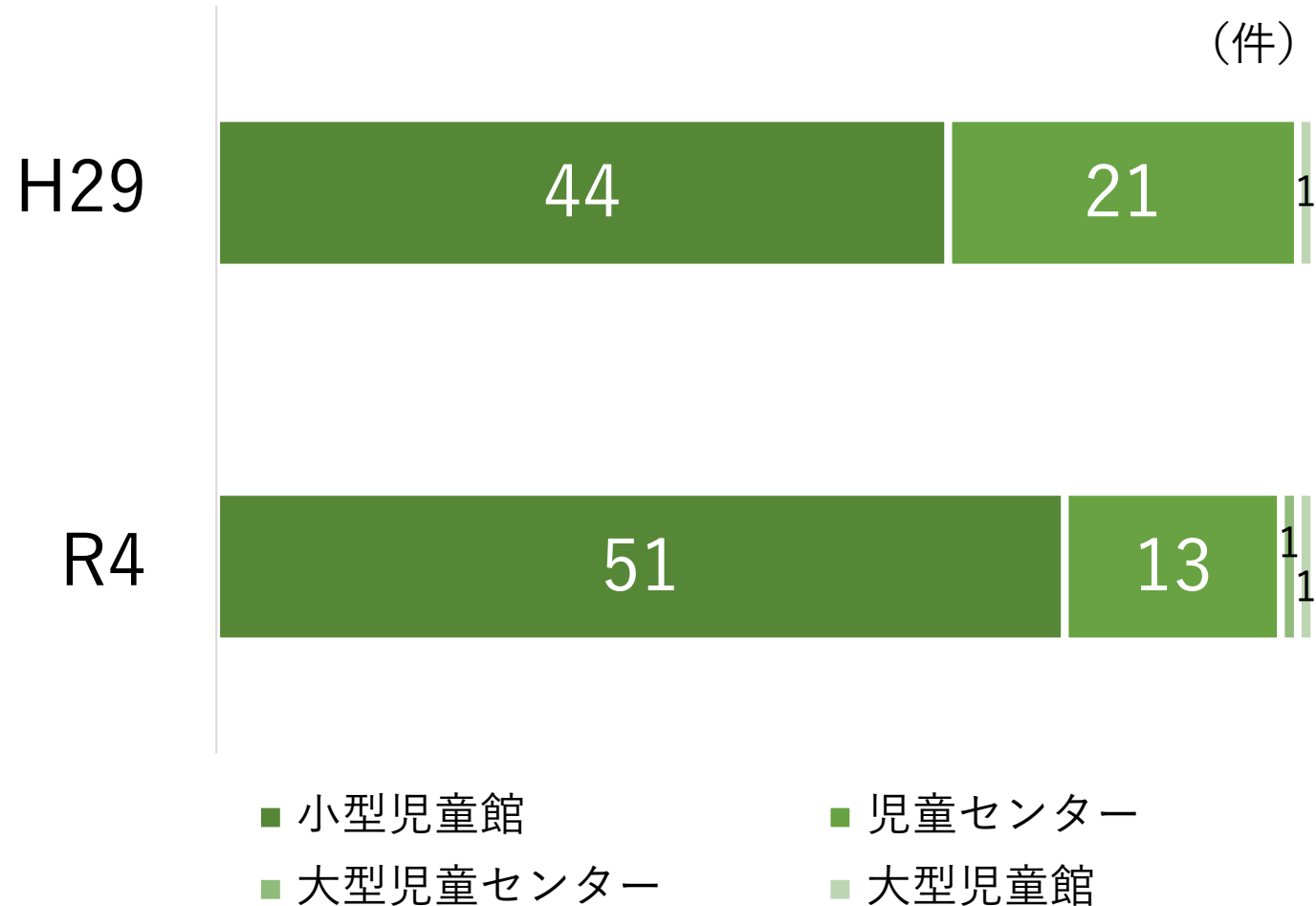
- 児童館を設置していないすべての市町村において、児童館の新設予定はなかった。

3. 児童館調査票の集計

| | 令和4年 | 平成29年 |
|------|------|-------|
| 配布： | 66件 | 68件 |
| 回収： | 66件 | 66件 |
| 回収率： | 100% | 97% |

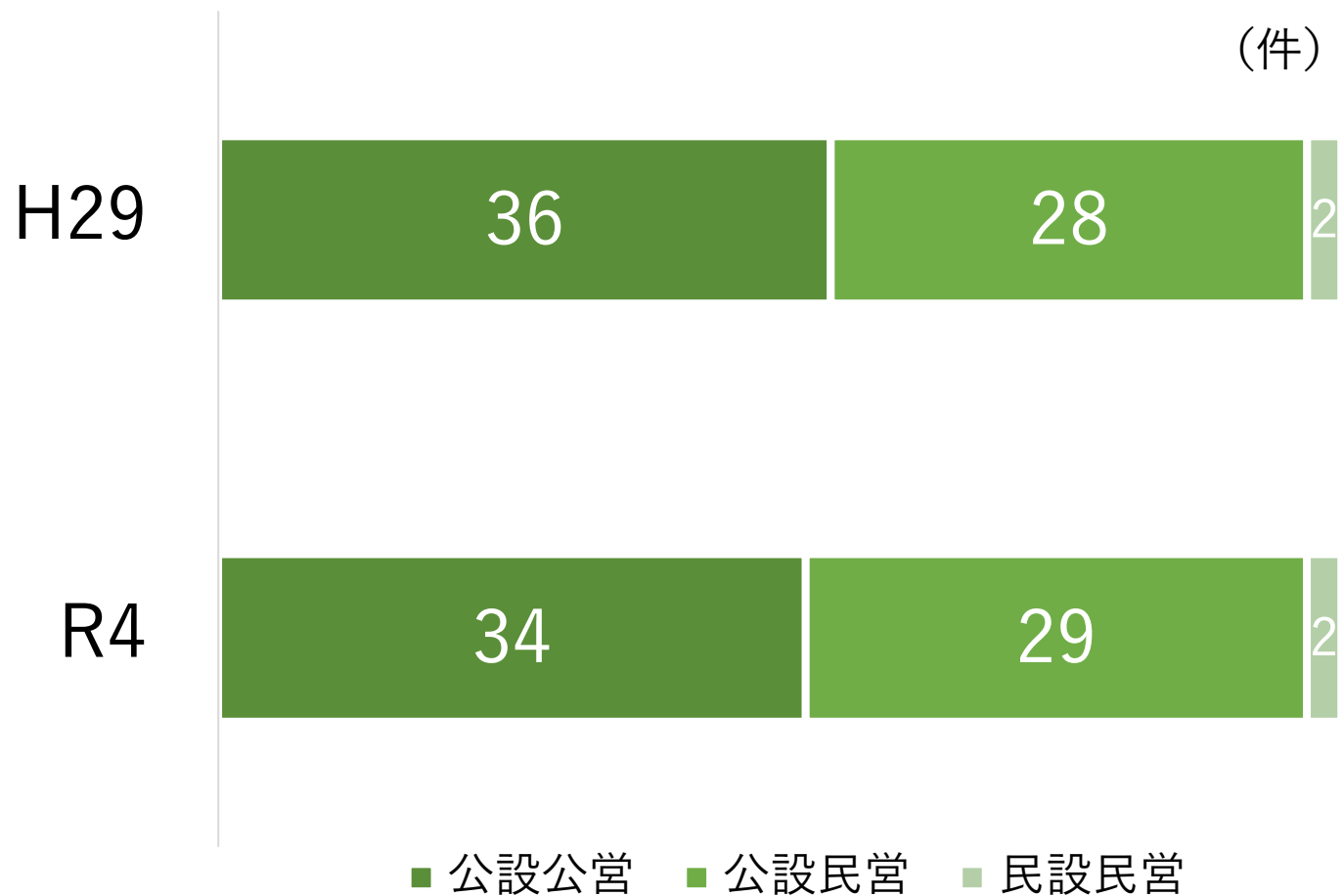
(1) 児童館の施設概要

● 児童館の種別



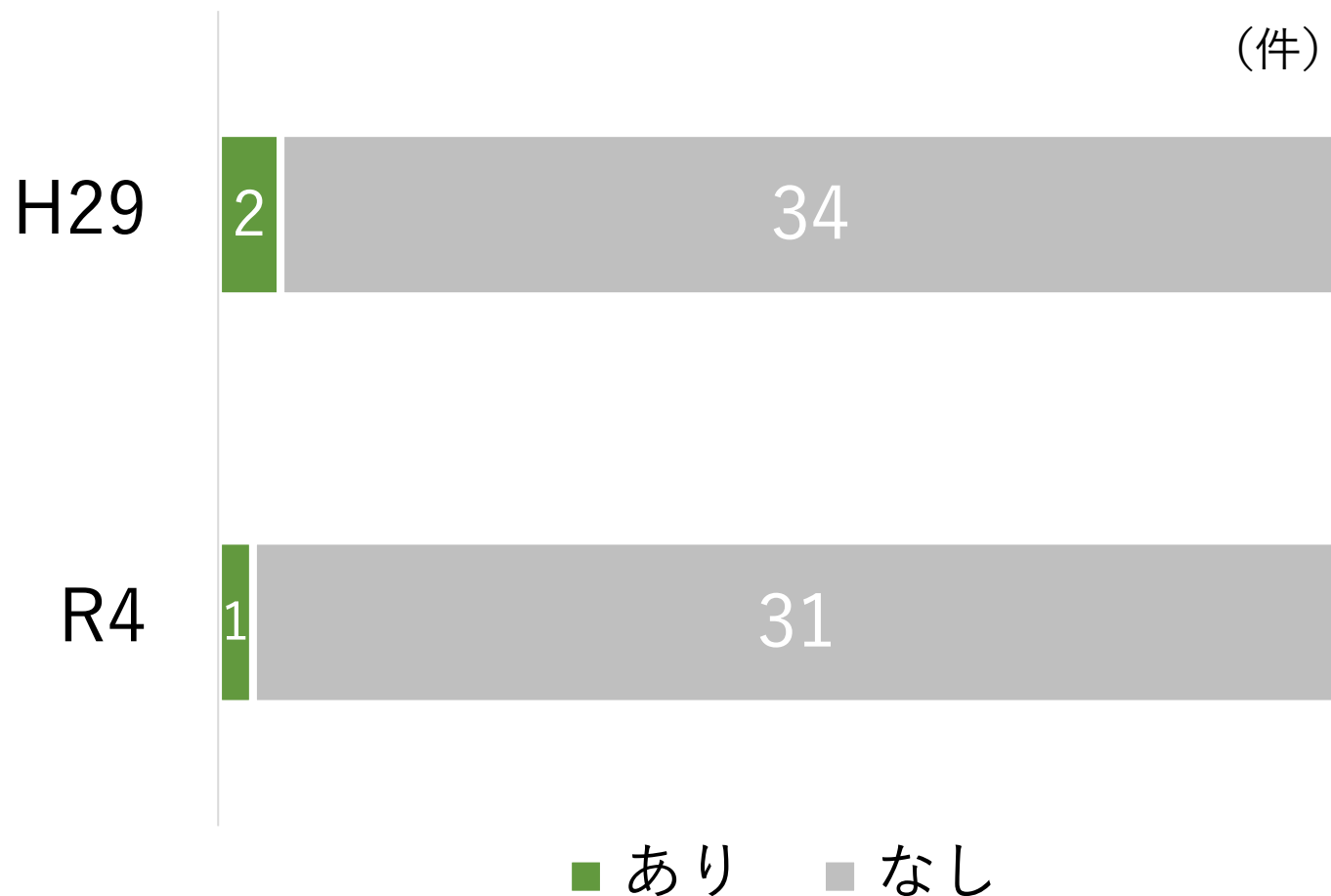
- 平成29年度に小型児童館だった7館が、児童センターになった。

● 児童館の運営形態別 設置状況



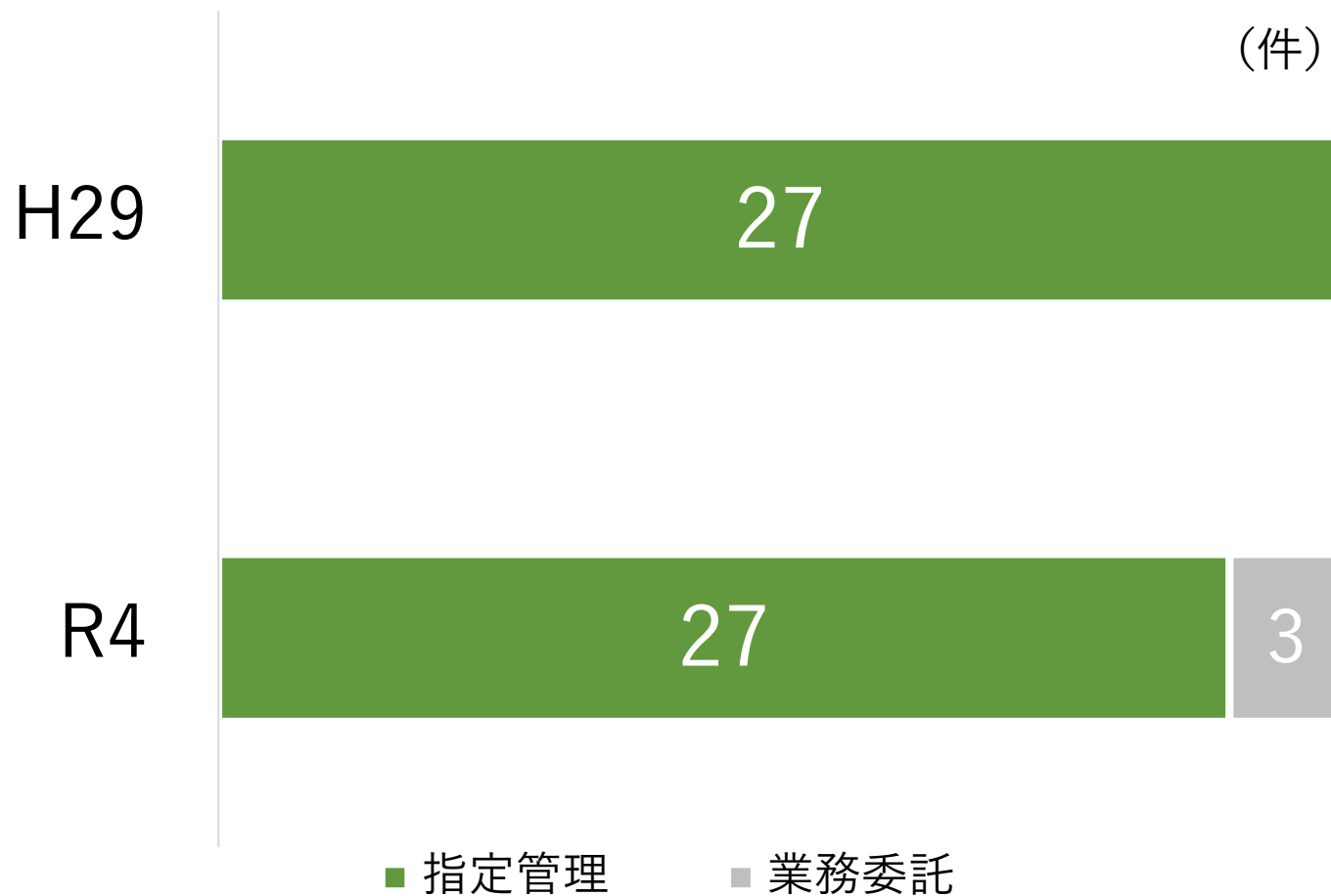
- 運営形態別設置状況について、両年間で大きな差は見られなかった。

● 児童に直接関わる業務の委託（清掃は除く）



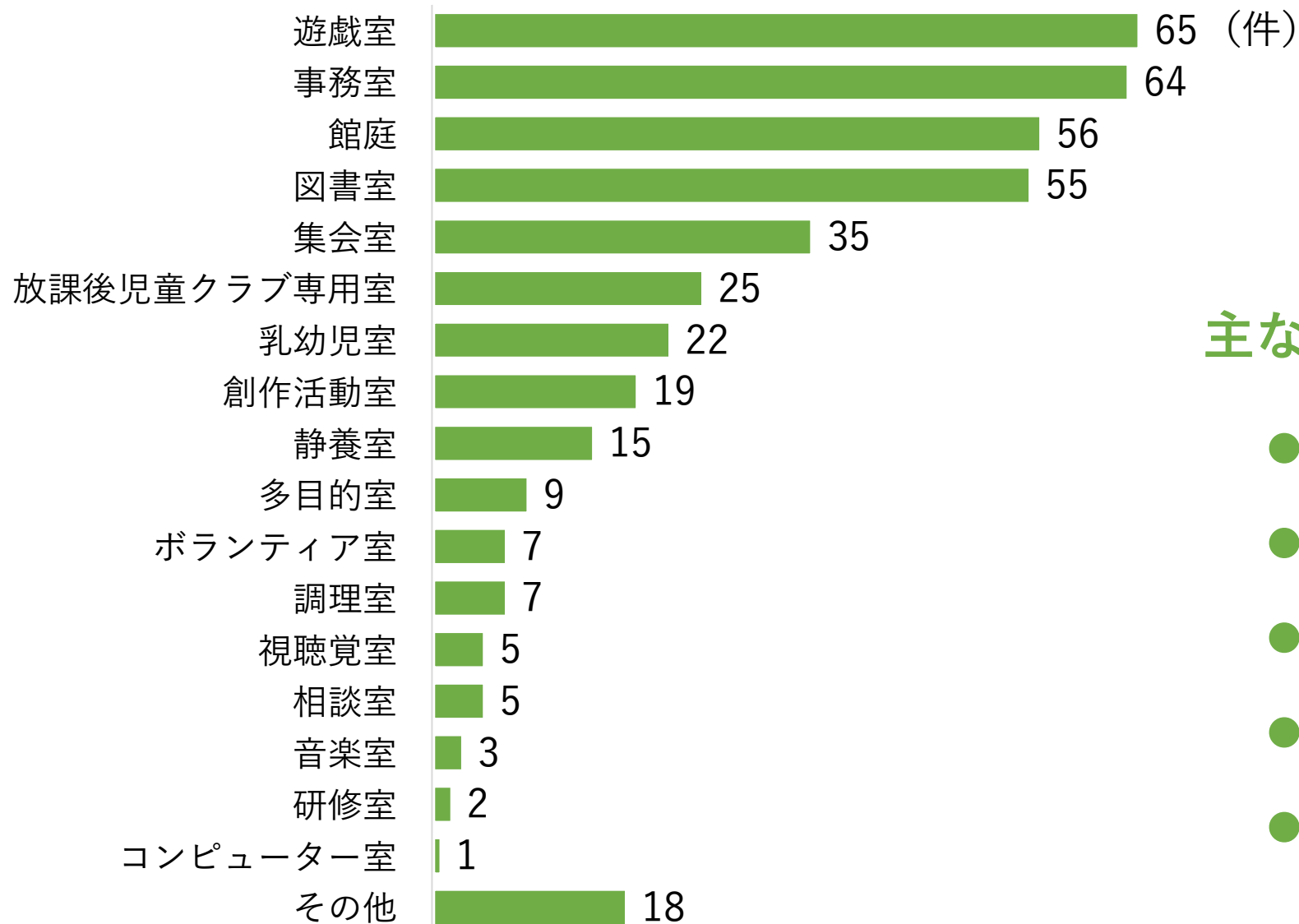
- 「公設公営」の児童館における回答結果
- 児童に直接関わる業務を委託している児童館は、1館だった（委託内容：子どもの遊びの指導、学童クラブ）。

● 運営の形態



- 「公設民営」の児童館における回答結果
- 90%の児童館が、指定管理で運営していた。

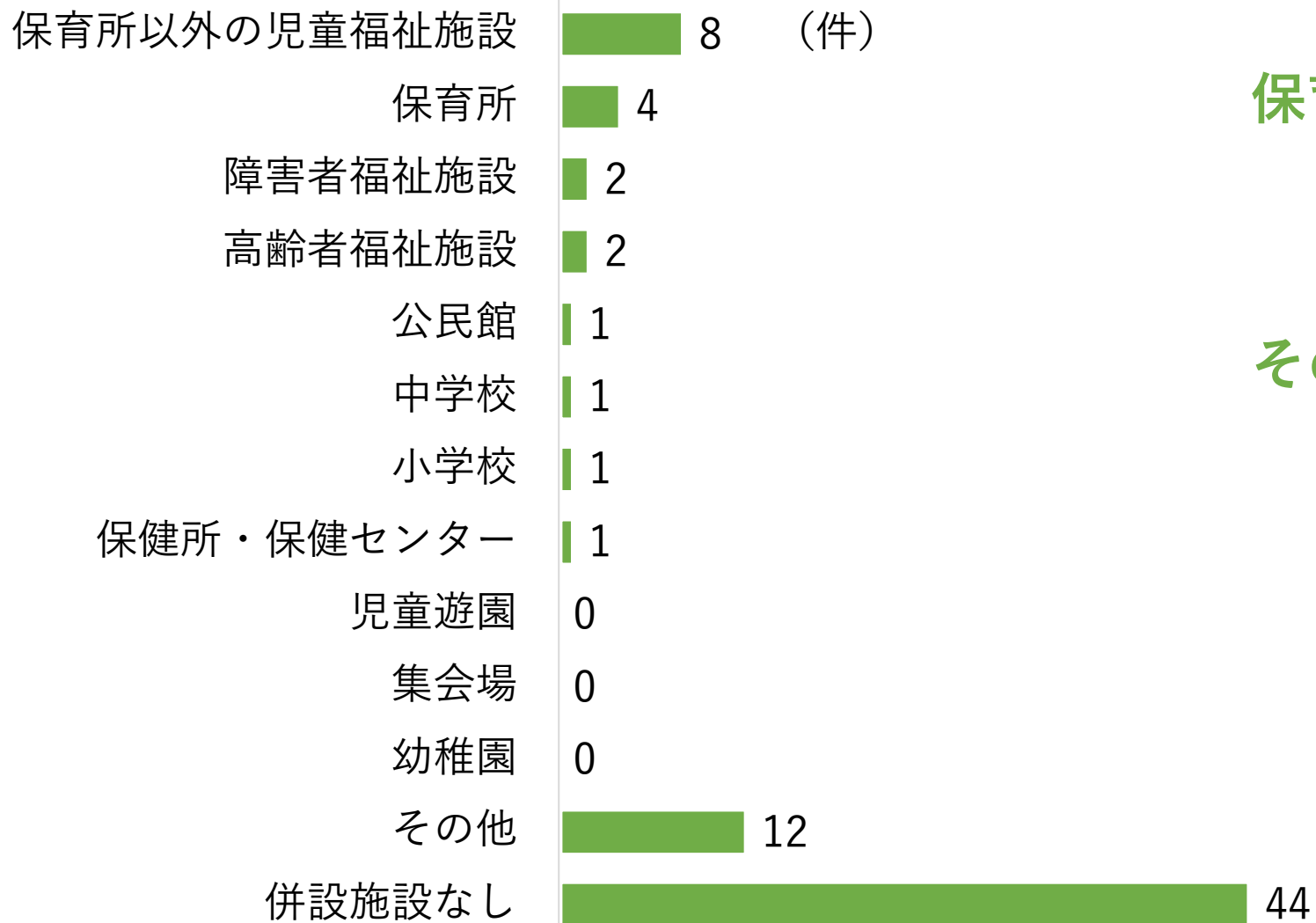
● 児童館に常設する諸室・設備



主な「その他」の記載内容

- 授乳室
- 学習室
- 図書コーナー
- プラネタリウム
- 畑 など

● 併設する施設



保育所以外の児童福祉施設

- 放課後児童クラブ

その他

- 認定こども園
- 図書館
- 社会福祉協議会 など

● 最寄りの学校 ↔ 児童館 の所要時間 (徒歩)

小学校 ↔ 児童館



■ ~10分 ■ ~20分 ■ ~30分 ■ ~40分

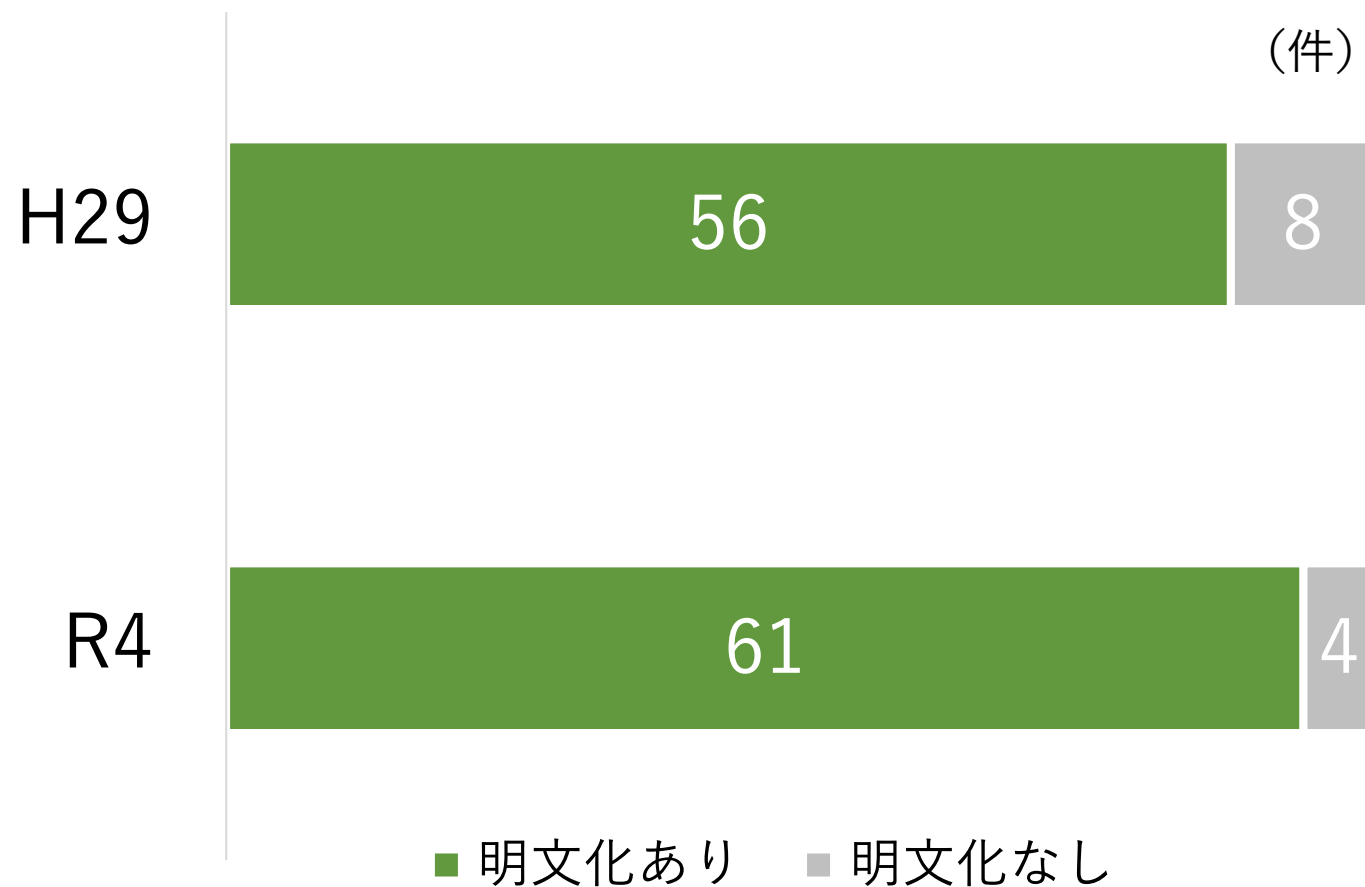
中学校 ↔ 児童館



■ ~10分 ■ ~20分 ■ ~30分 ■ ~40分 ■ 40分~

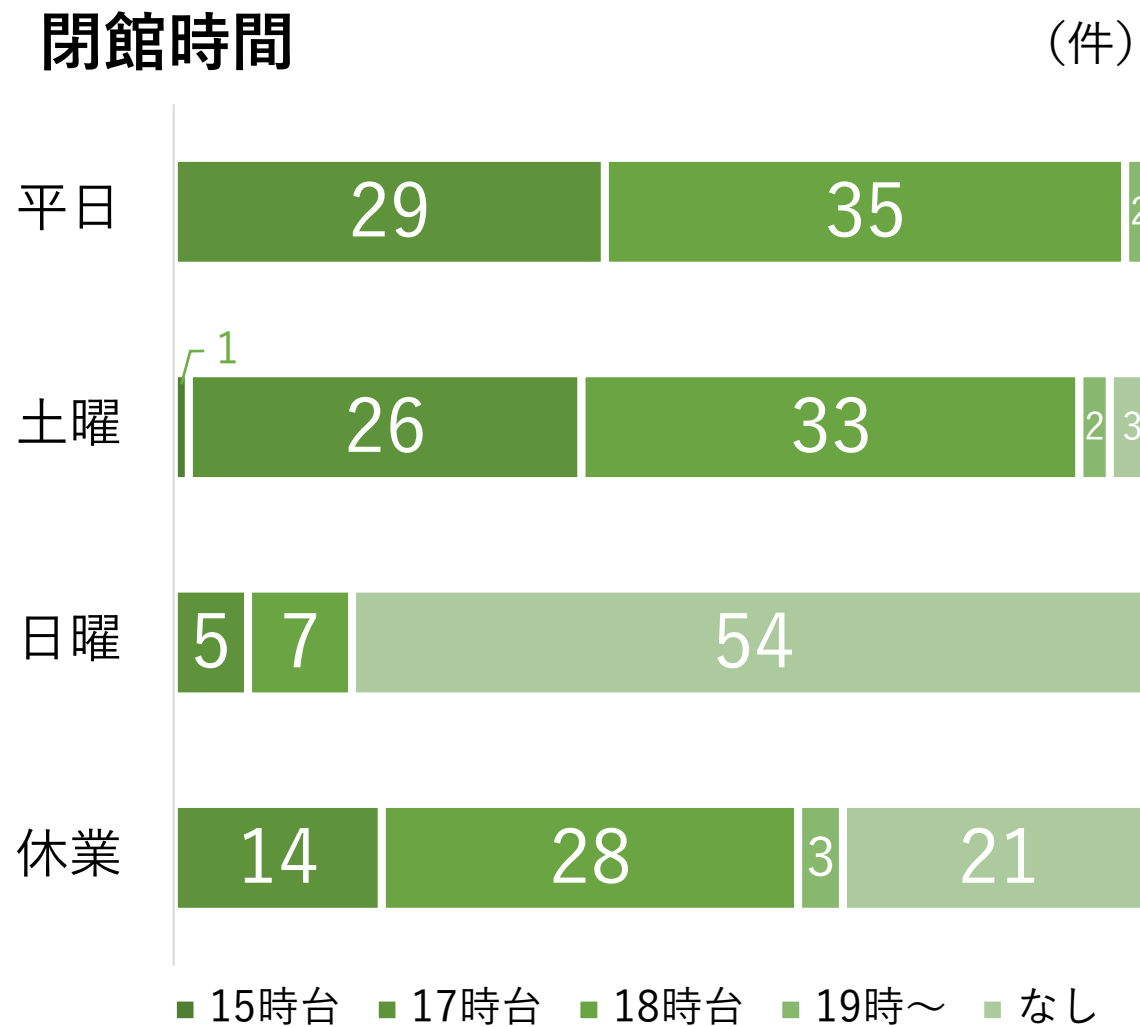
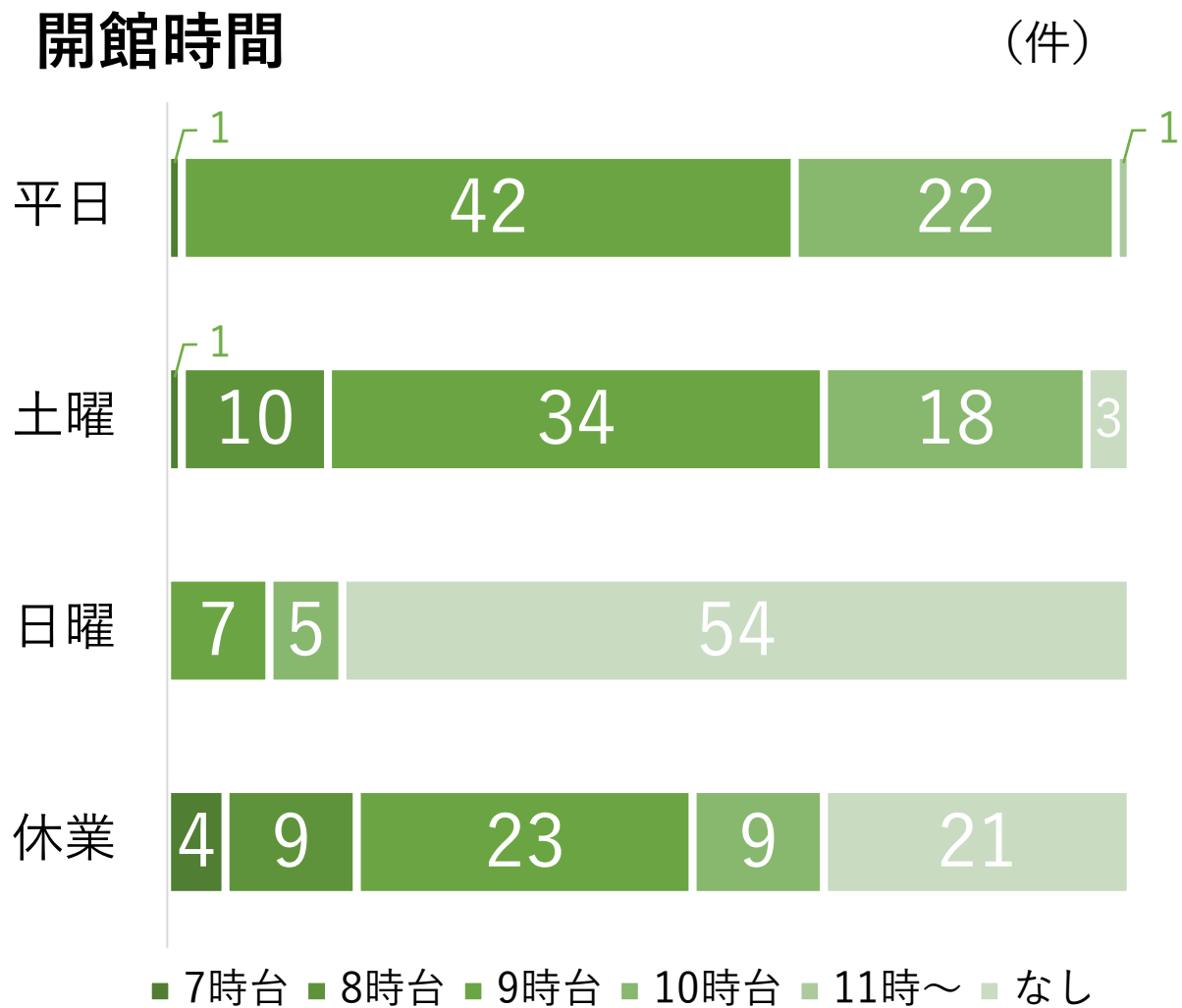
(2) 児童館の施設運営

● 児童館運営のための基本方針

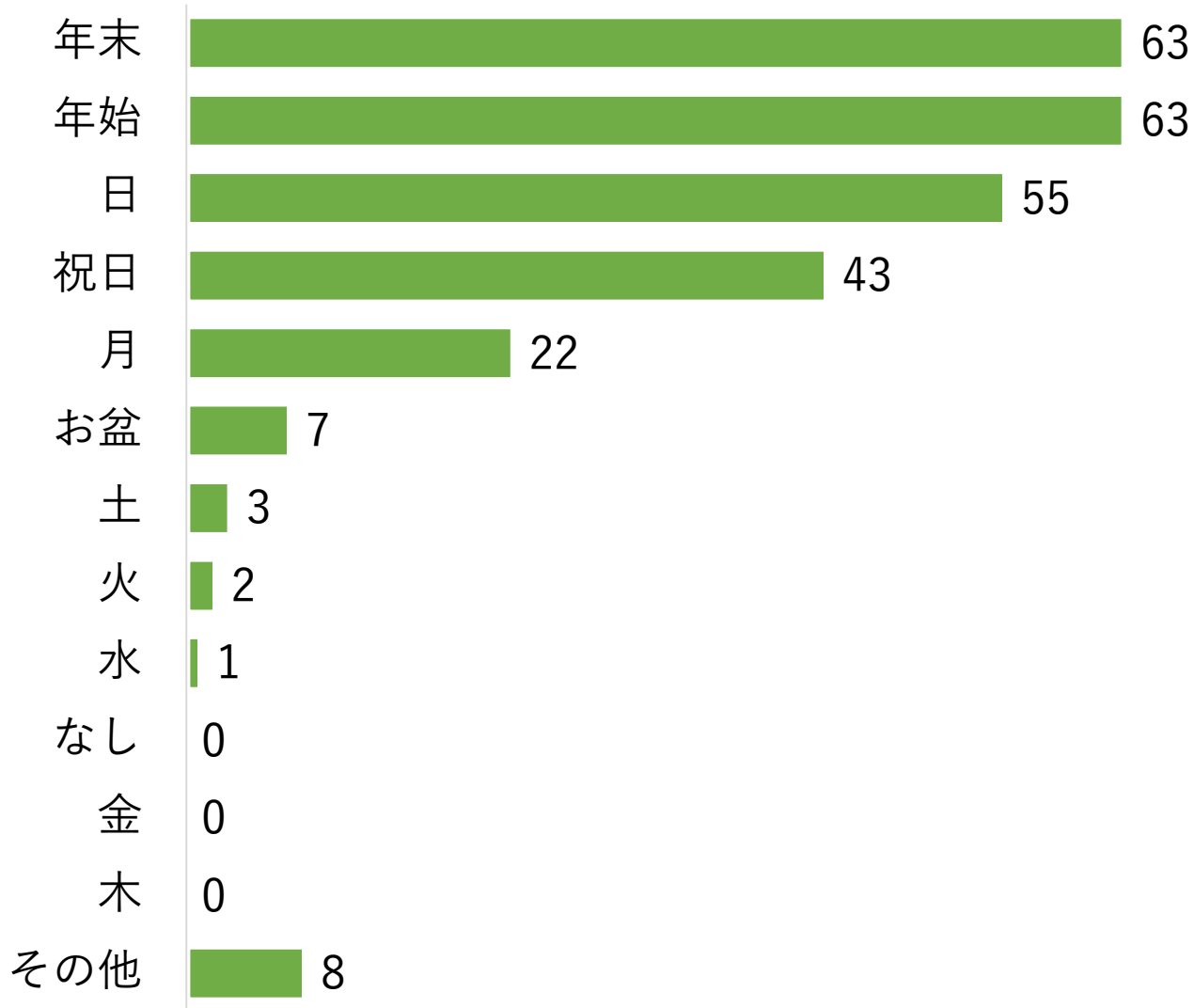


- 令和4年度は平成29年度に比べて、児童館運営のための基本方針が明文化された児童館が多かった。

● 開館時間・閉館時間(新型コロナウイルスの影響で変動あり)



● 休館日



- 年末年始・日曜・祝日休館をと
している児童館が多かった。
- 平成29年度に比べ、月曜を休館
とする児童館が増加した(H29：
6館)。

その他の記載内容

- 祝日の翌日
- 火～金の中の祝日 など

● 開館日数（令和3年度）



■ 100日～ ■ 200日～ ■ 300日～

| | 館数 (館) | 平均 (日) | 最多 (日) | 最小 (日) |
|--------------|-----------|------------|------------|------------|
| 小型児童館 | 51 | 262 | 303 | 138 |
| 児童センター | 13 | 249 | 302 | 201 |
| 大型 児童センター | 1 | 343 | 343 | 343 |
| 大型児童館 | 1 | 275 | 275 | 275 |
| 合計 | 66 | 266 | 343 | 138 |

● 利用者総数

平成28年度



- ～5,000人
- 5,000人～
- 10,000人～
- 20,000人～
- 30,000人～

令和3年度

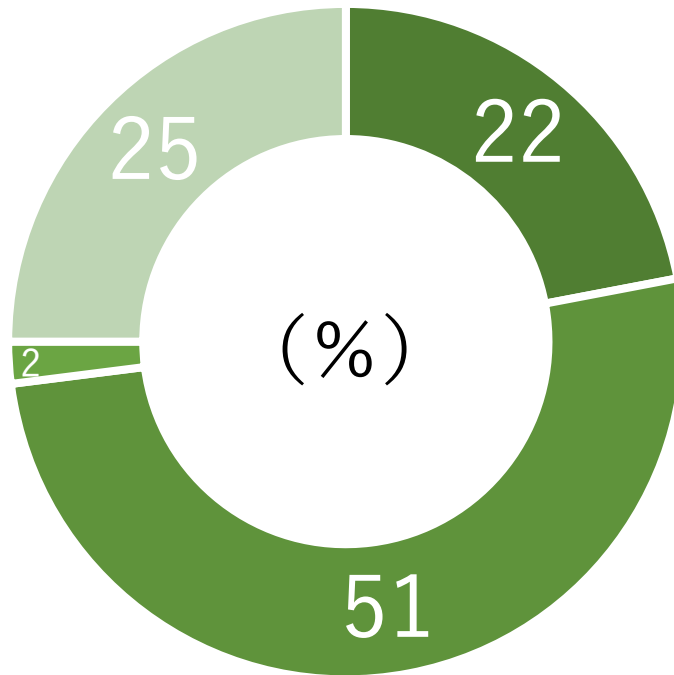


- ～5,000人
- 5,000人～
- 10,000人～
- 20,000人～
- 30,000人～

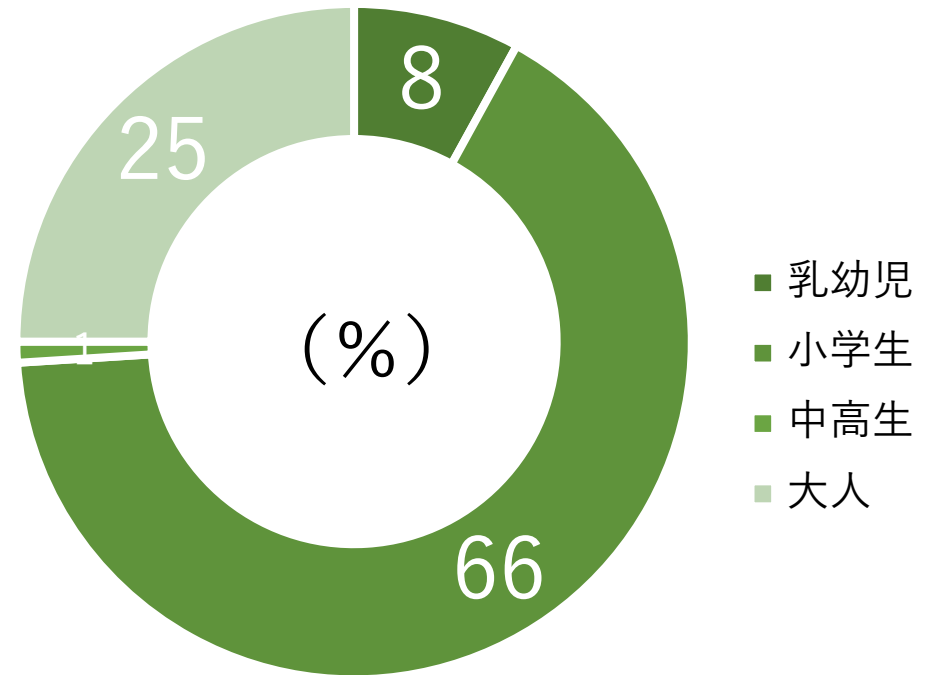
新型コロナウイルスの影響で大幅に減少

● 利用者の内訳

平成28年度

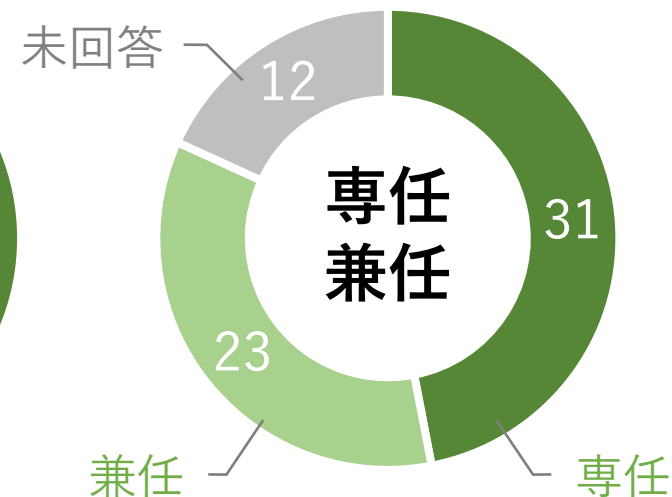
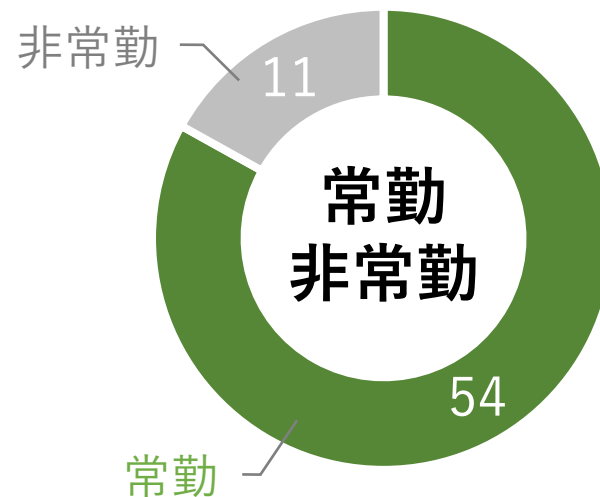
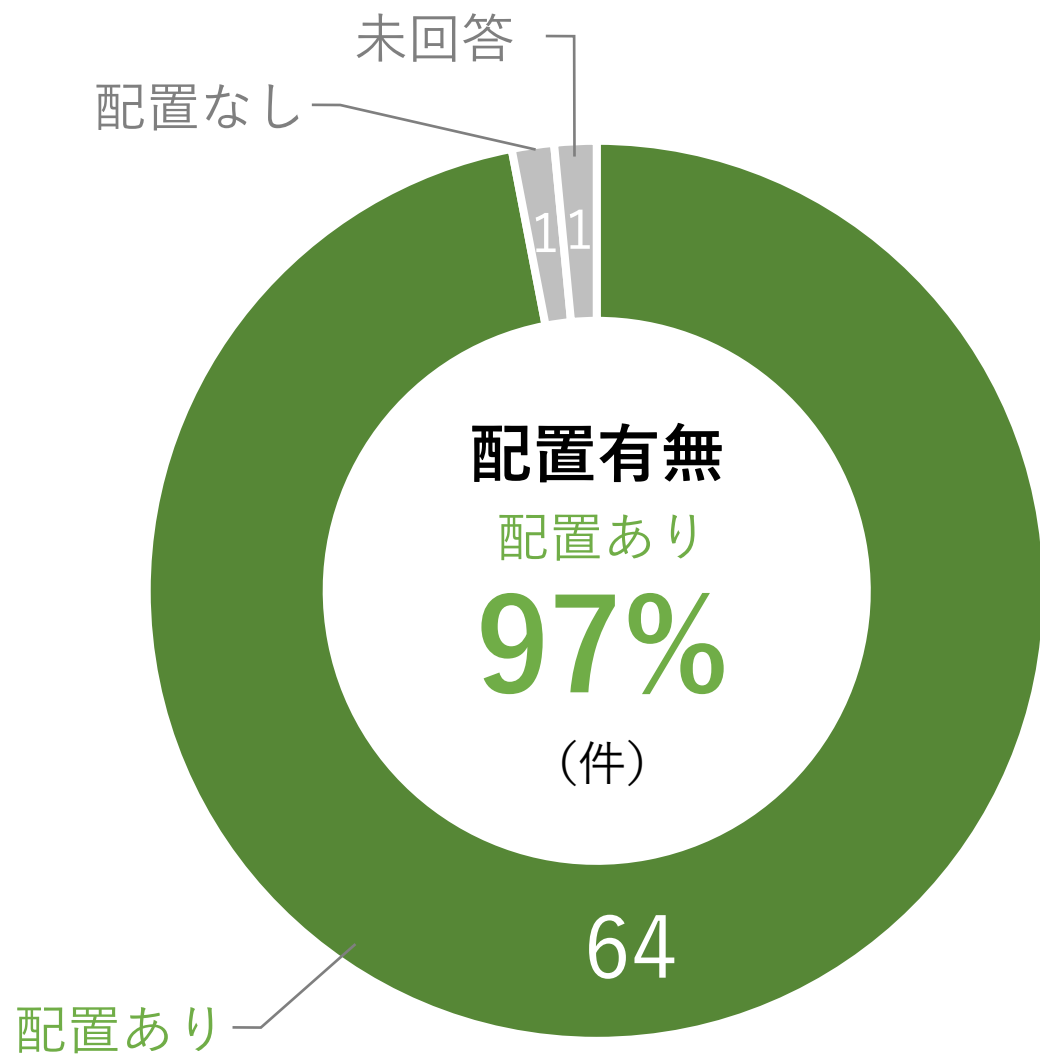


令和3年度



- 小学生の利用が最も多い（放課後児童クラブを利用しているため）。

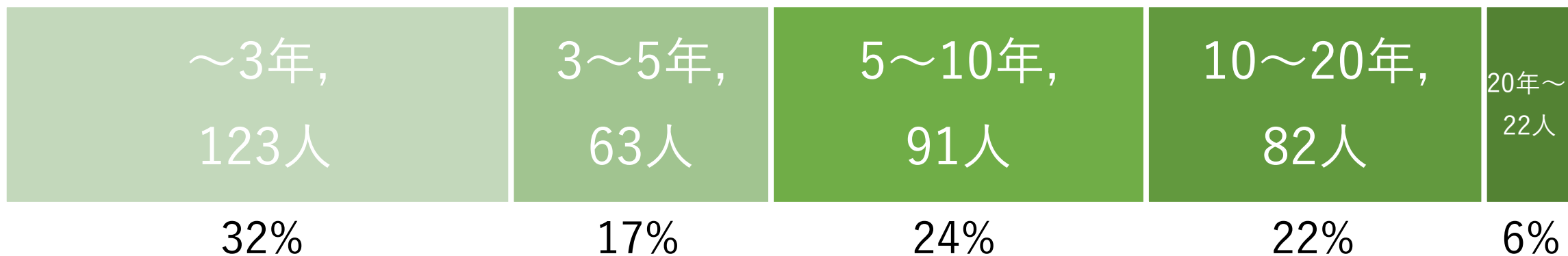
● 児童館長



- 97%の児童館に館長が配置されており、常勤・専任の館長が多かった。

● 職員の勤続年数・常勤/非常勤

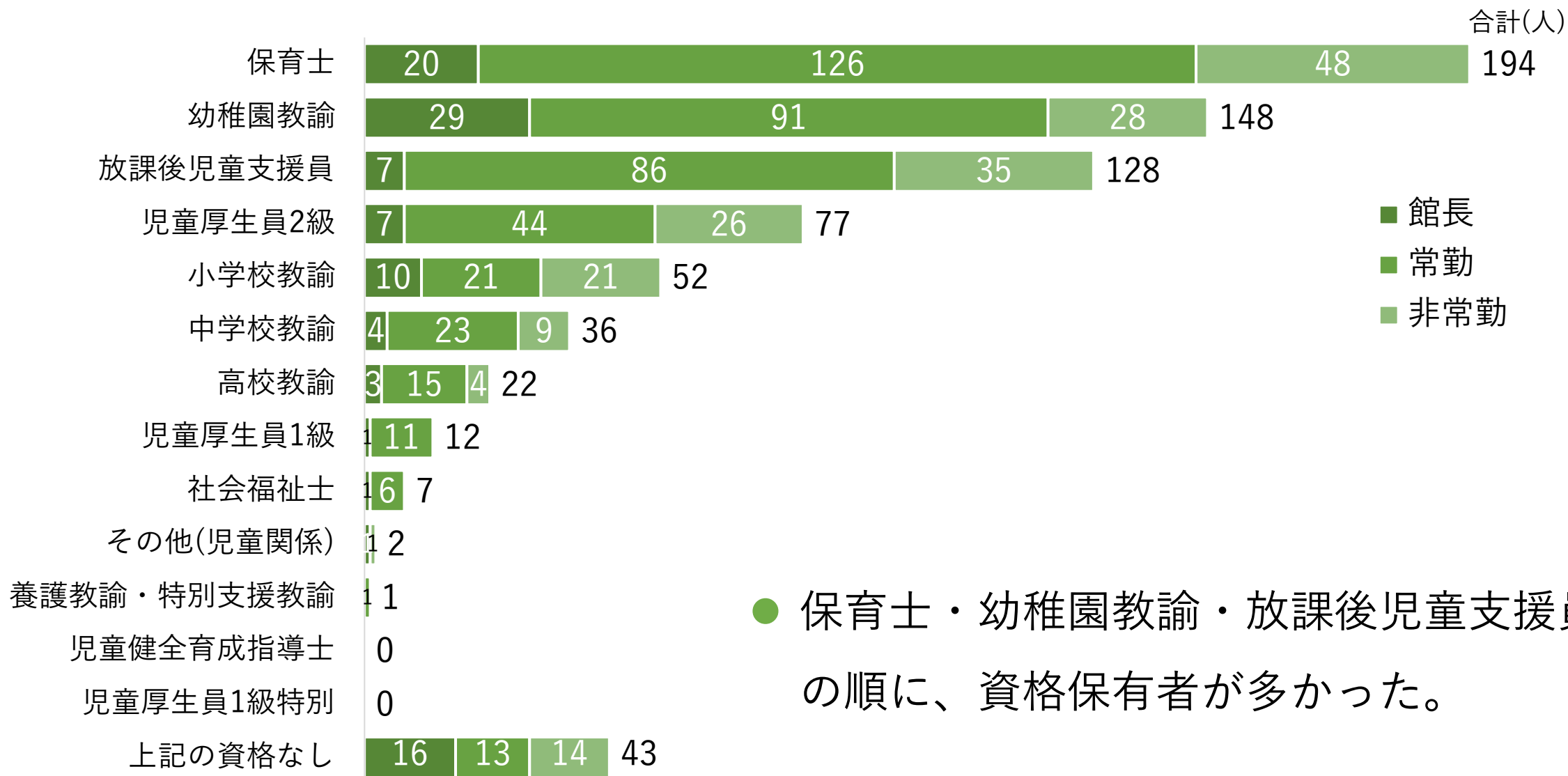
勤続年数（平均：6.2年）



常勤/非常勤（平均：児童厚生員/4.9人、職員総数/5.7人）

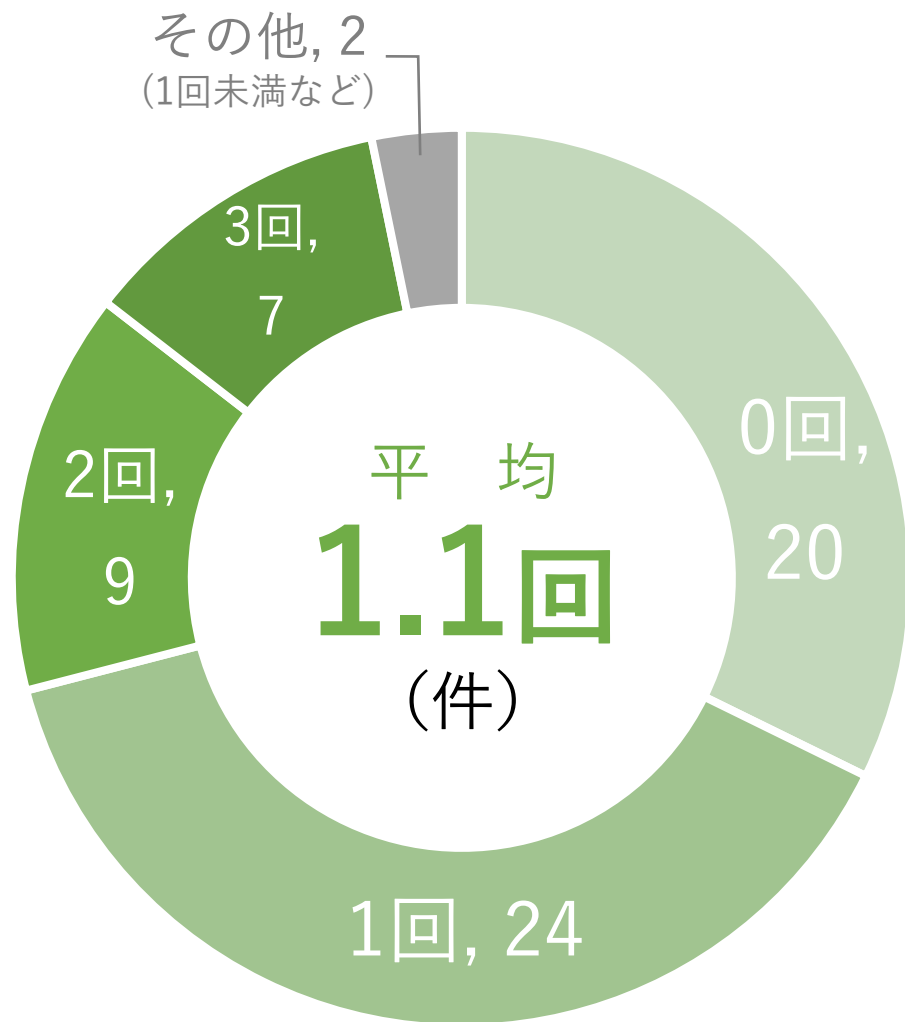


● 職員の保有資格

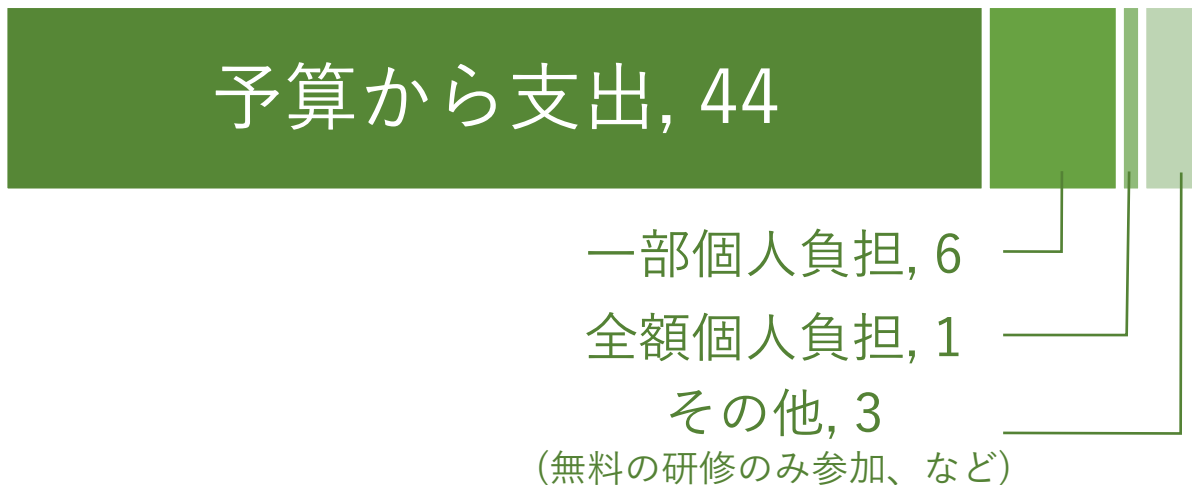


- 保育士・幼稚園教諭・放課後児童支援員の順に、資格保有者が多かった。

● 職場以外での研修の機会（業務として参加）



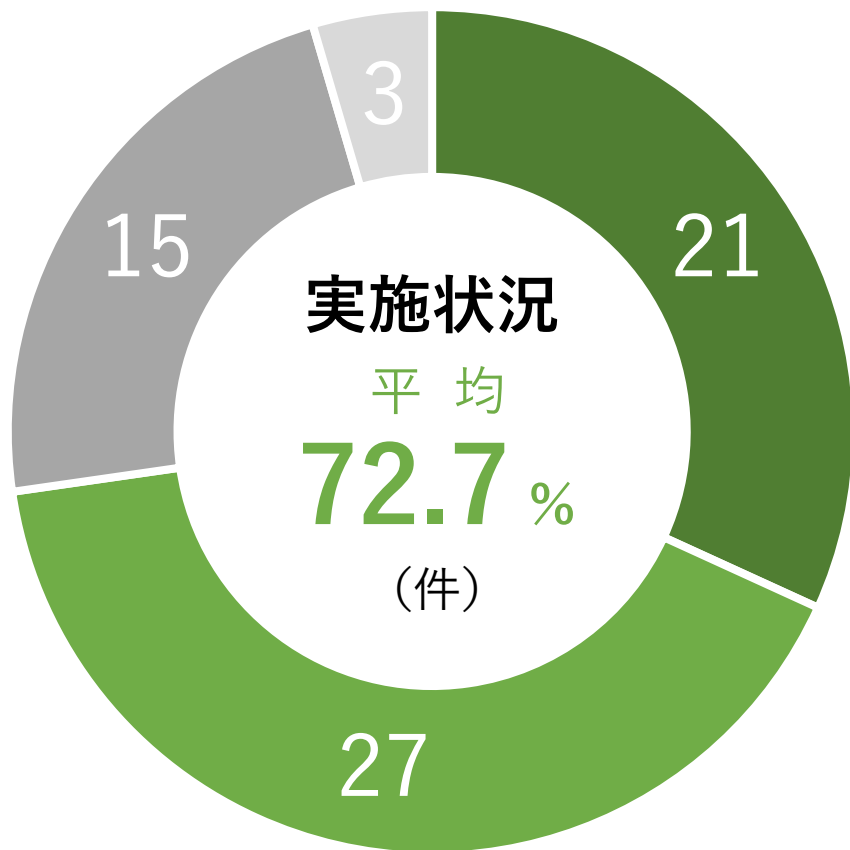
参加経費の負担方法



- 0回・1回が多く、研修機会が少ない傾向がある。

● 職員に対するメンタルヘルス対策※（新規設問）

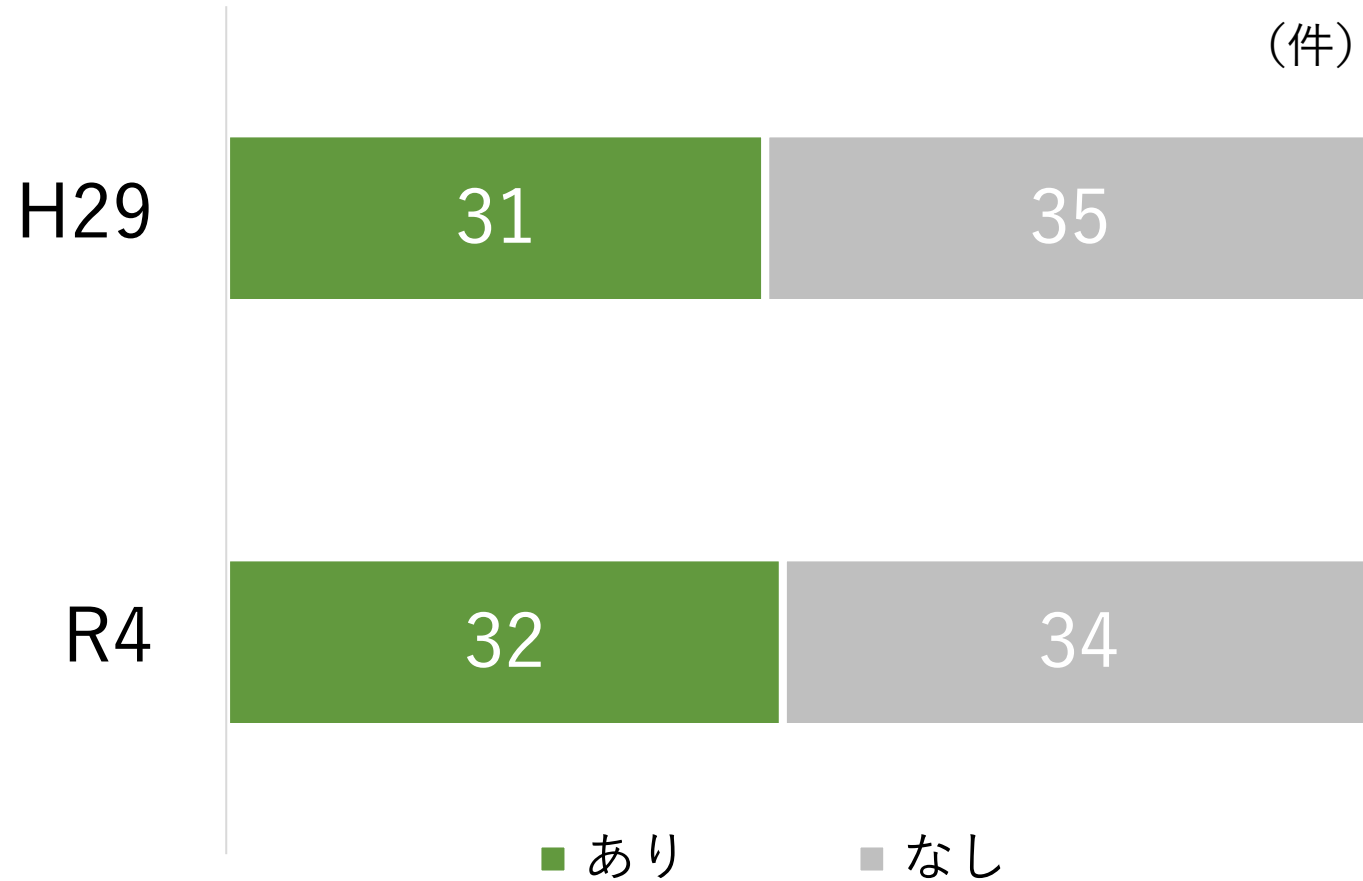
※ 主に精神的な疲労、ストレス、悩みなどの軽減や緩和するための支援の取り組み



■ 常勤職員のみ ■ すべての職員 ■ 実施なし ■ その他

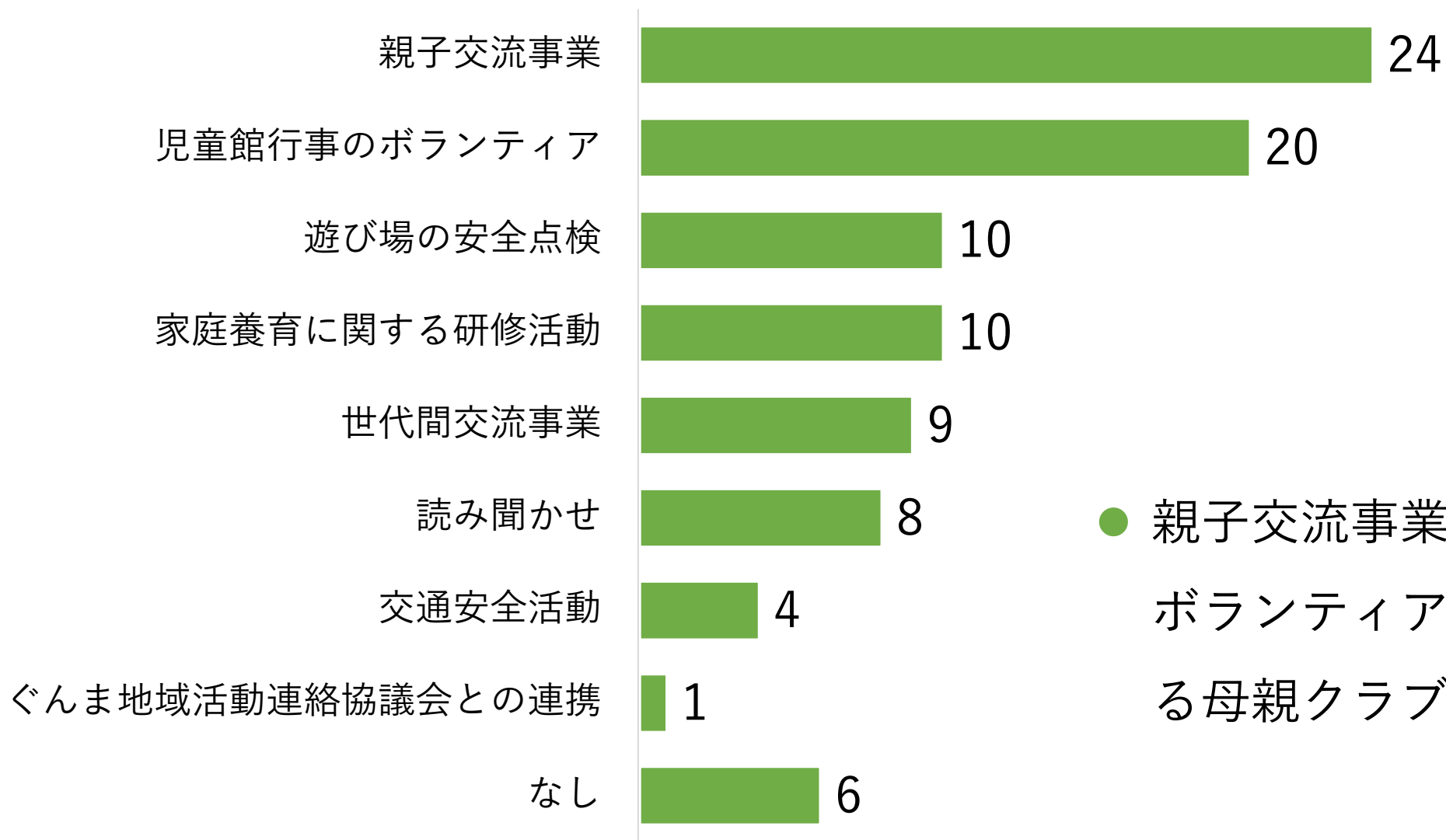
- 全体の72.7%の児童館が、メンタルヘルス対策を実施していた。
常勤職員のみを対象：31.8%
すべての職員を対象：40.9%

● 児童館で活動中の母親クラブの有無



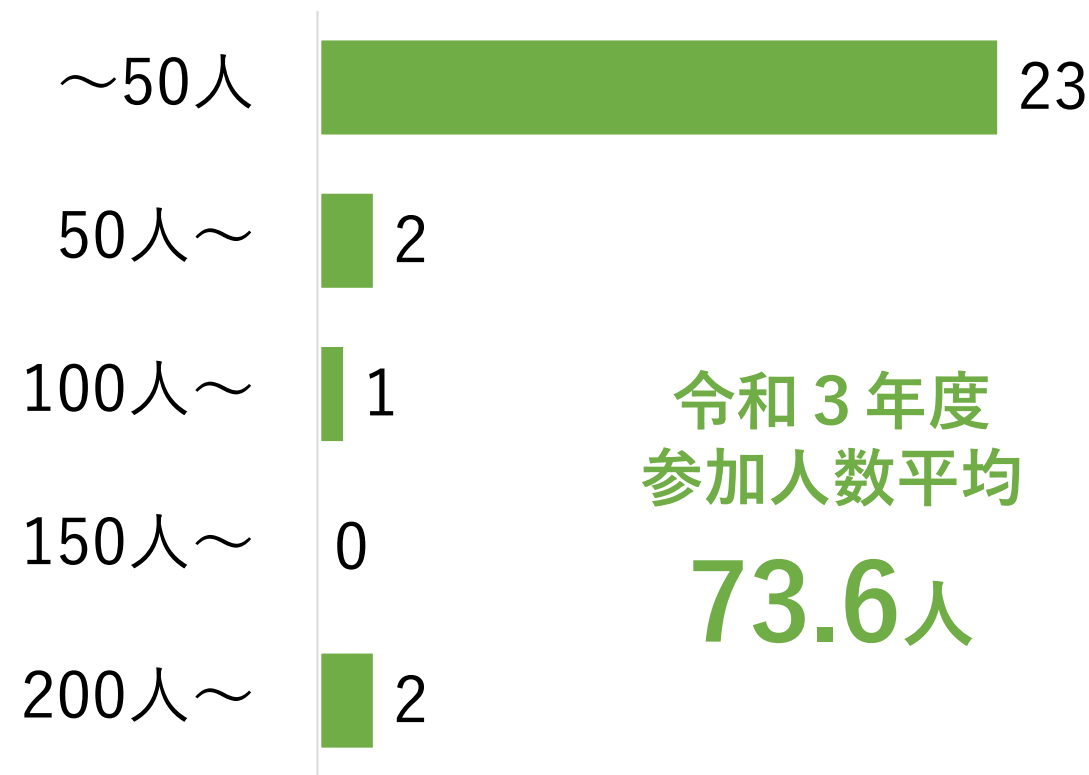
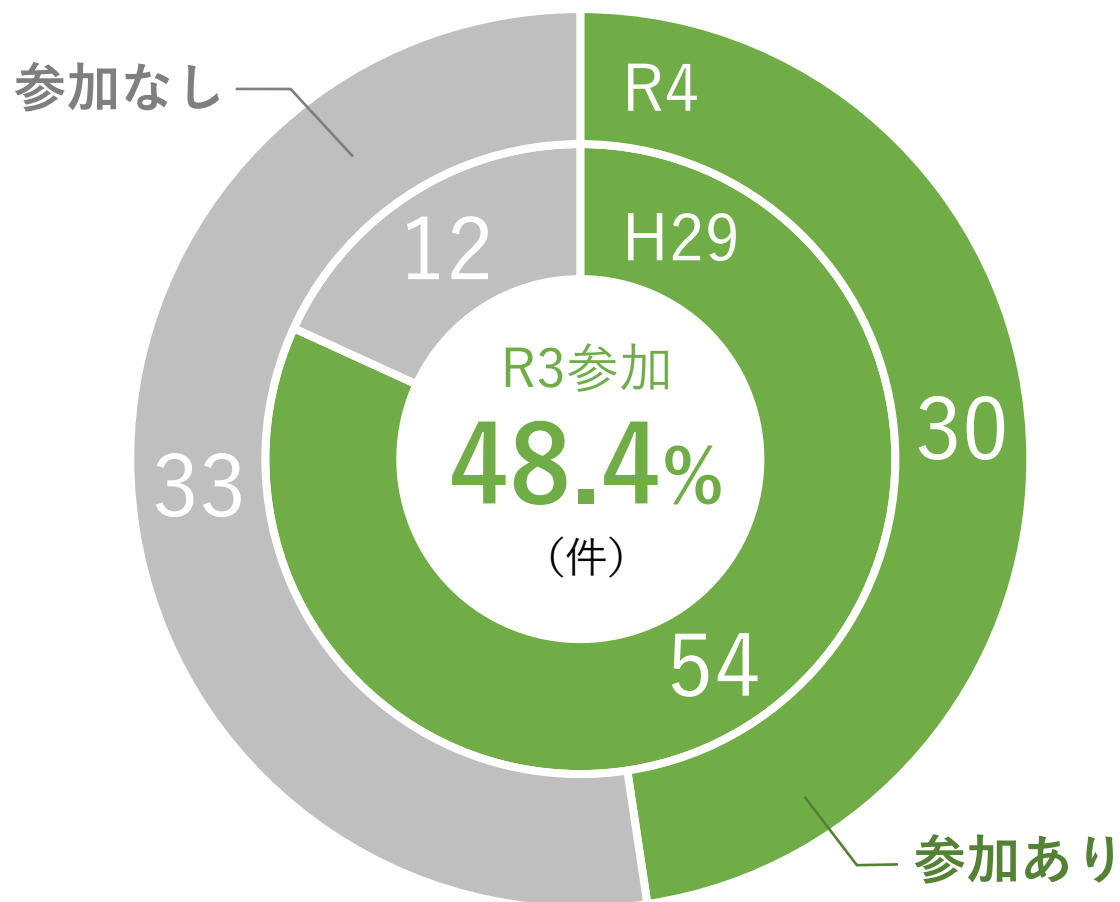
- 平成29年度と令和4年度では、1つの母親クラブの活動が増加した。

● 児童館・母親クラブの連携事業



- 親子交流事業や、児童館行事のボランティアとして活動している母親クラブが多かった。

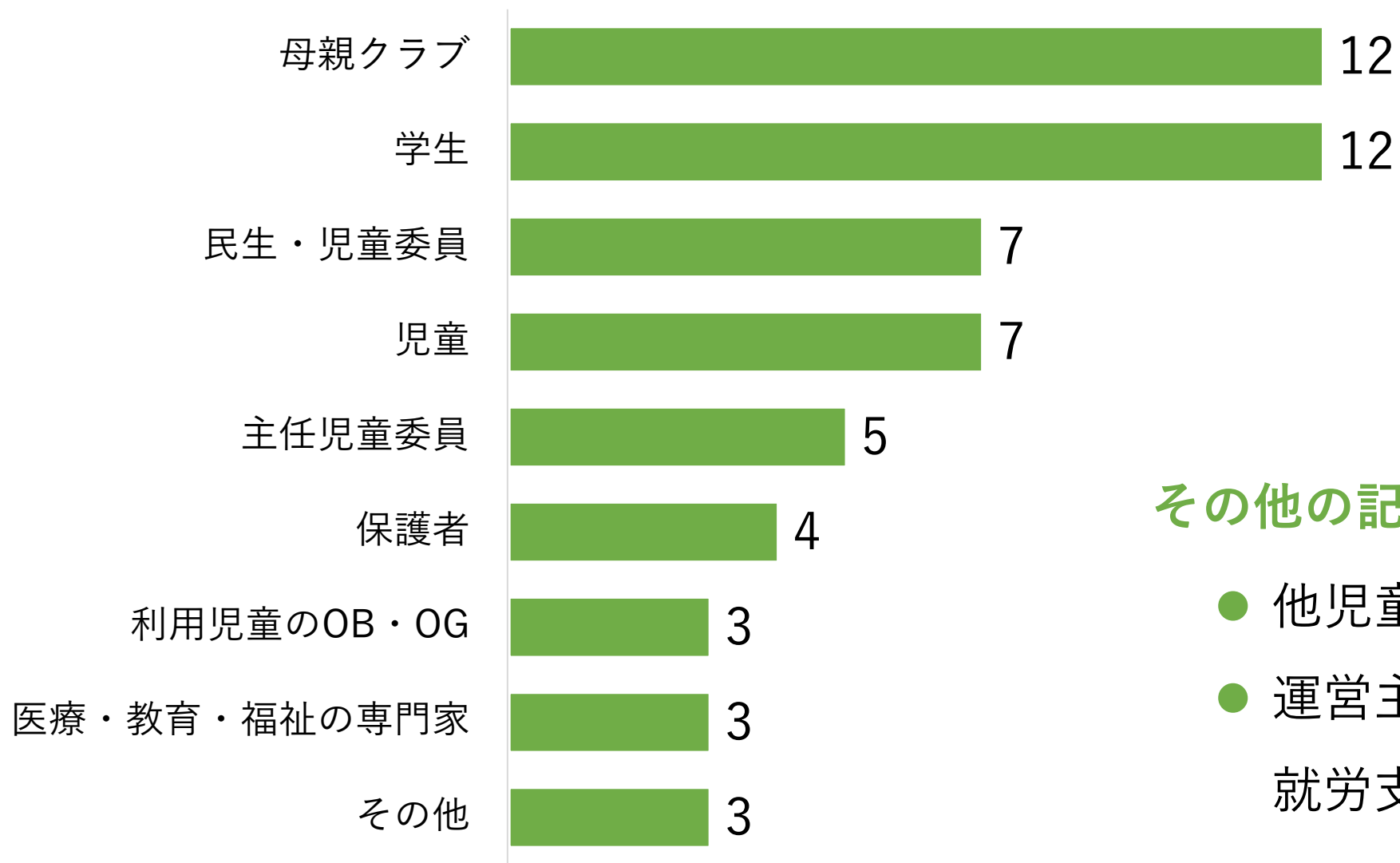
● ボランティアの参加・延べ人数（令和3年度）



令和3年度
参加人数平均
73.6人

- 令和3年度は新型コロナウイルスの影響か、ボランティア活動が減少傾向にあった。

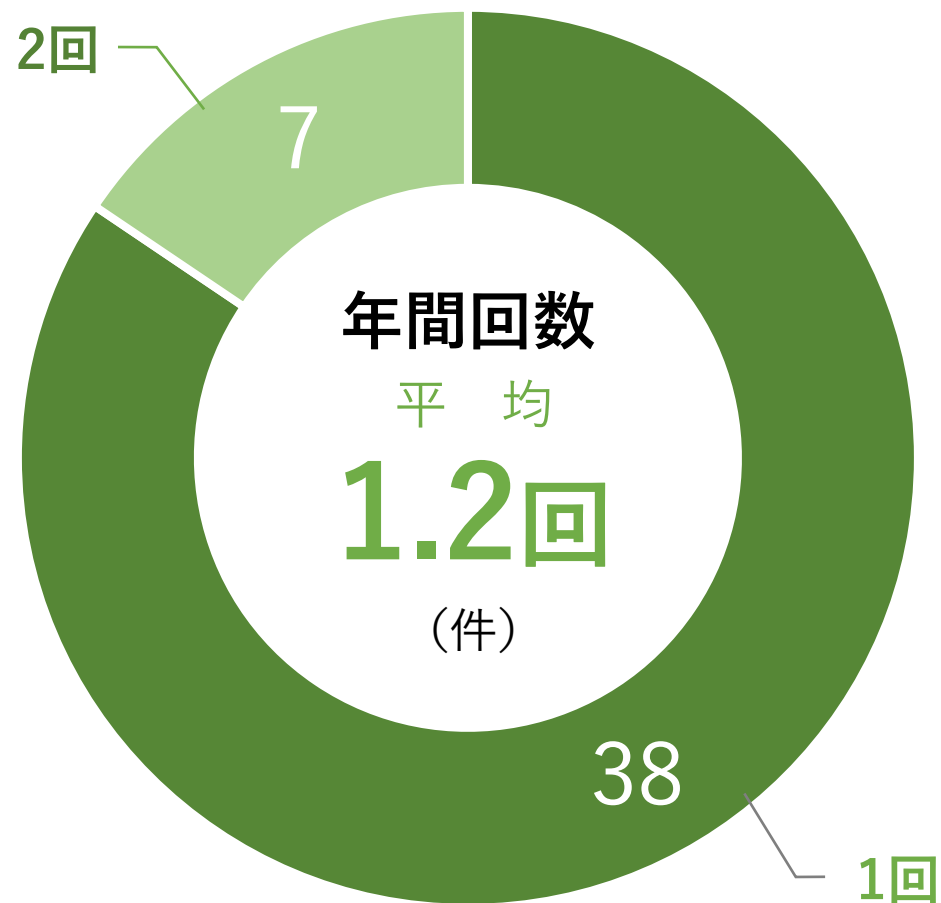
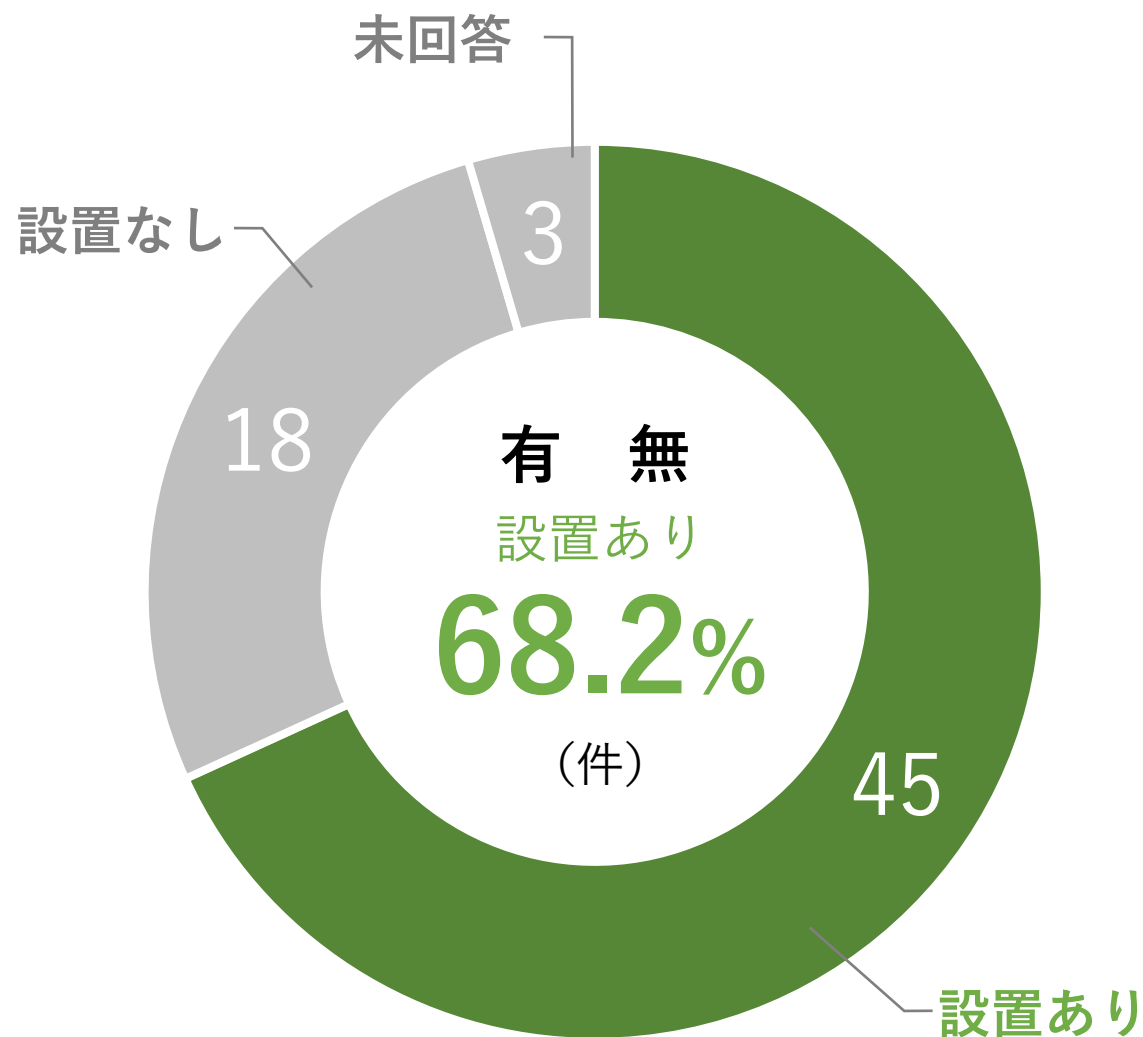
● ボランティアの属性



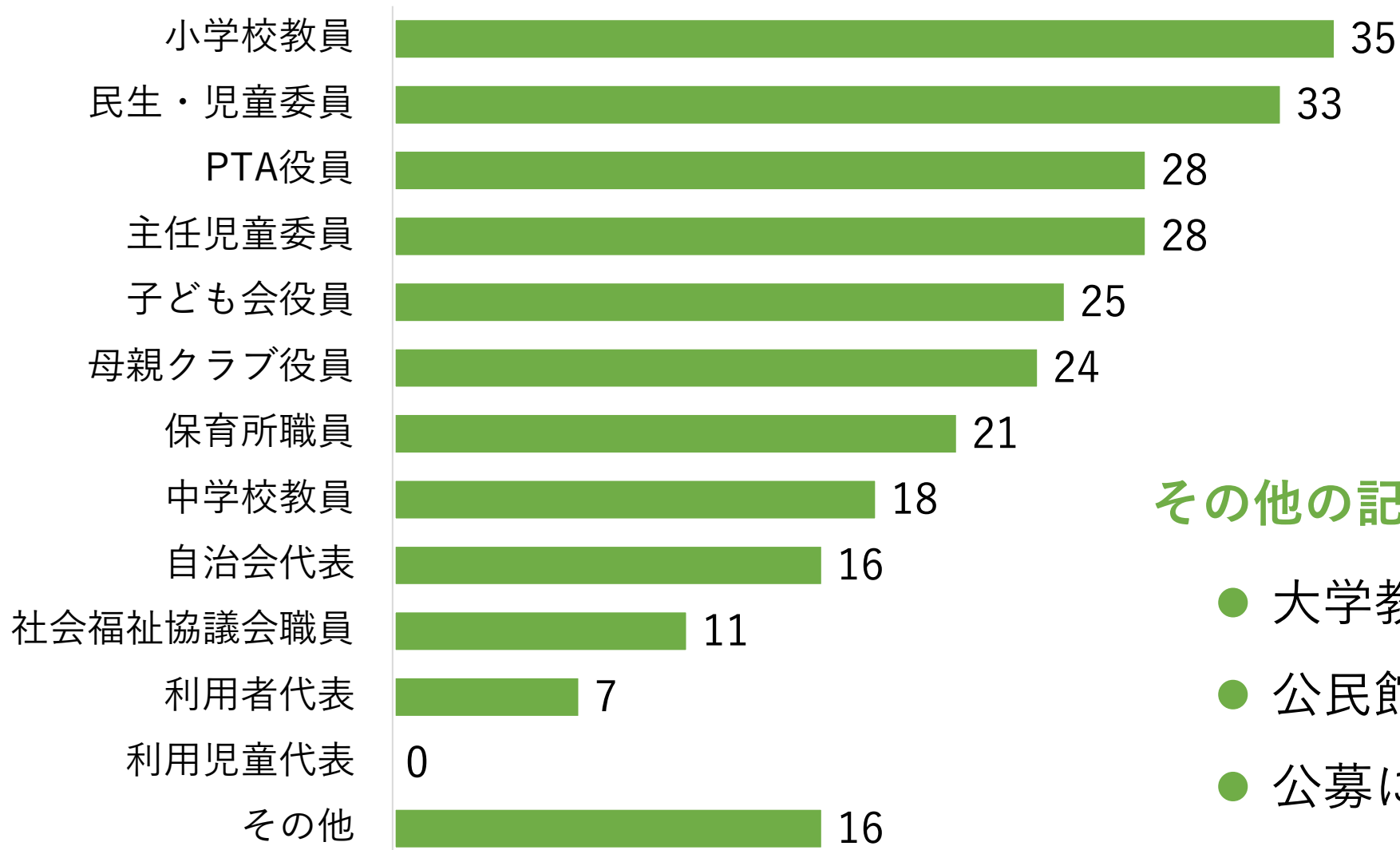
その他の記載内容

- 他児童館の支援員
- 運営主体のNPO法人の
就労支援の若者 など

● 運営委員会（運営協議会）の設置



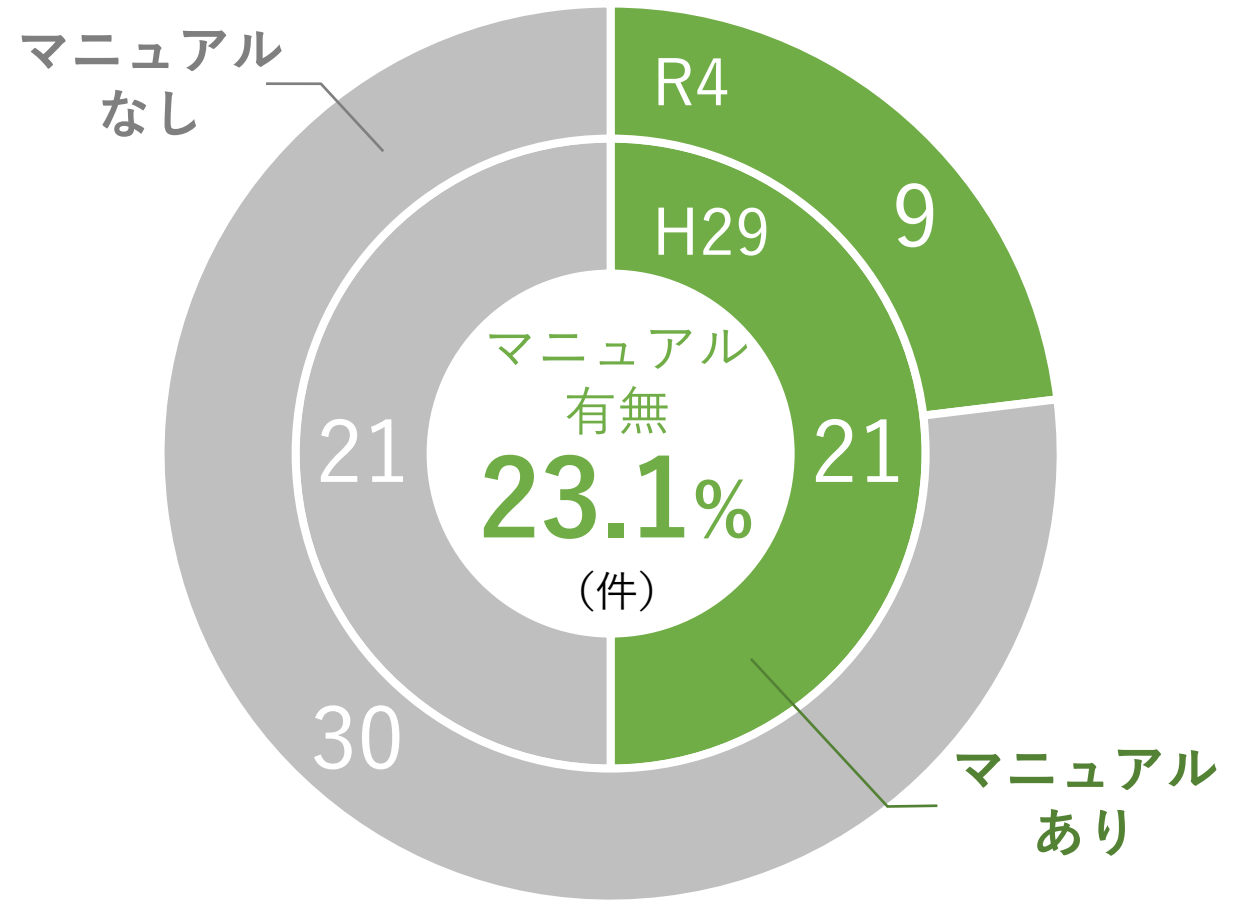
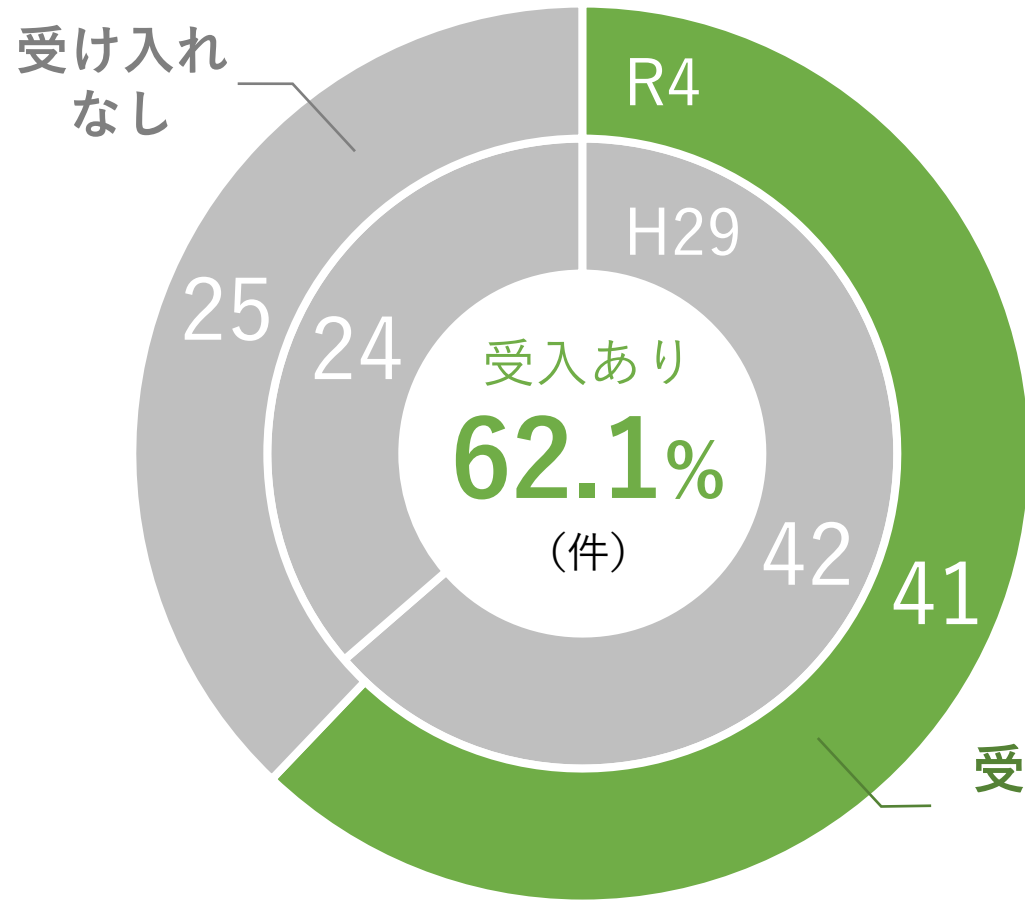
● 運営委員の属性



その他の記載内容

- 大学教員
- 公民館館長
- 公募による市民代表 など

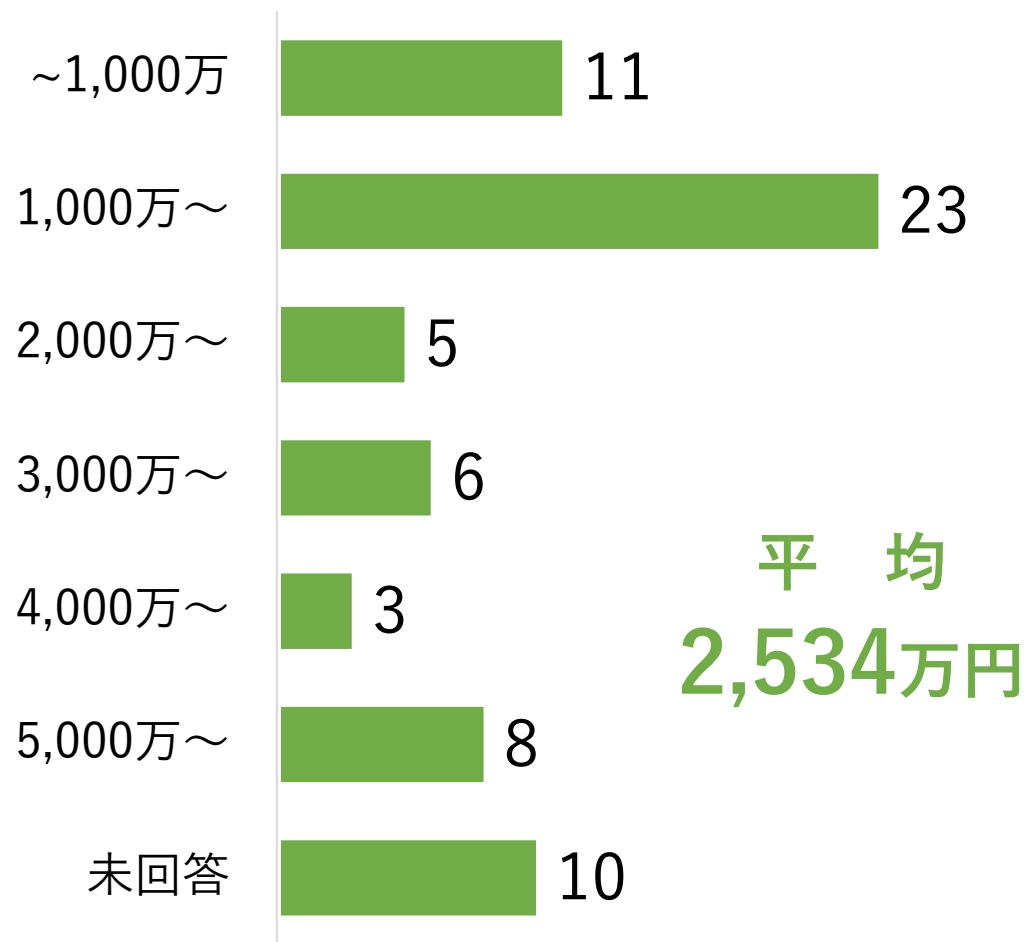
● 実習生の受け入れ（大学・短大・専門学校）



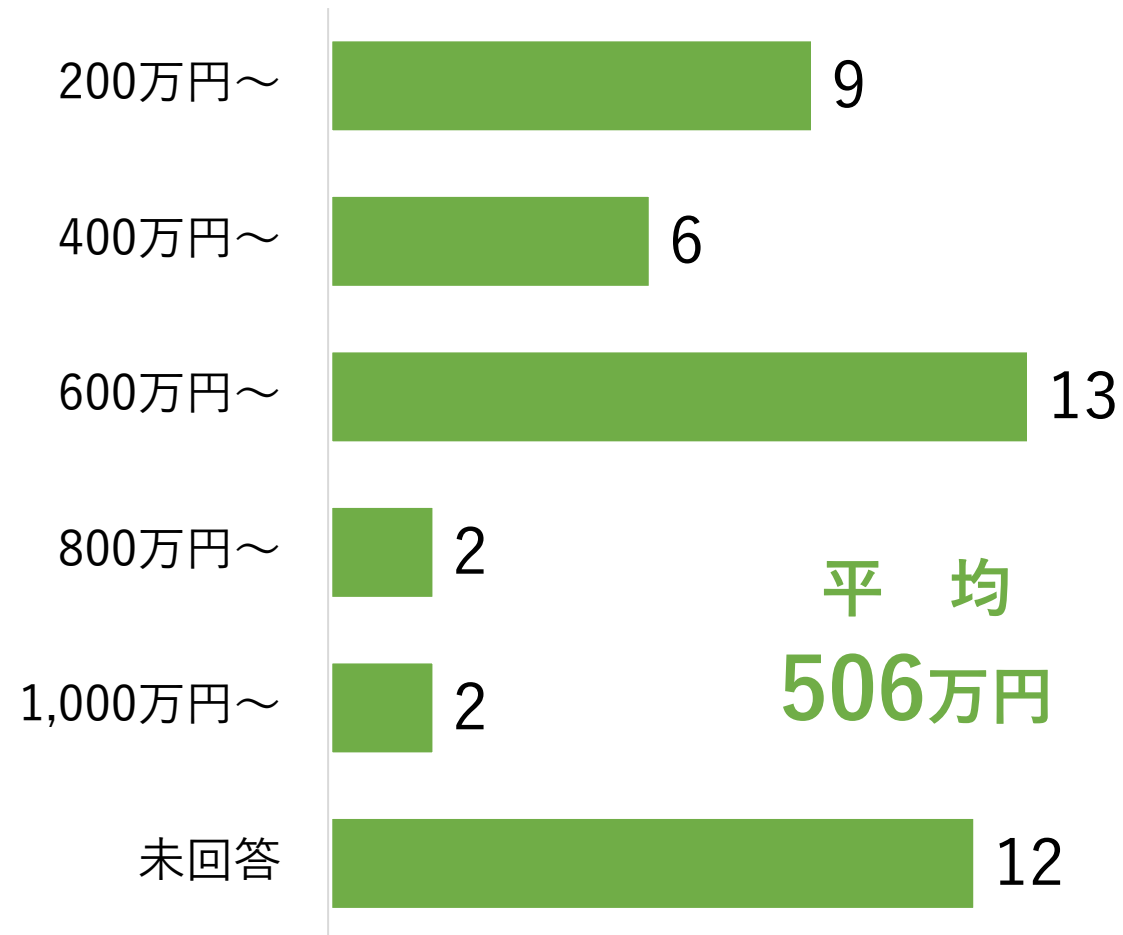
- 実習生受け入れに関するマニュアルがある児童館が減少した。

● 年間予算

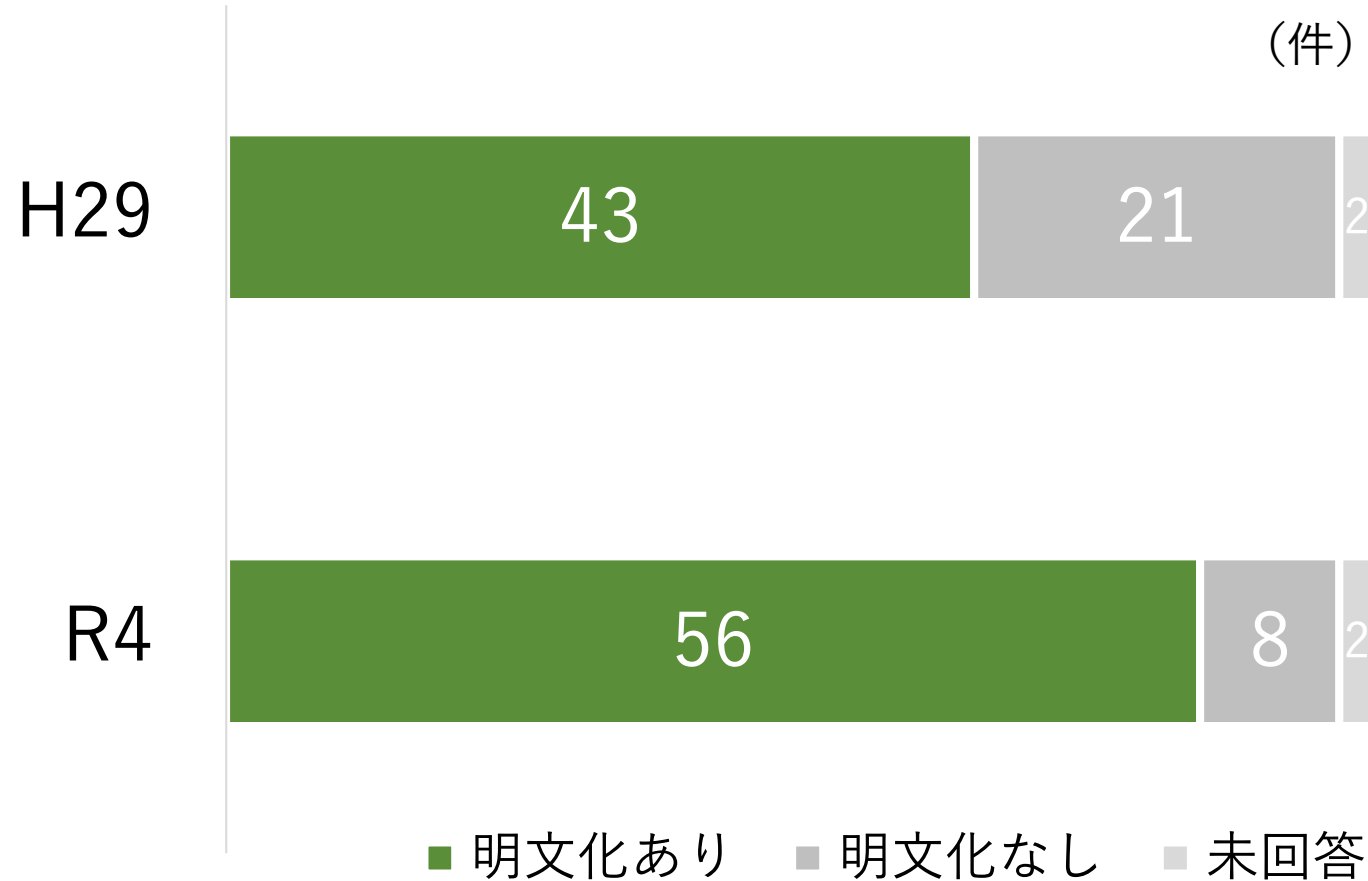
人件費含む



人件費以外の事務費・事業費など

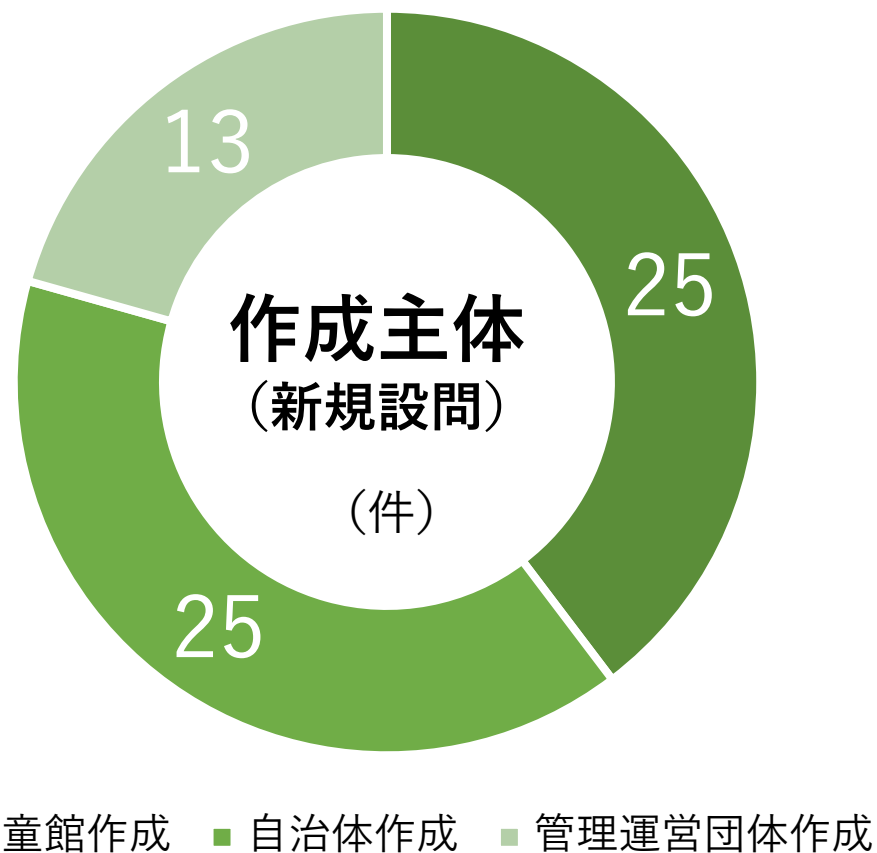
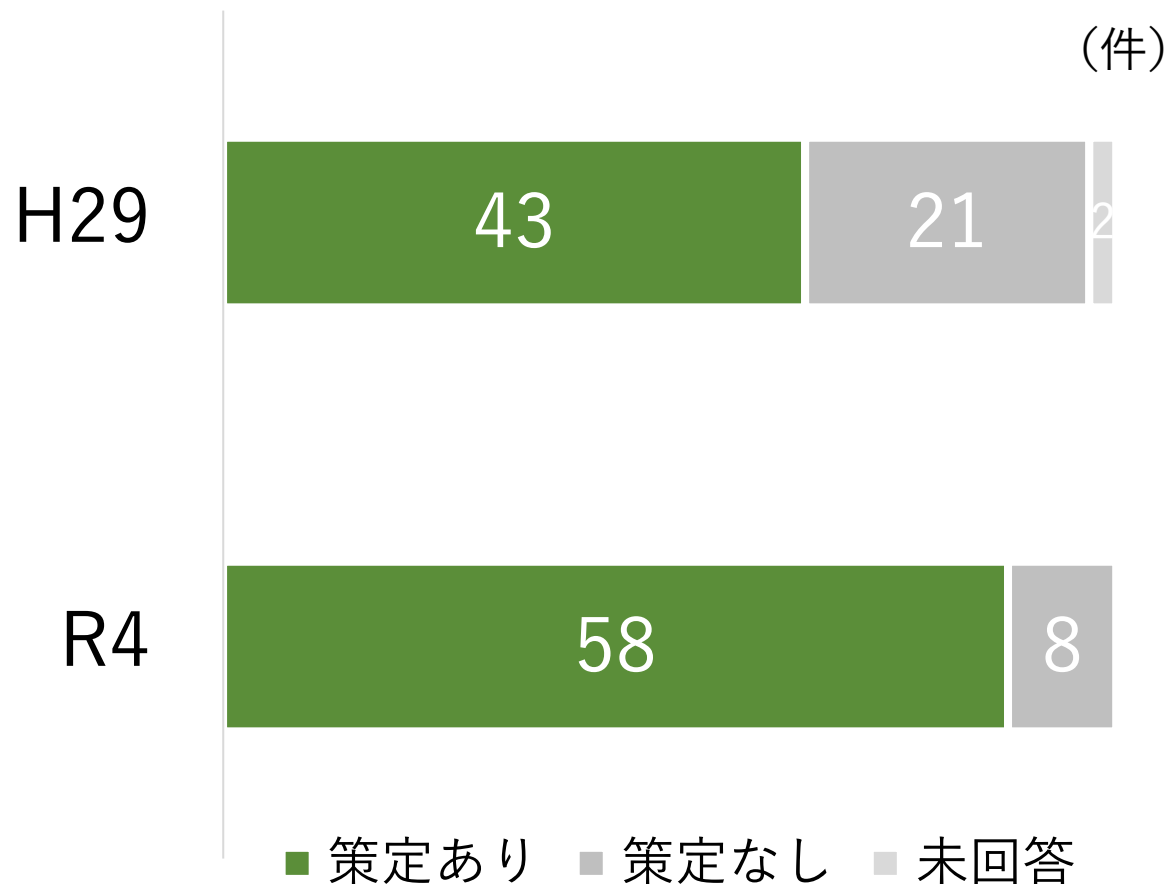


● 職員の倫理規定等の明文化



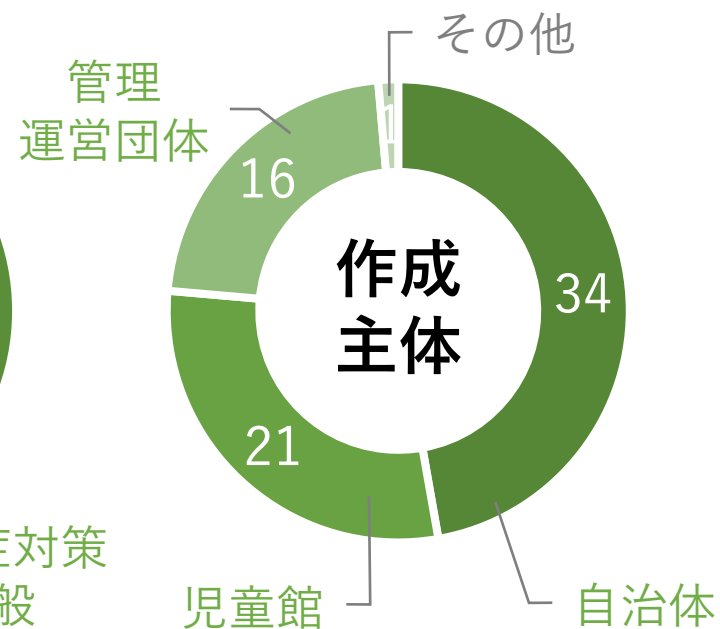
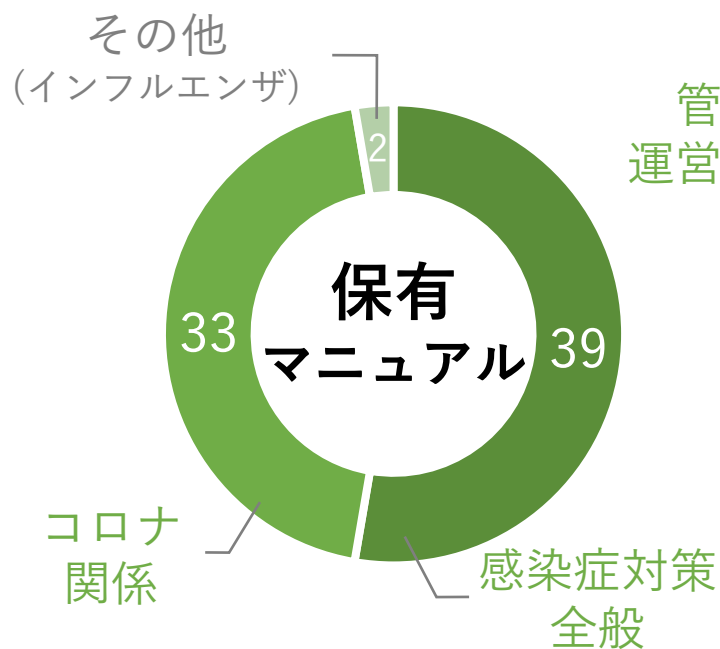
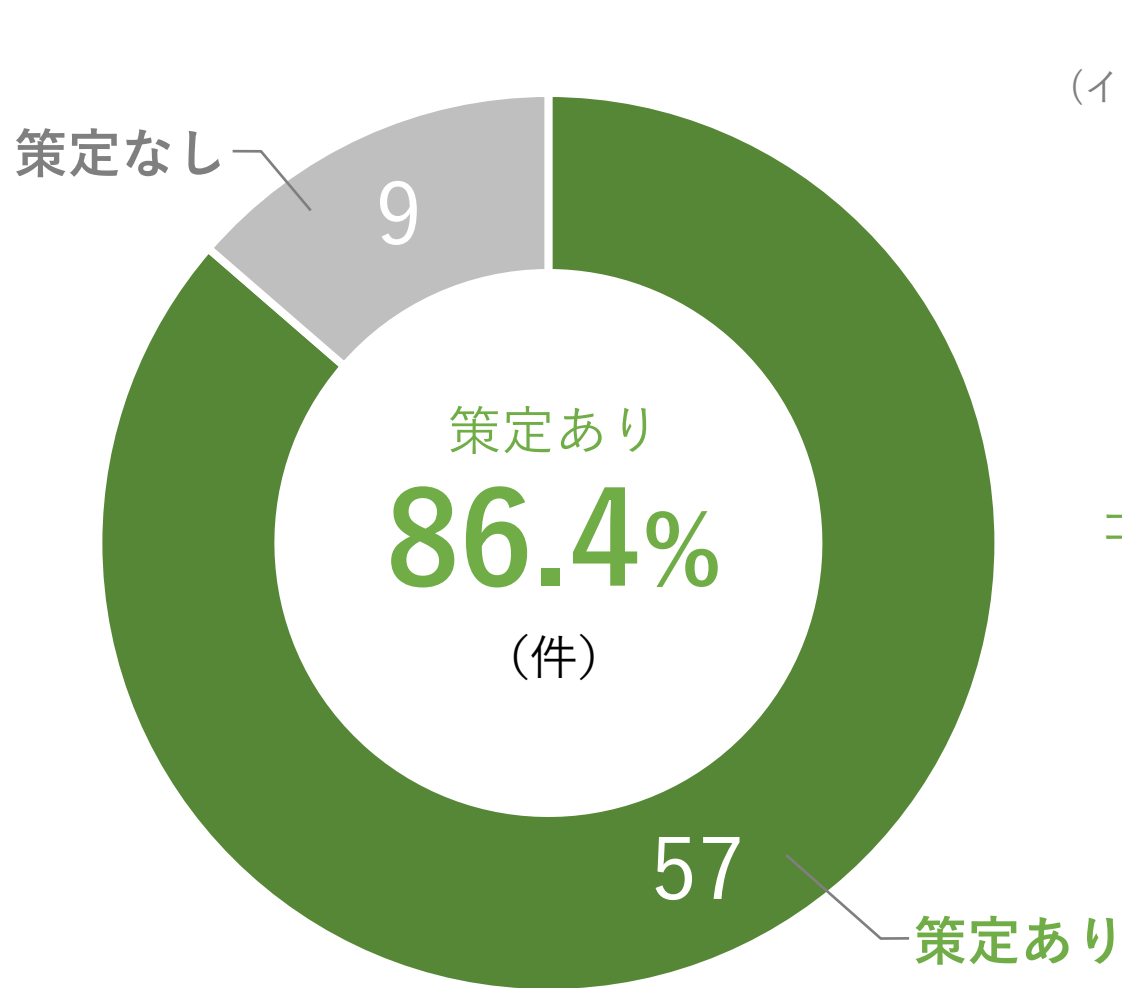
- 令和4年度は平成29年度に比べ、職員の倫理規定等が明文化されていた(87.5%)。

● 安全管理（危機管理等）マニュアルの策定



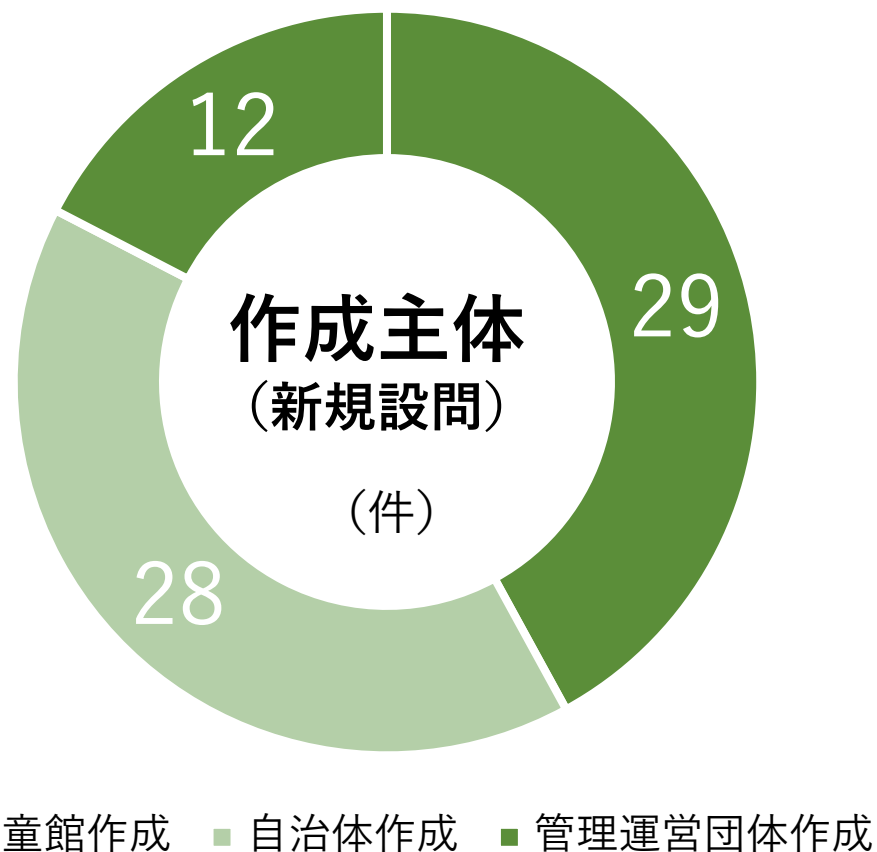
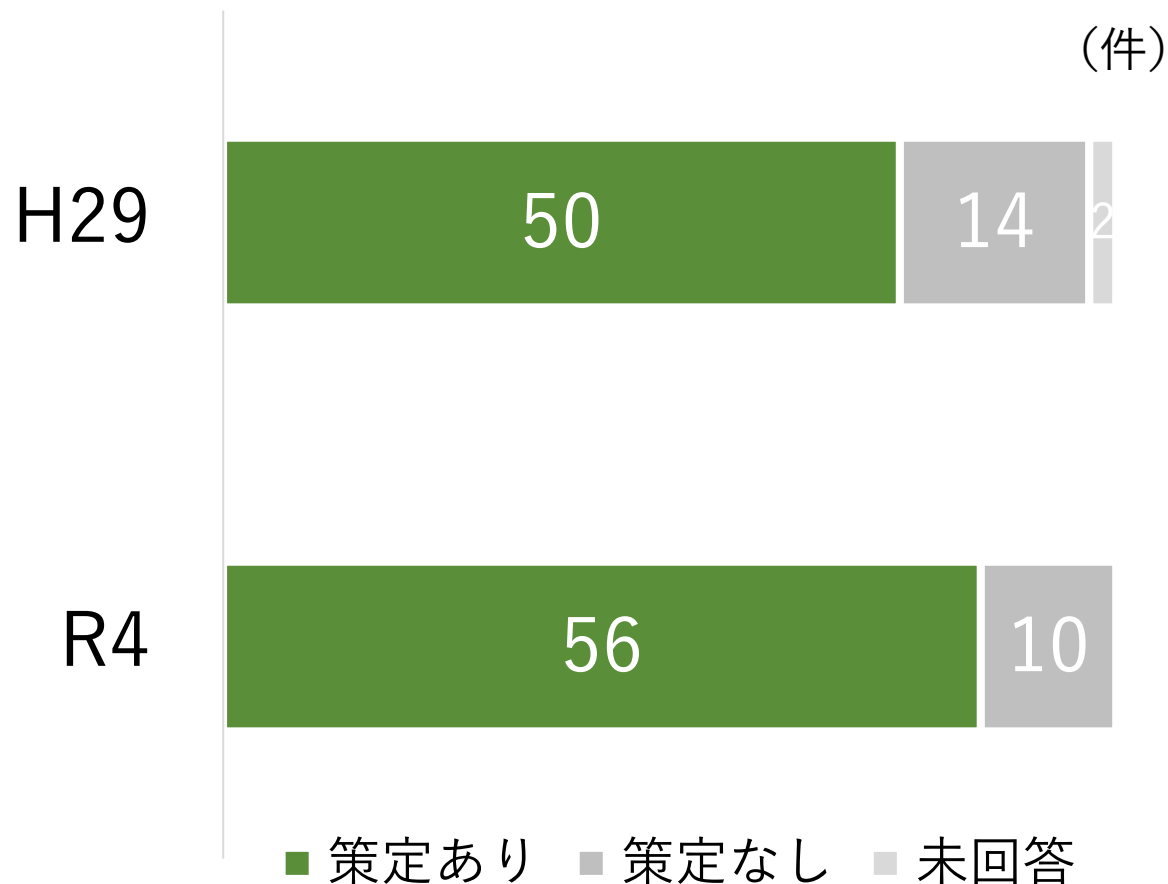
- 令和4年度は平成29年度に比べ、安全管理マニュアルが策定されていた(87.9%)。

● 感染症対策マニュアルの策定（新規設問）



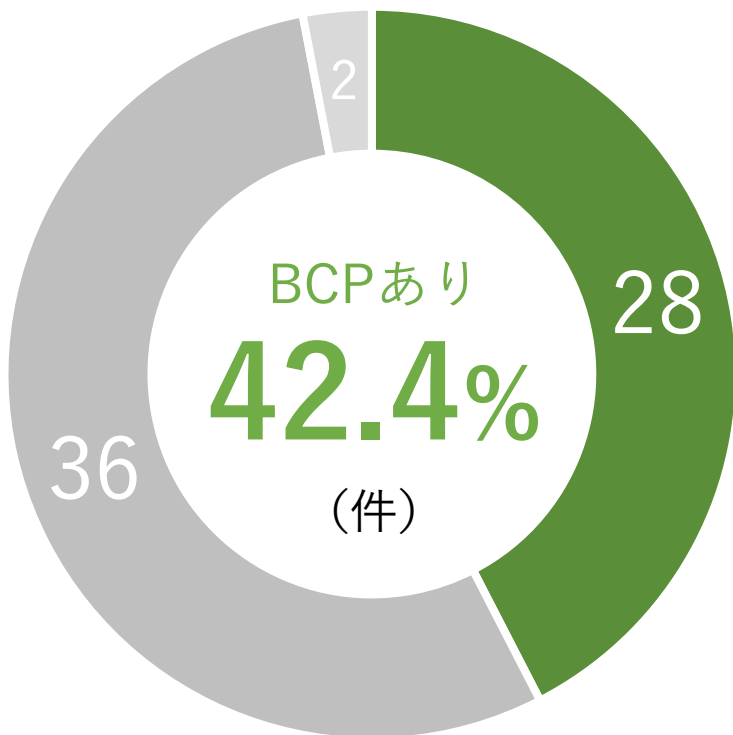
- 多くの児童館で、感染症対策マニュアルが策定されていた。

● 防災に関するマニュアルの策定



- 令和4年度は平成29年度に比べ、防災に関するマニュアルが策定されていた(84.8%)。

● 災害時等の事業継続計画（BCP）の有無（新規設問）



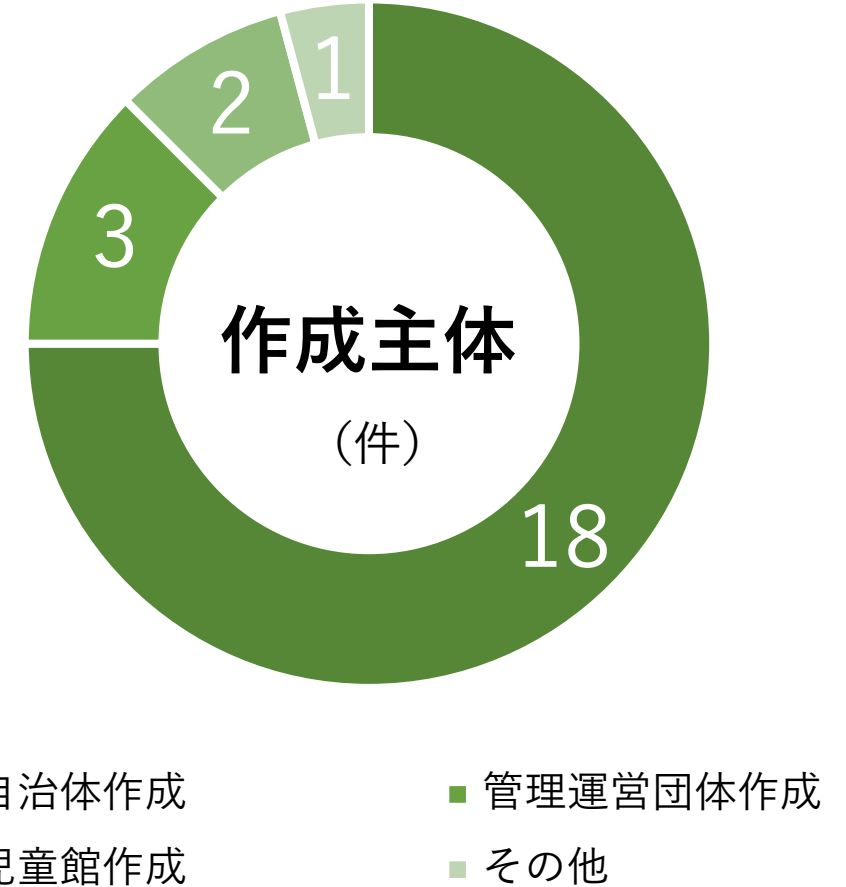
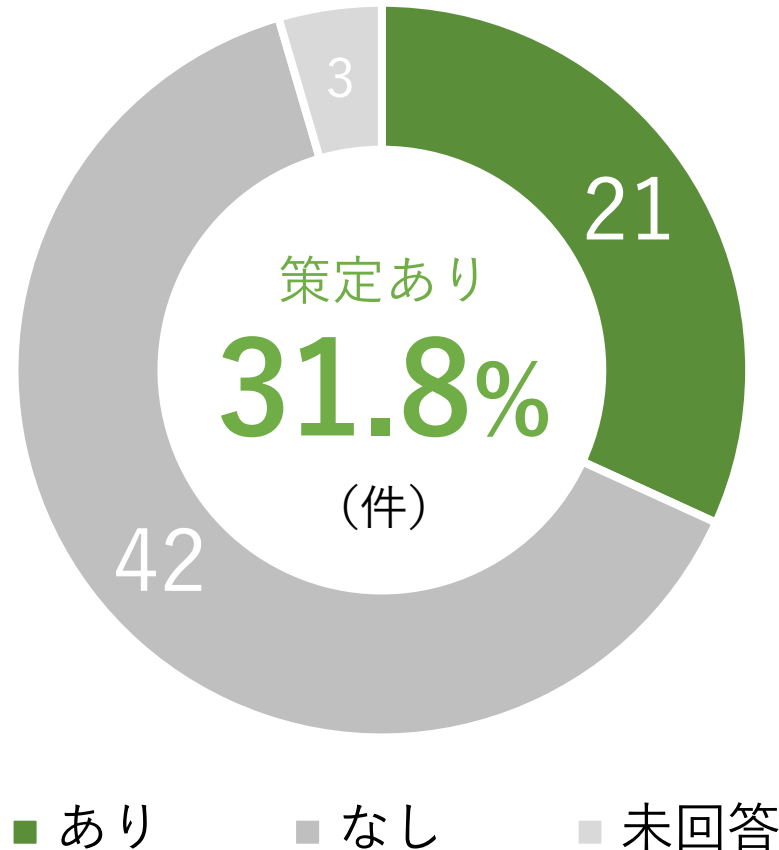
■ あり ■ なし ■ 未回答



■ 自治体作成 ■ 児童館作成 ■ 管理運営団体作成

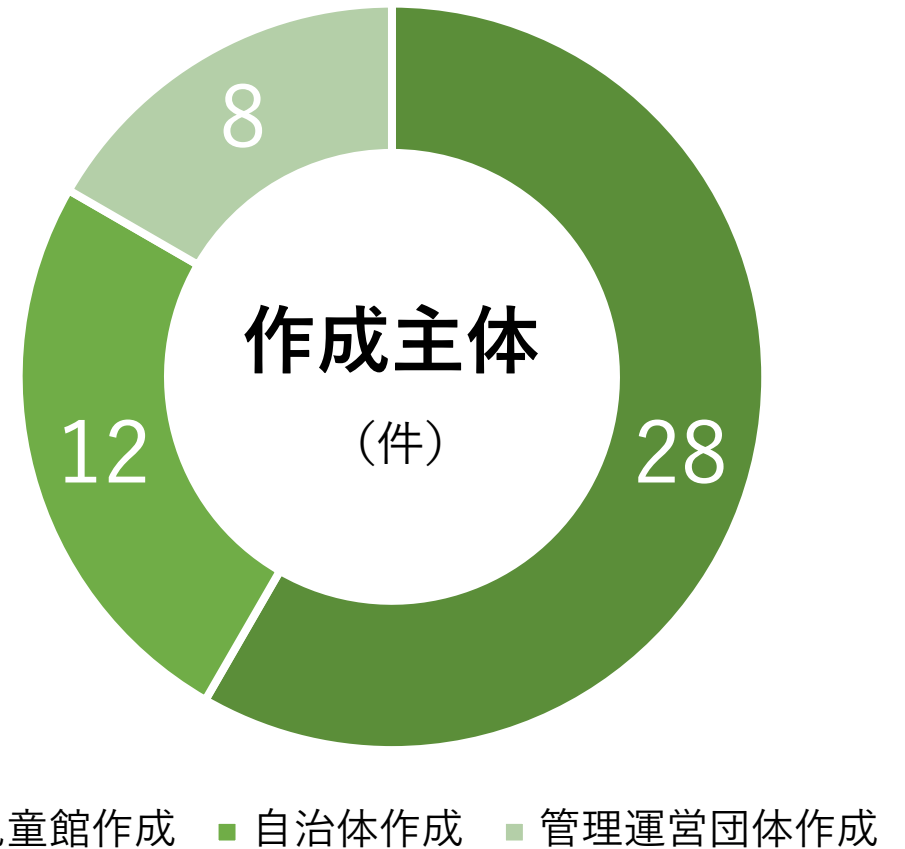
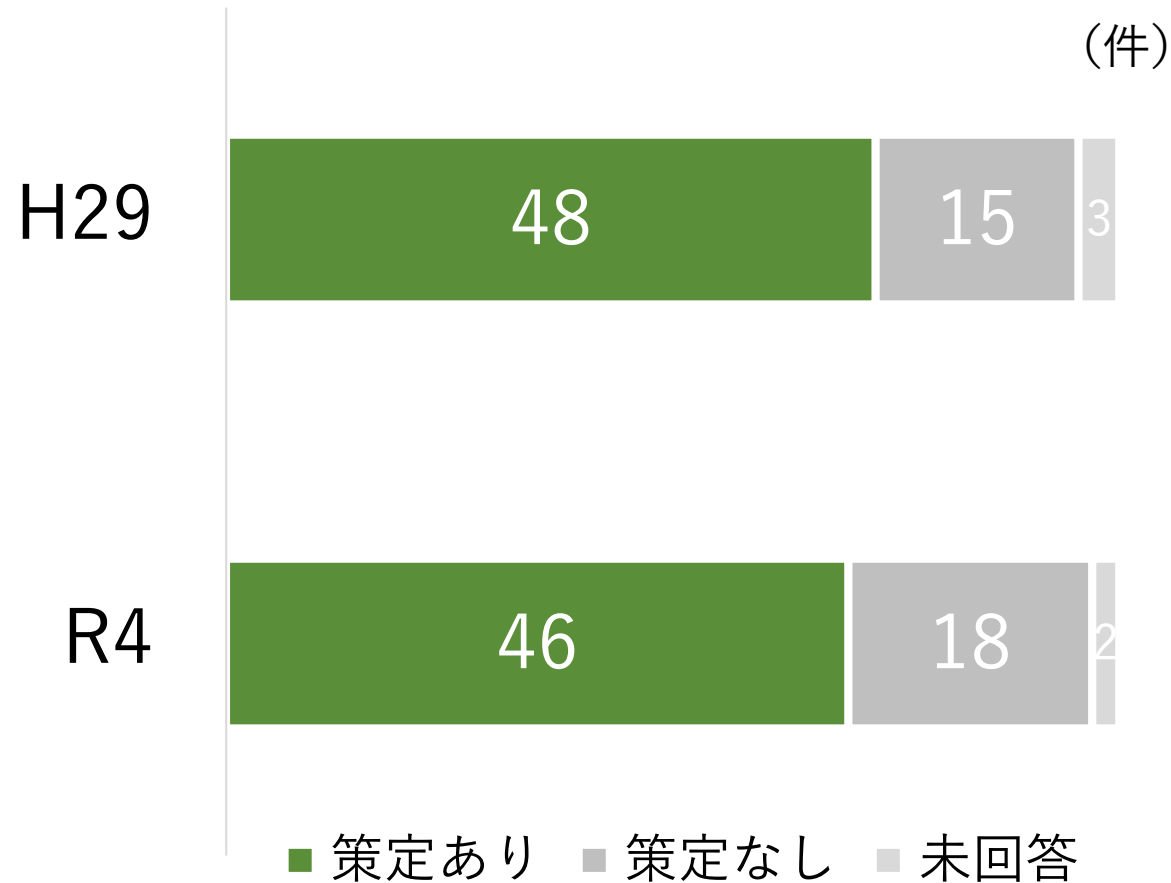
- BCPがある児童館よりも、ない児童館の方が多かった。

● 災害時の一時避難受け入れに関するマニュアルの策定（新規設問）



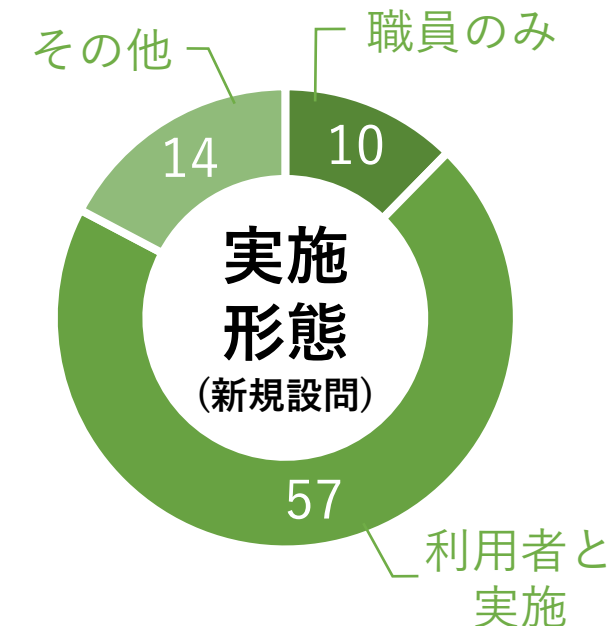
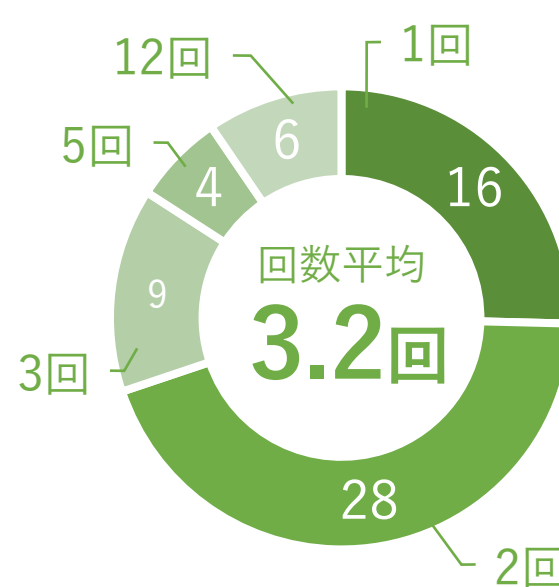
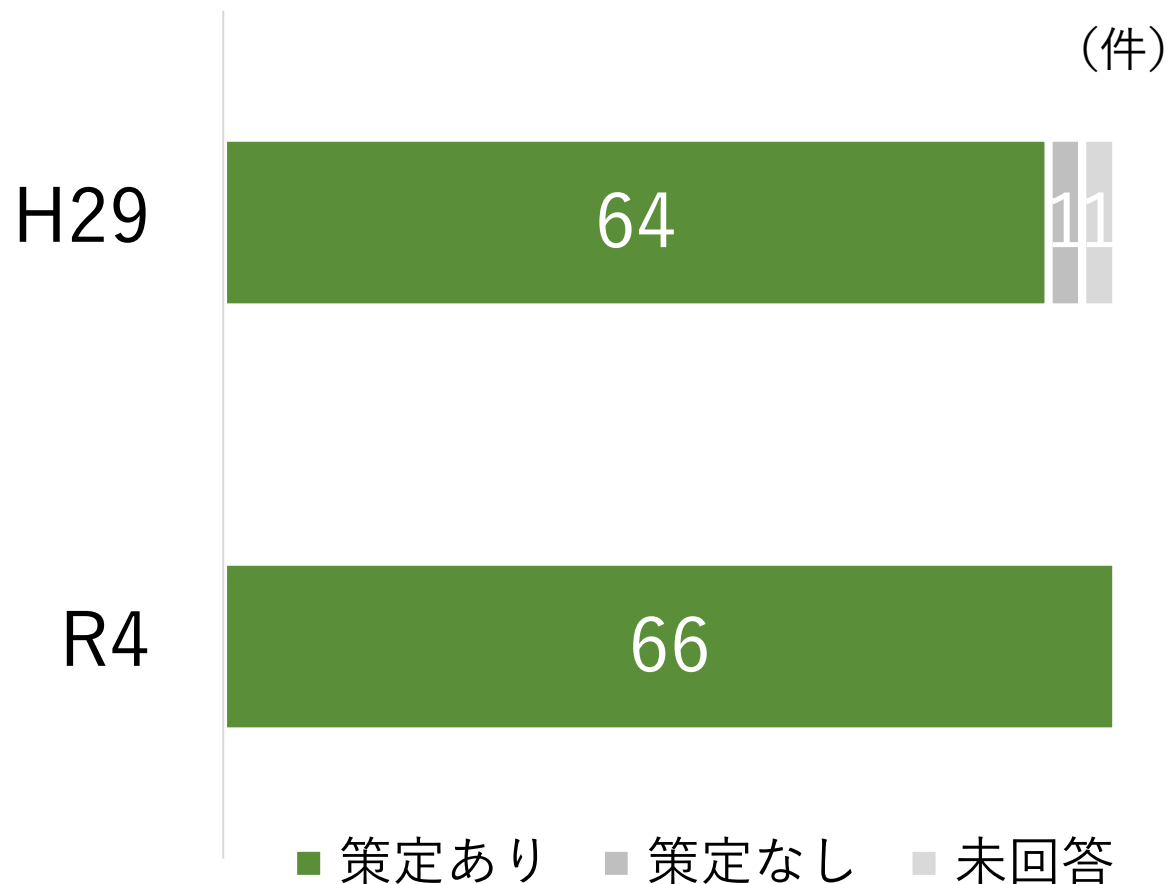
- 一時避難受け入れに関するマニュアルがある児童館は、1/3程度だった。

● 防犯マニュアルの策定



- 児童館独自で制作したマニュアルを使用している児童館が多かった(58.3%)。

● 避難訓練の実施

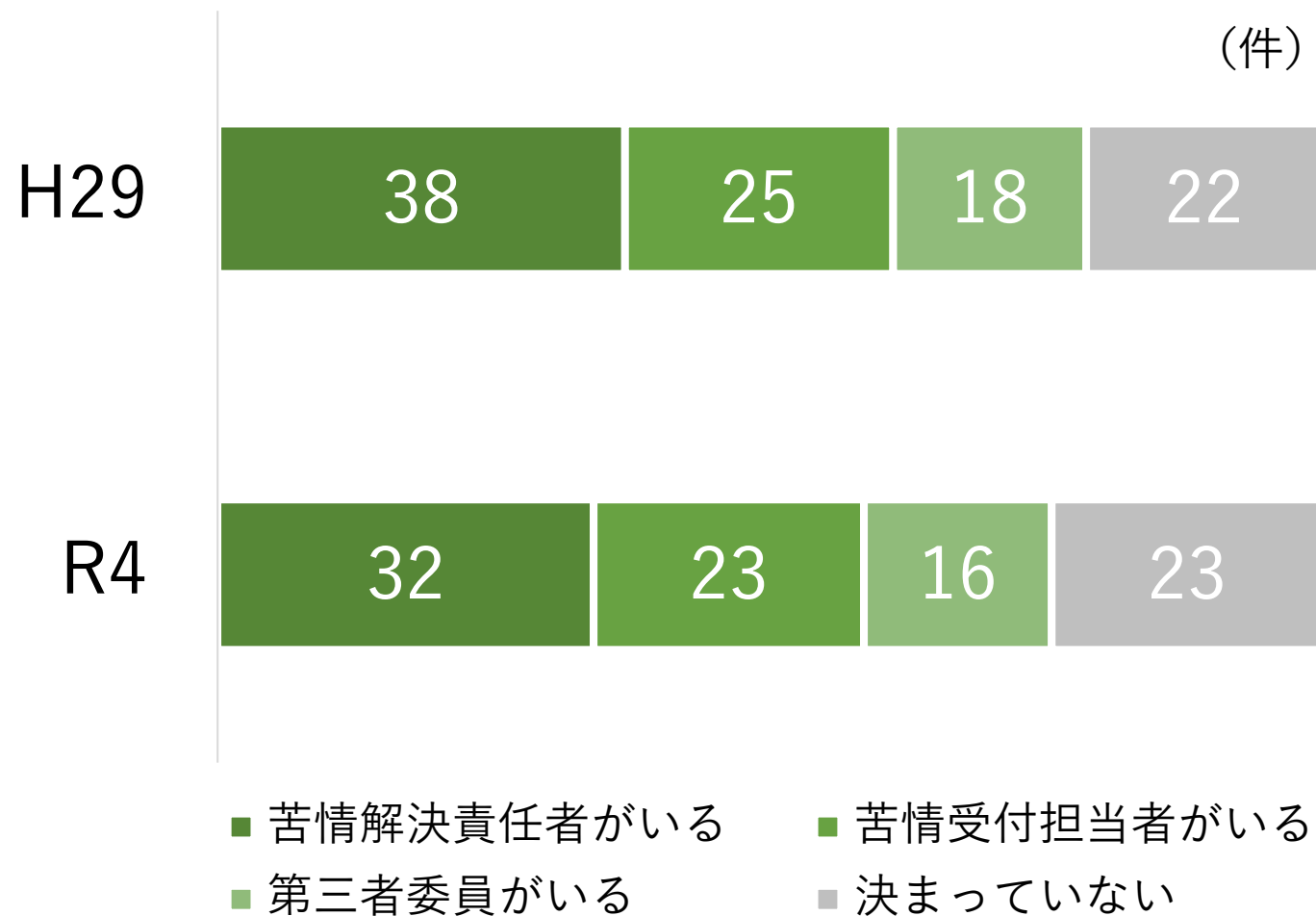


その他の記載内容

- 消防署職員
- 併設された施設職員 など

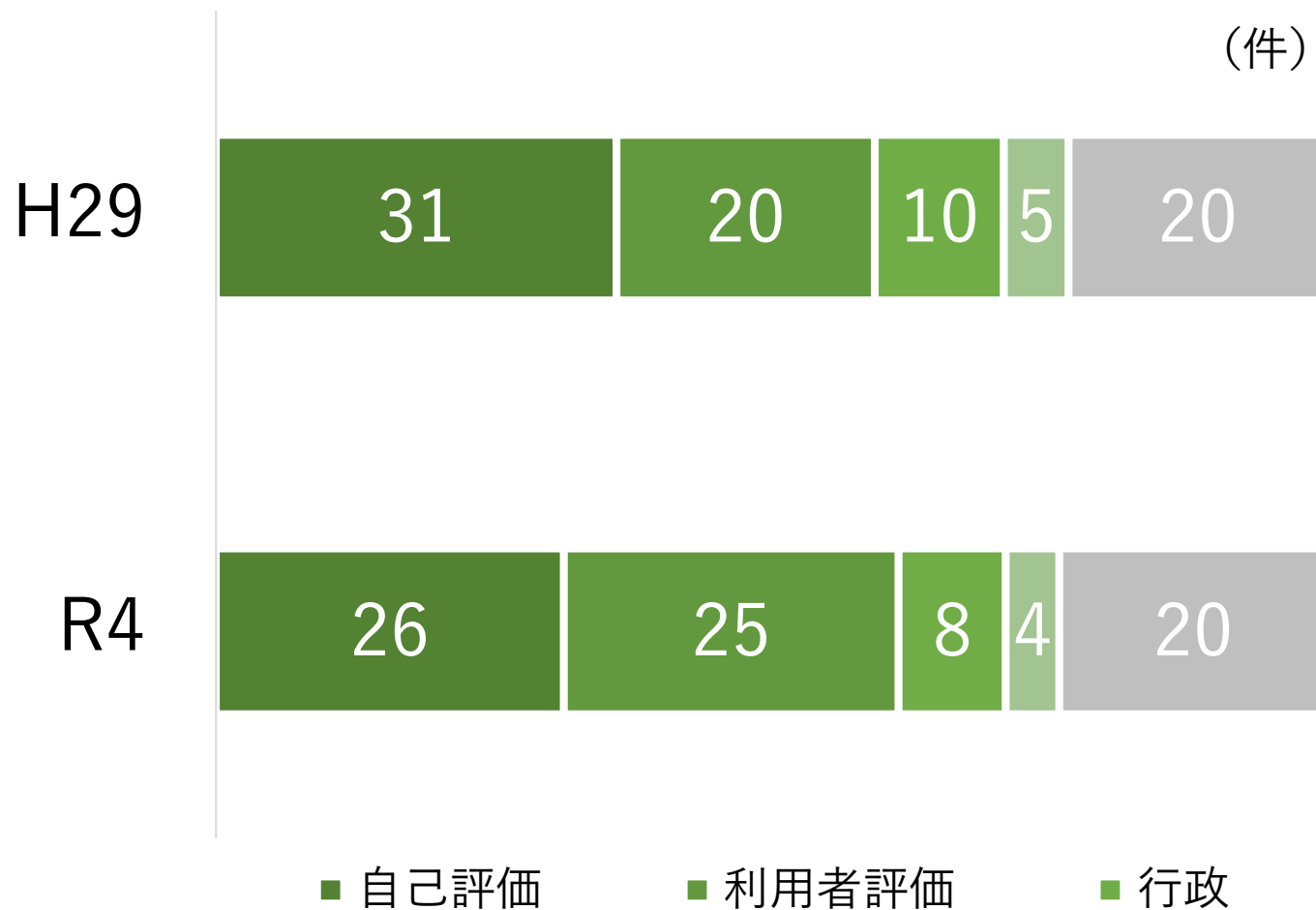
- 令和4年度はすべての館で避難訓練が実施されていた。

● 苦情処理の方法



- 令和4年度において、苦情処理方法が決まっている児童館は65.2%だった。
- 最も多い処理方法は、苦情解決責任者によるものだった(74.4%)。

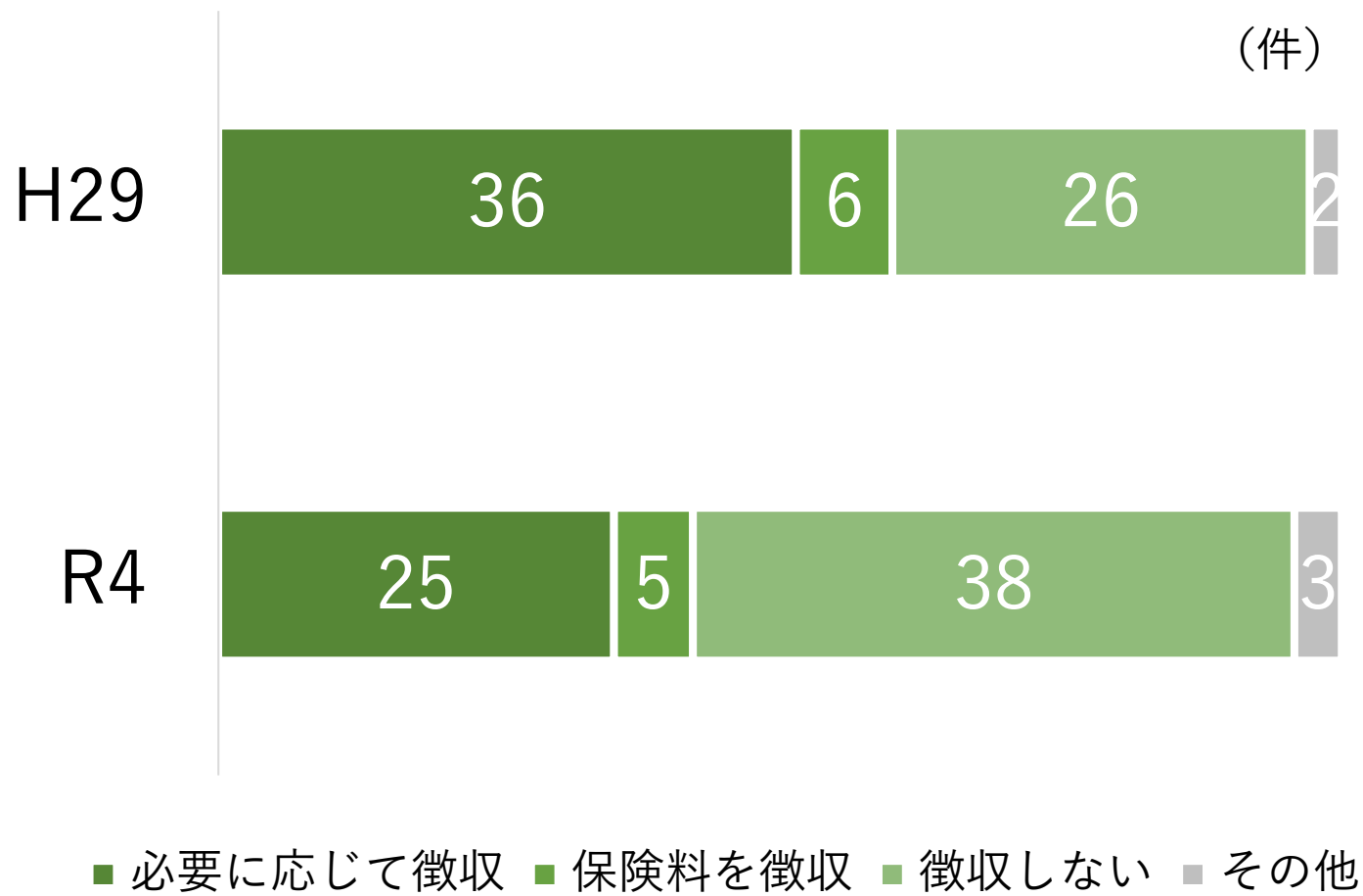
● 評価の実施



「第三者評価」の受審の状況

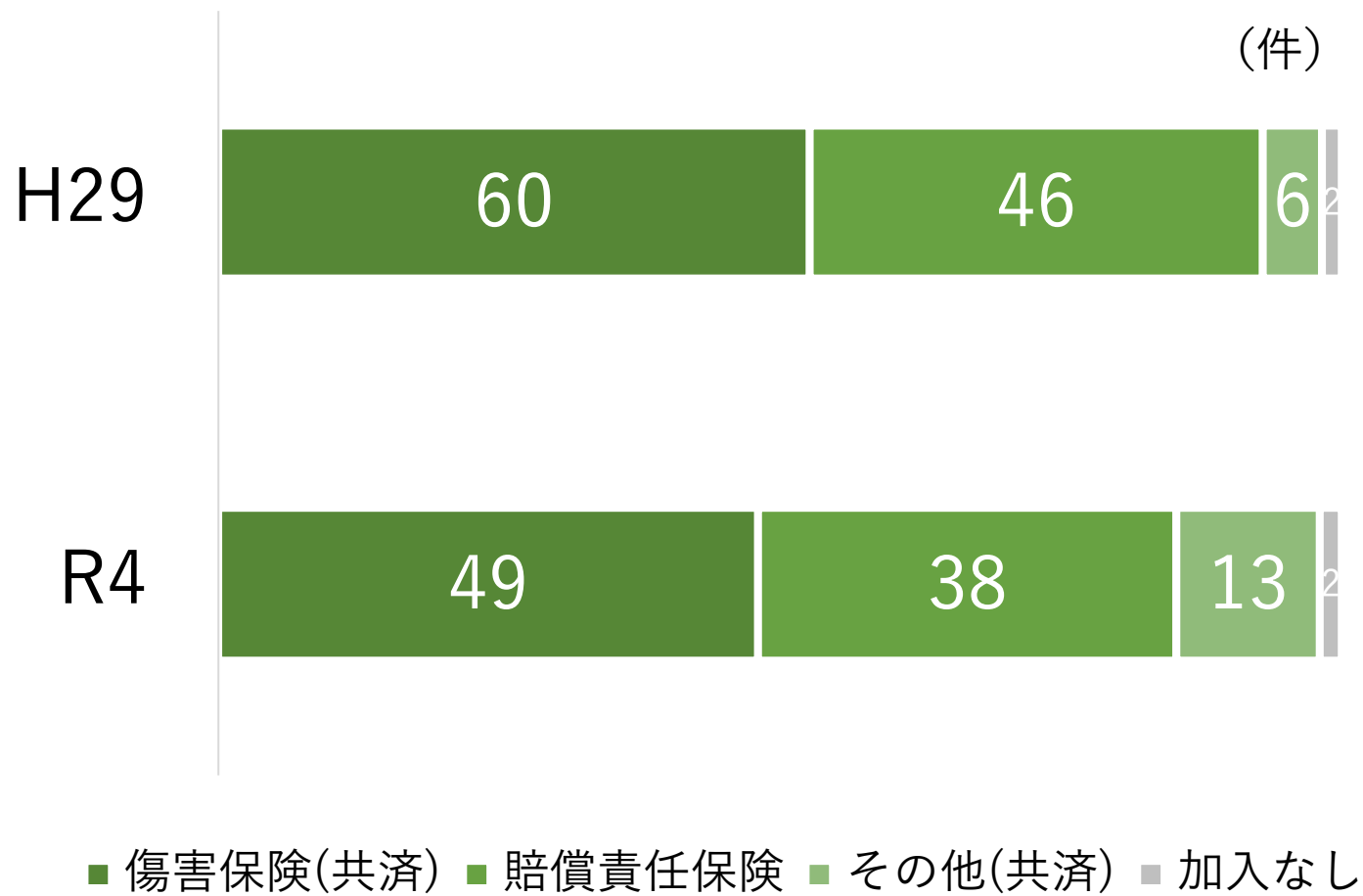
- 定期的に受審 : 3館
- 不定期だが過去に受審したことあり : 1館

● 利用者からの費用徴収



- 利用者から費用を全く徴収しない館が最も多かった(53.5%)。
- 平成29年度同様、入館料などを毎回徴収している館はなかった。

● 児童館利用者用保険（共済）の加入状況



その他の保険例

- 火災保険
- スポーツ安全保険
- レクリエーション保険
- 児童クラブ共済 など

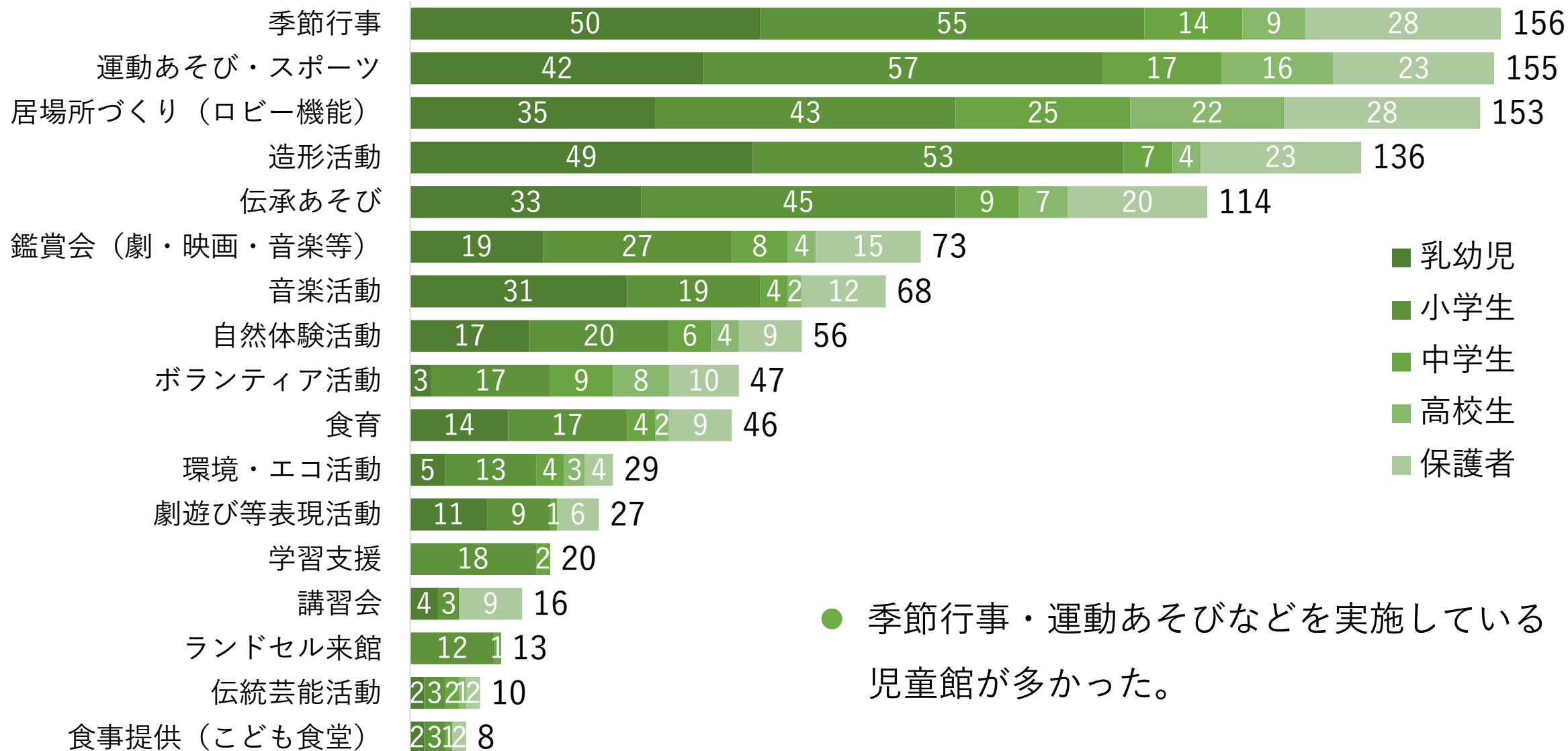
(3) 児童館の活動

● 児童館ガイドラインに基づく児童館の活動内容

| 活動内容 | H29 (館) | R4 (館) | 増減比 (%) |
|------------------------|---------|--------|--------------|
| 遊びによる子どもの育成 | 63 | 61 | -3.2 |
| 子どもの居場所の提供 | 63 | 64 | 1.6 |
| 保護者の子育ての支援 | 59 | 58 | -1.7 |
| 子どもが意見を述べる場の提供 | 31 | 22 | -29.0 |
| 地域の健全育成の環境作り | 37 | 34 | -8.1 |
| ボランティアの育成と活動支援 | 34 | 28 | -17.6 |
| 放課後児童クラブの実施 | 28 | 28 | 0 |
| 配慮を必要とする子ども（要保護児童）への対応 | 27 | 25 | -7.4 |

- 令和4年度は新型コロナウイルスの影響か、子どもが意見を述べる場の提供・ボランティアの育成ができなかった館が多かった。

● 実施活動（事業・取組）の内容と対象

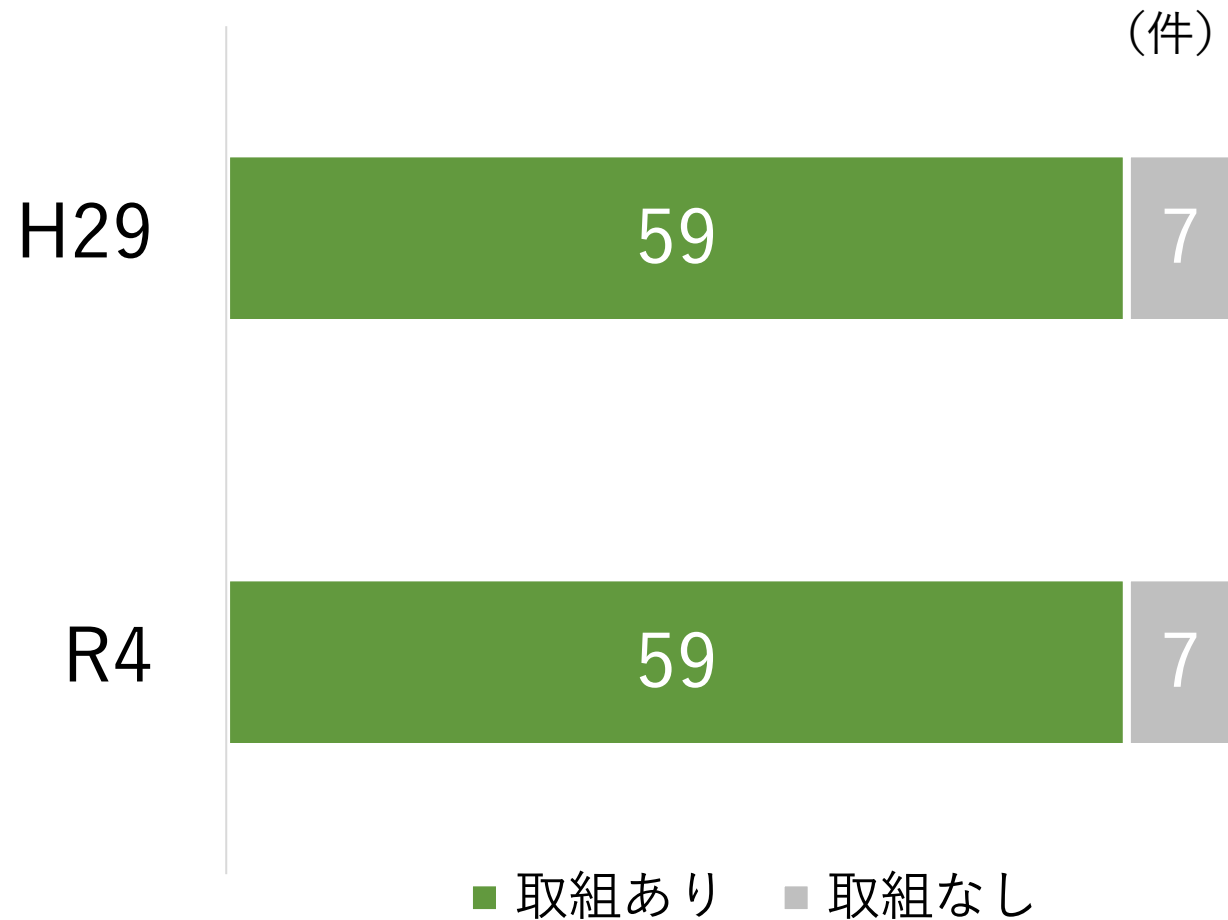


● 季節行事・運動あそびなどを実施している児童館が多かった。

● 特に力を入れている活動

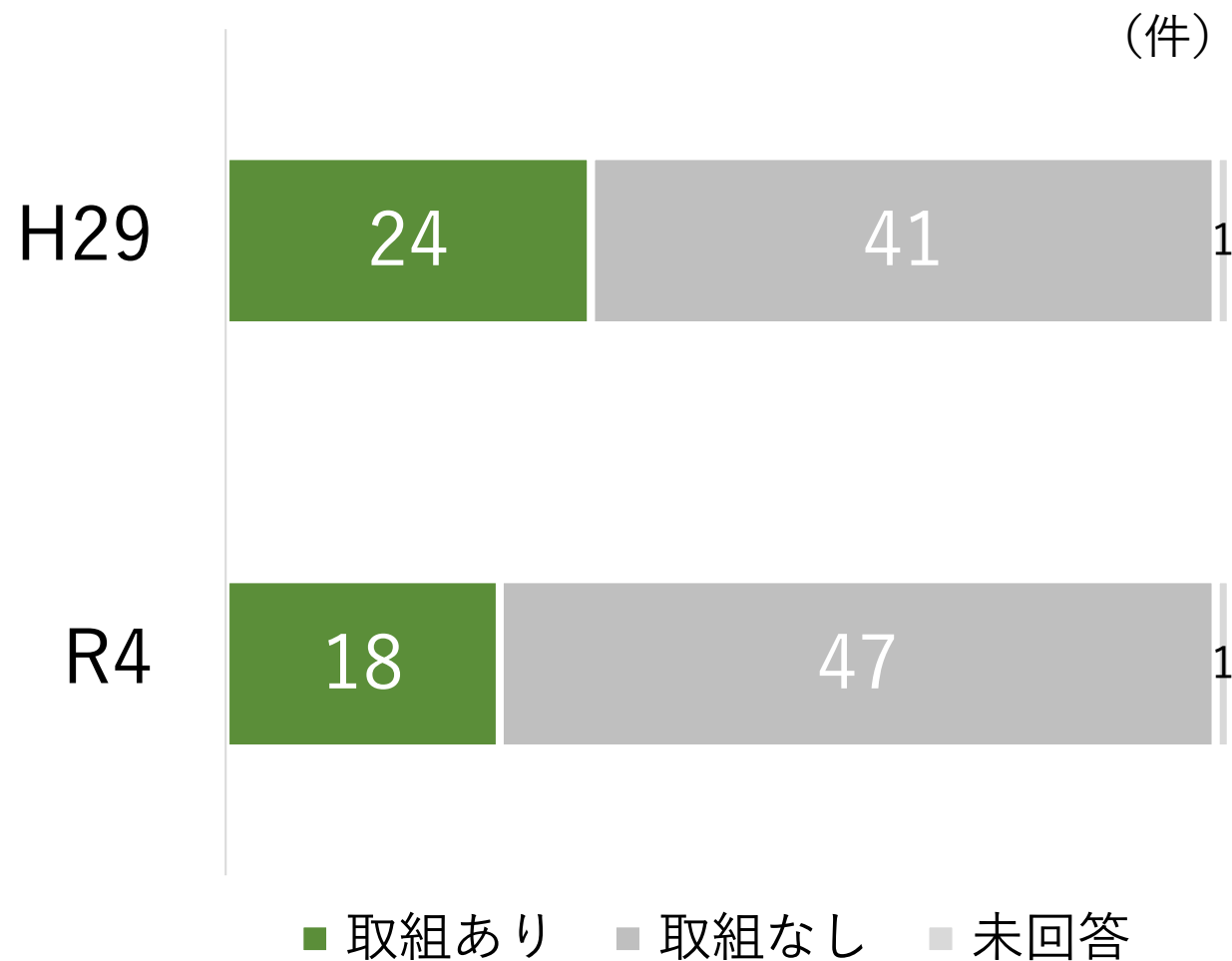
- 異年齢の子どもたちが、同時に安全に安心して過ごせるよう配慮している。
四季を通じて伝統行事を行い、参加者主導形式とし、積極的に体験してもらっている。
- 年間を通じて乳幼児親子向けに開催している「親子で楽しい」遊びを通じ、子ども保護者支援につながるようにしている。
また、乳児期の成長を図る「すくすくデイ」についても、定期的を実施し子育ての悩み相談の場としている。
- 外部講師を招聘し、乳幼児と保護者を対象に実施する子育て支援事業に力を注いでいる。

● 乳幼児とその親を対象とした子育て支援の取組



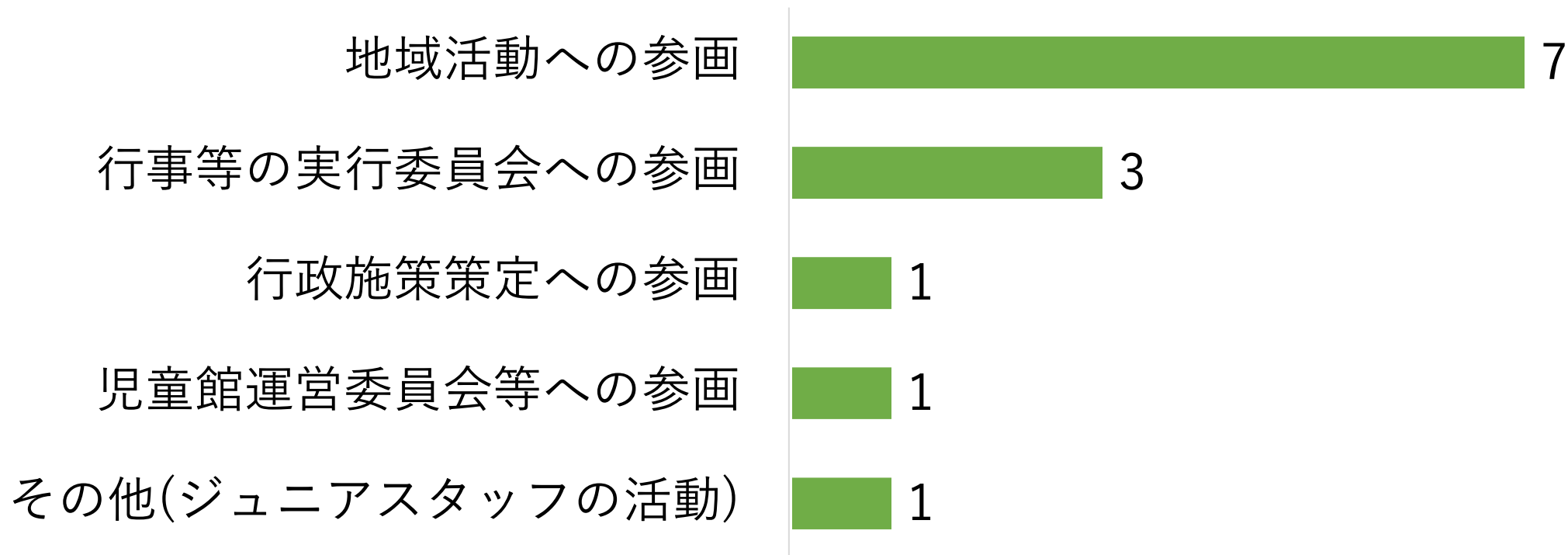
- 平成29年度と令和4年度では、同じ取組数だった(89.4%)。

● 移動児童館（出前児童館）等 アウトリーチ活動の取組



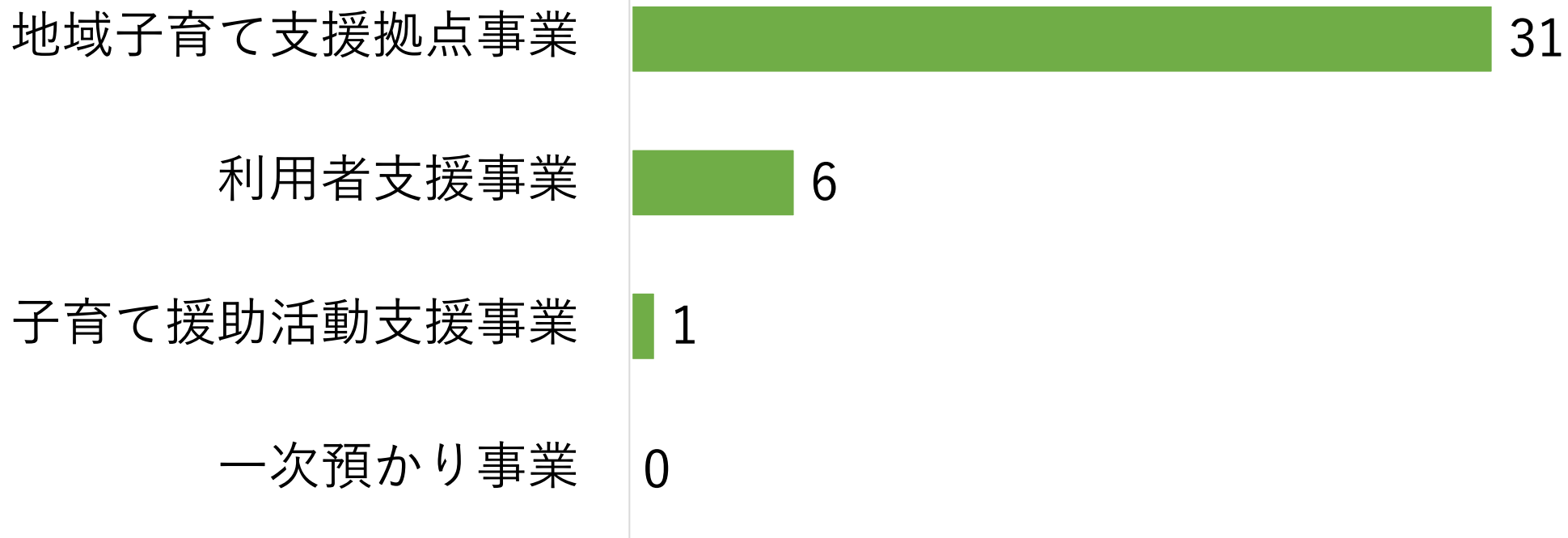
- 令和4年度は全体の27.2%の児童館がアウトリーチ活動に取り組んでいた。
- 令和4年度は平成29年度に比べ、アウトリーチ活動を実施している児童館が減少した。

● 子どもが参画する取組



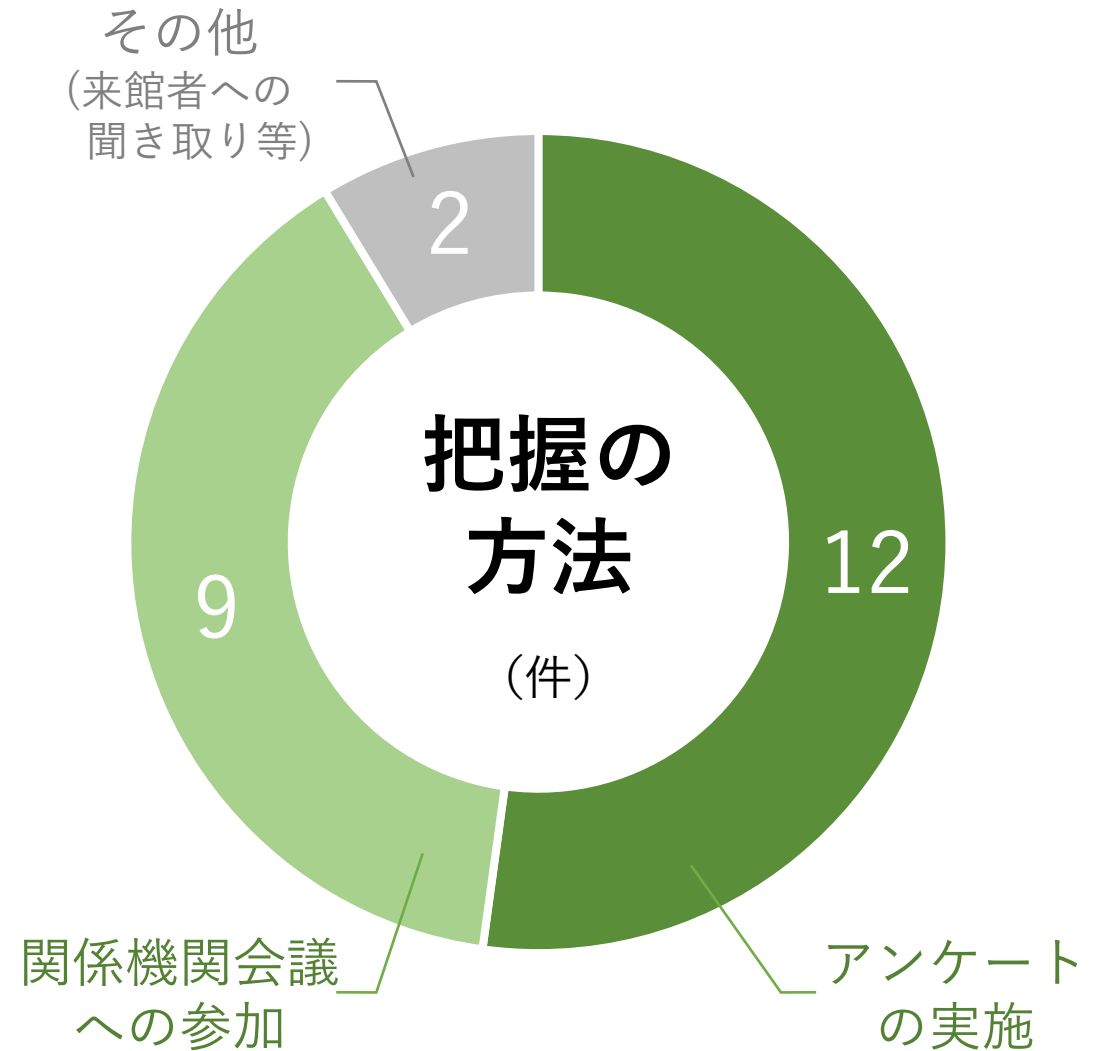
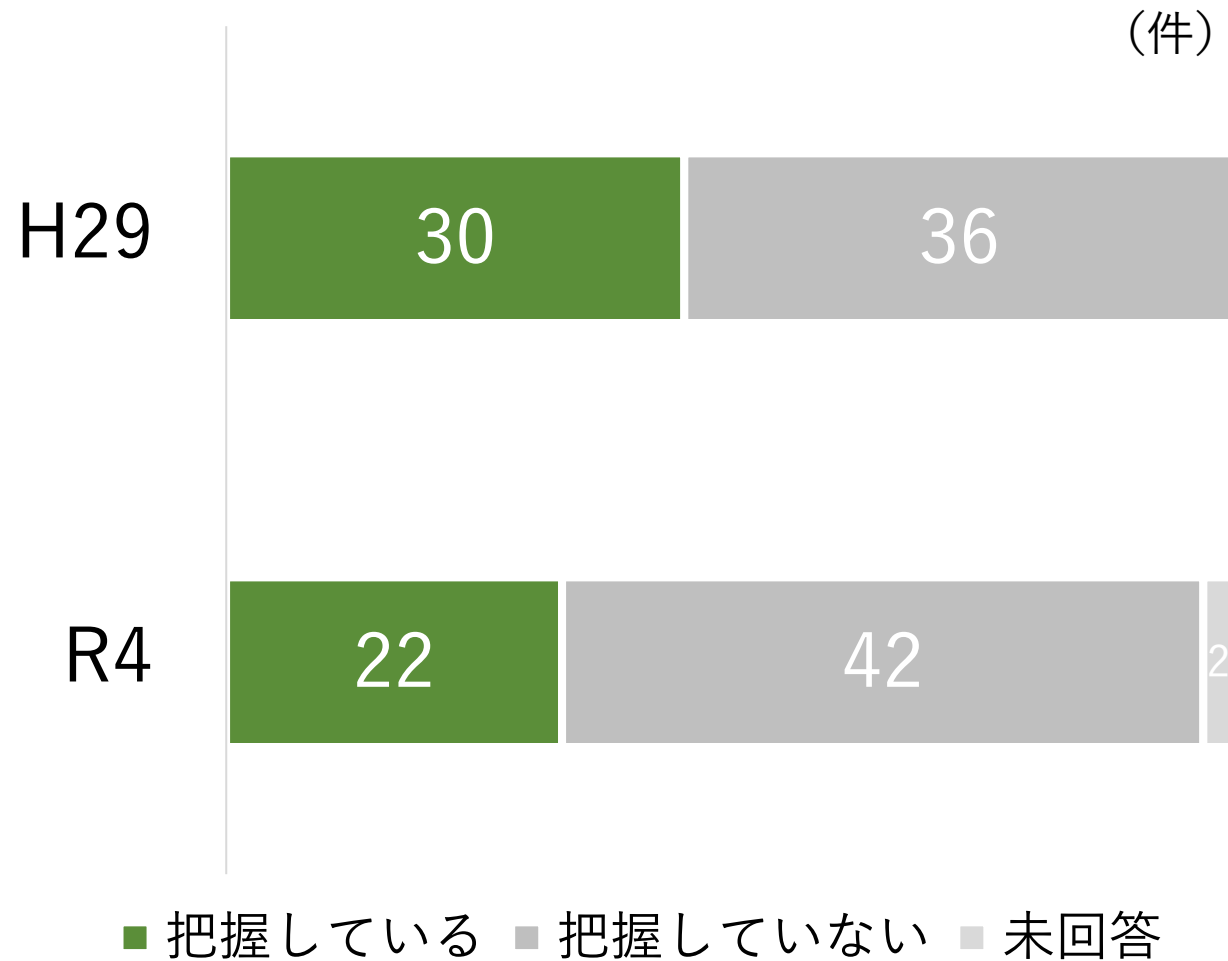
- 66館中、12館より回答があった（複数回答有）。
- 地域活動への参画により、子どもが参画する場を提供している児童館が多かった。

● 地域子ども・子育て支援事業（国際補助対象事業）の取組

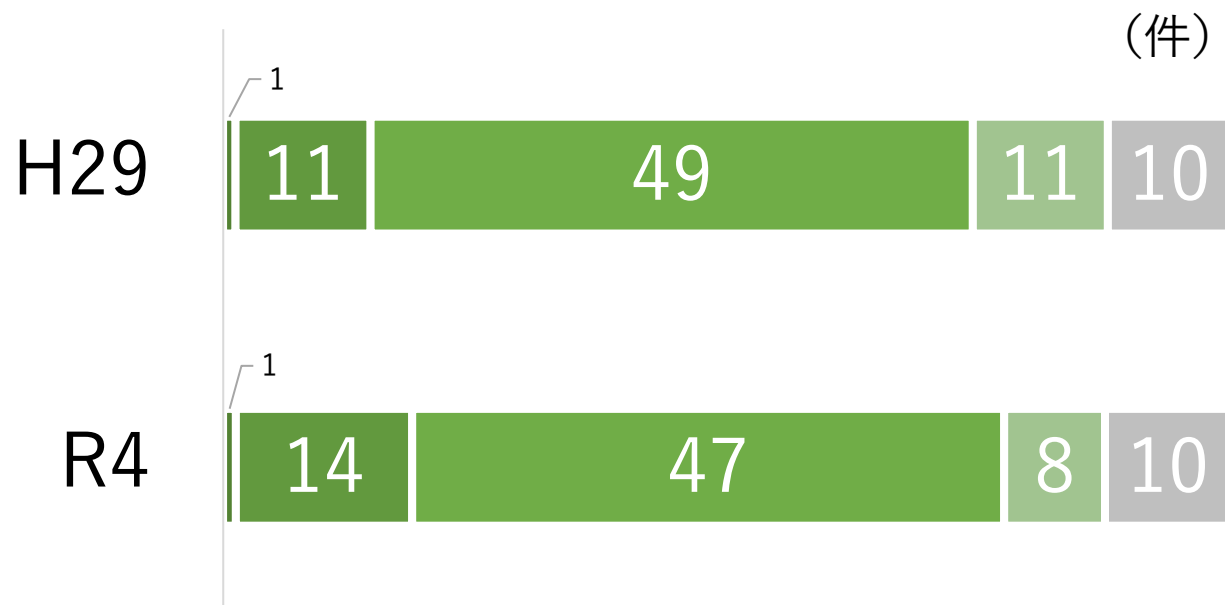


- 地域子育て支援拠点事業により、地域子ども・子育て支援事業に取り組んでいる児童館が多かった。

● 地域の子育て支援ニーズの把握



● 障がい児の利用状況



- 障がい児のみを対象とした行事
- 障がい児を含めた児童を対象とした行事
- 障がい児が自由に来館して利用
- その他
- 利用なし

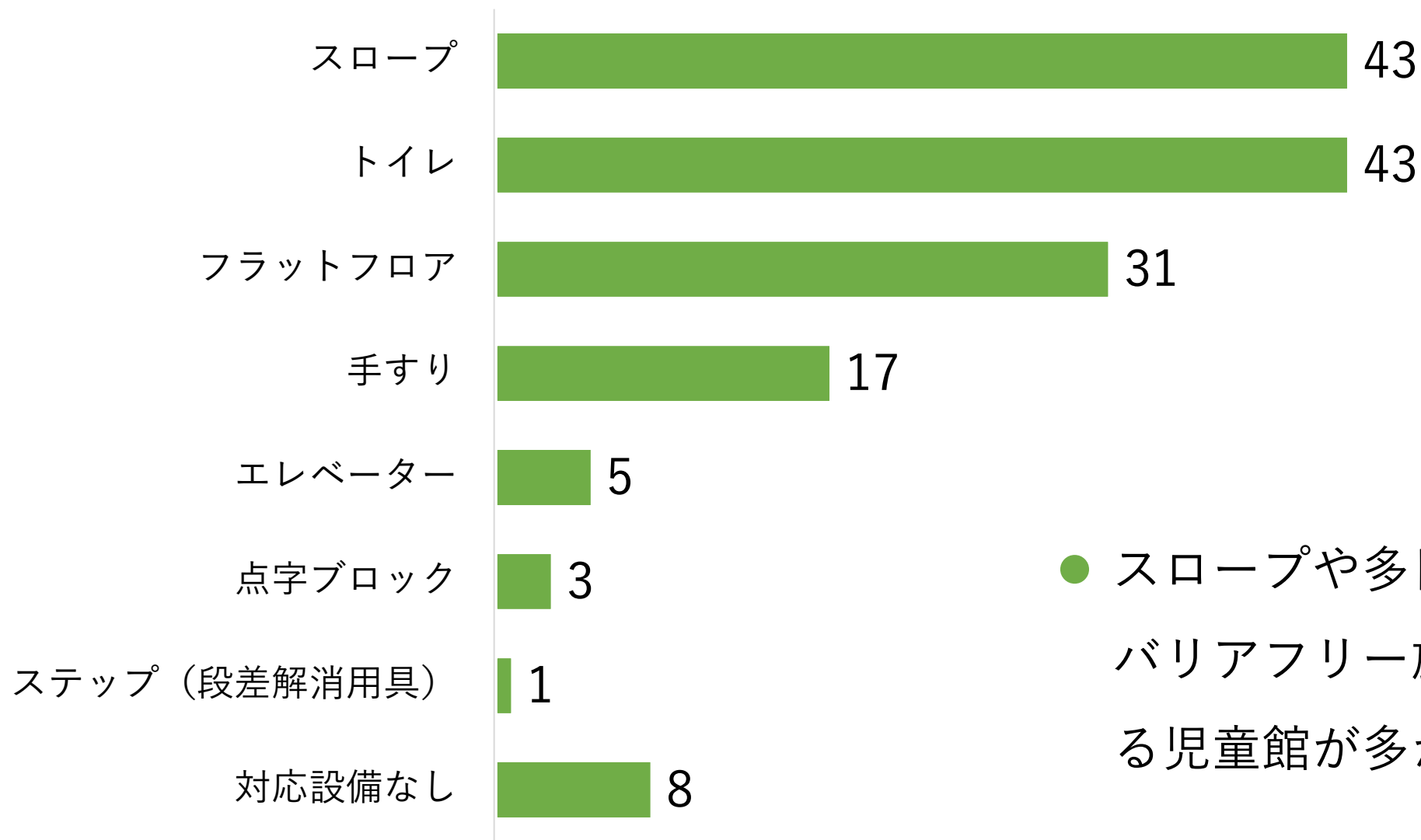
主な「その他」の記載内容

- 放課後等デイサービスの利用
- 障がい児として分けることなく利用を推進している。

主な「利用なし」の理由

- 対応設備がない
- そもそも利用がない

● バリアフリー施設の設備状況

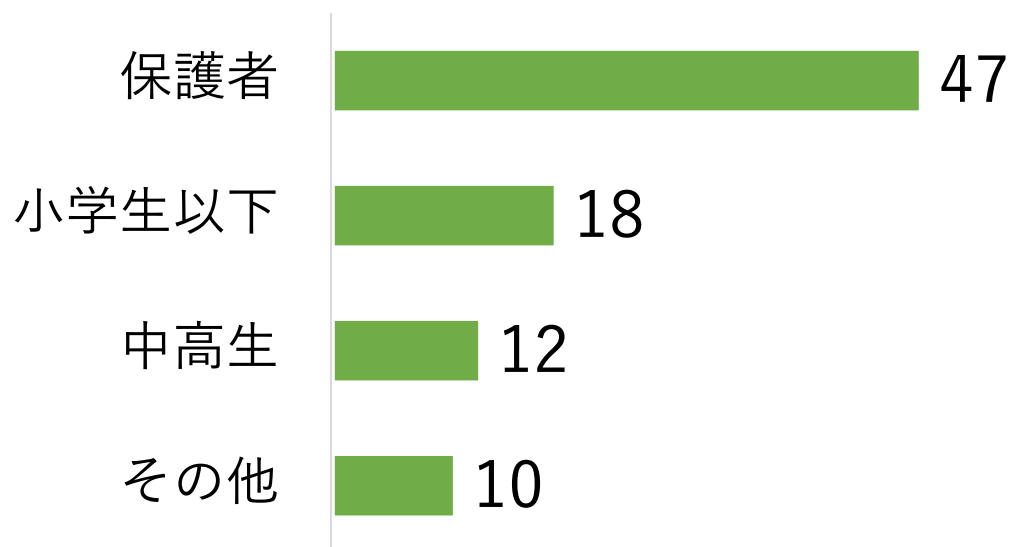


- スロープや多目的トイレなどのバリアフリー施設を整備している児童館が多かった。

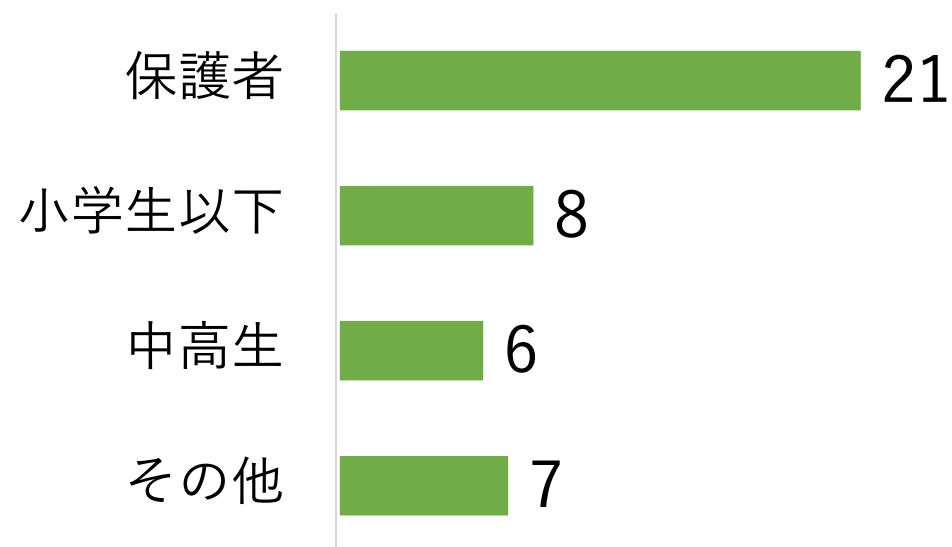
● 児童館職員が対応した相談の年間件数

※ 日常の悩みの聞き取り等を含む

対応した相談件数

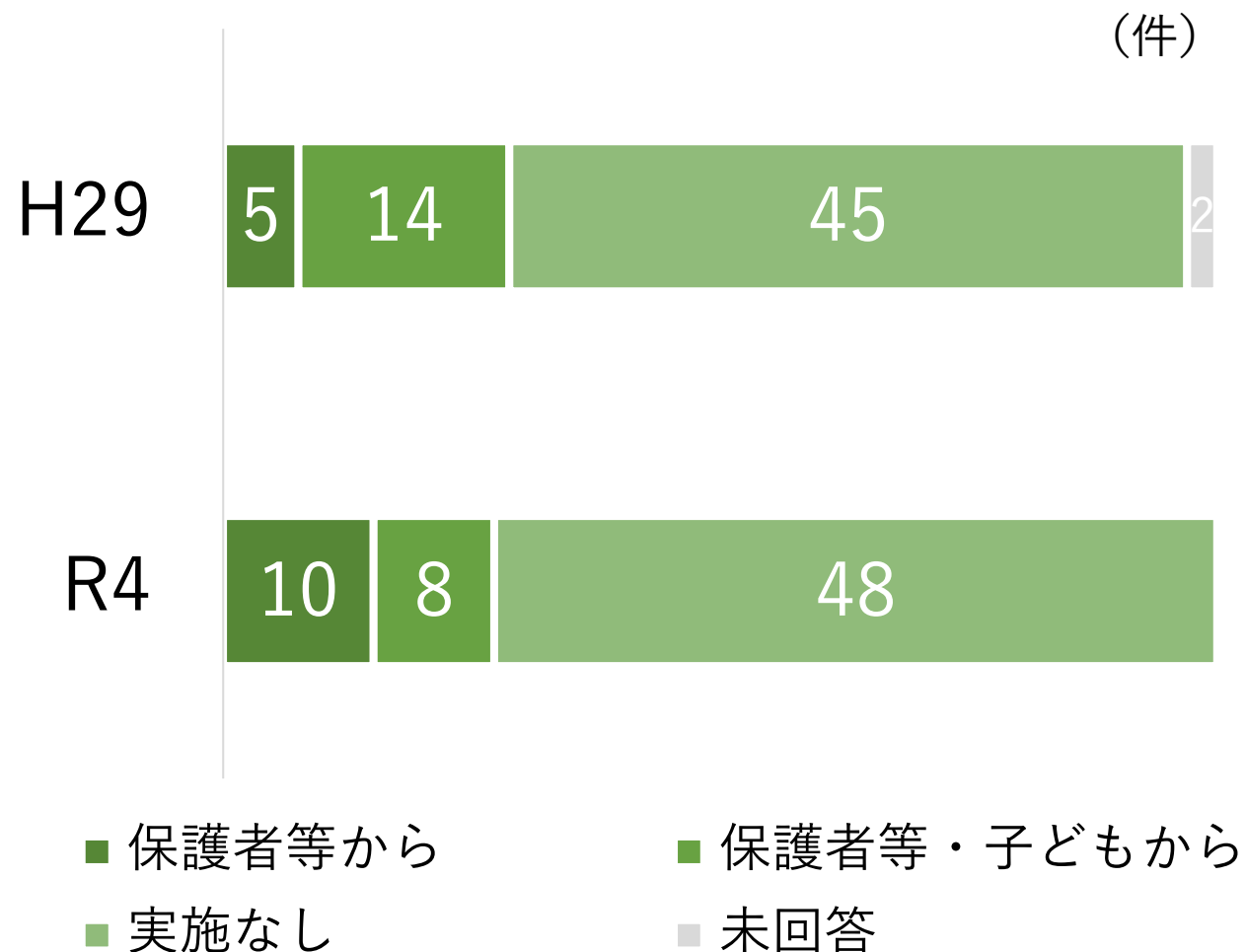


自治体窓口につなげた件数



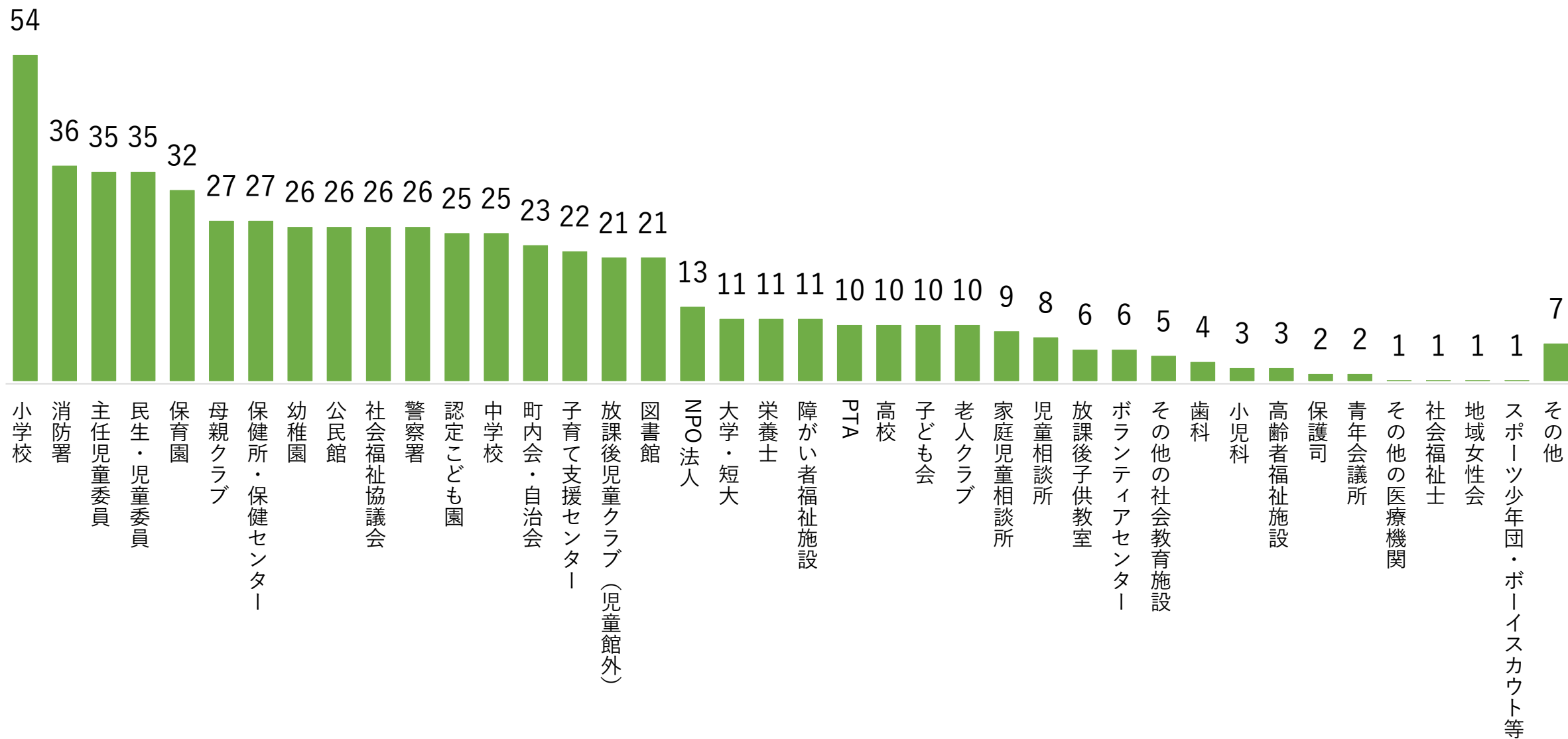
- 相談件数の全体のうち、54.0%が保護者からの相談だった。
そのうち44.6%の保護者は、自治体窓口につなげたことが分かった。

● 相談員による相談対応の実施

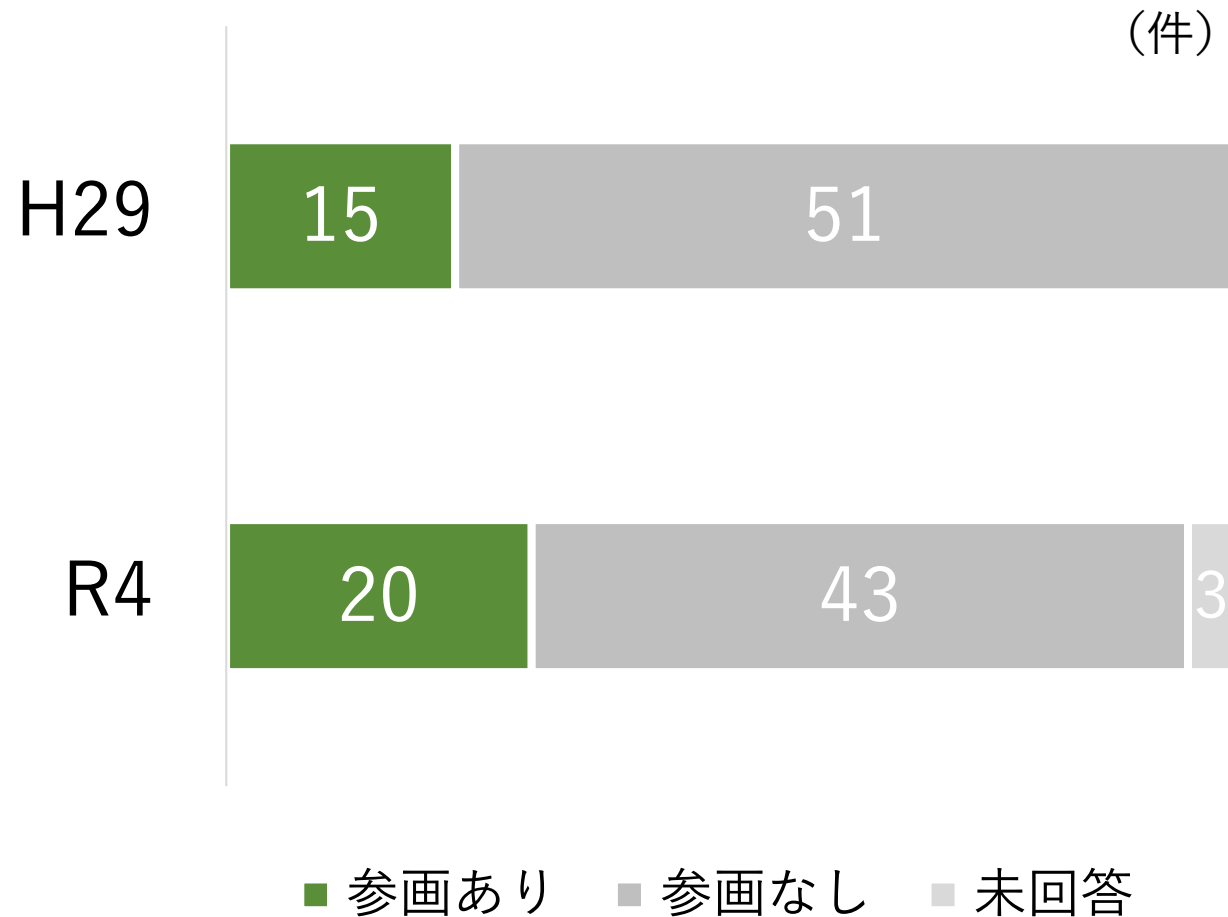


- 平成29年度に続き、令和4年度は相談員による相談対応をしていない児童館が多かった。

● 連携・協力している社会資源

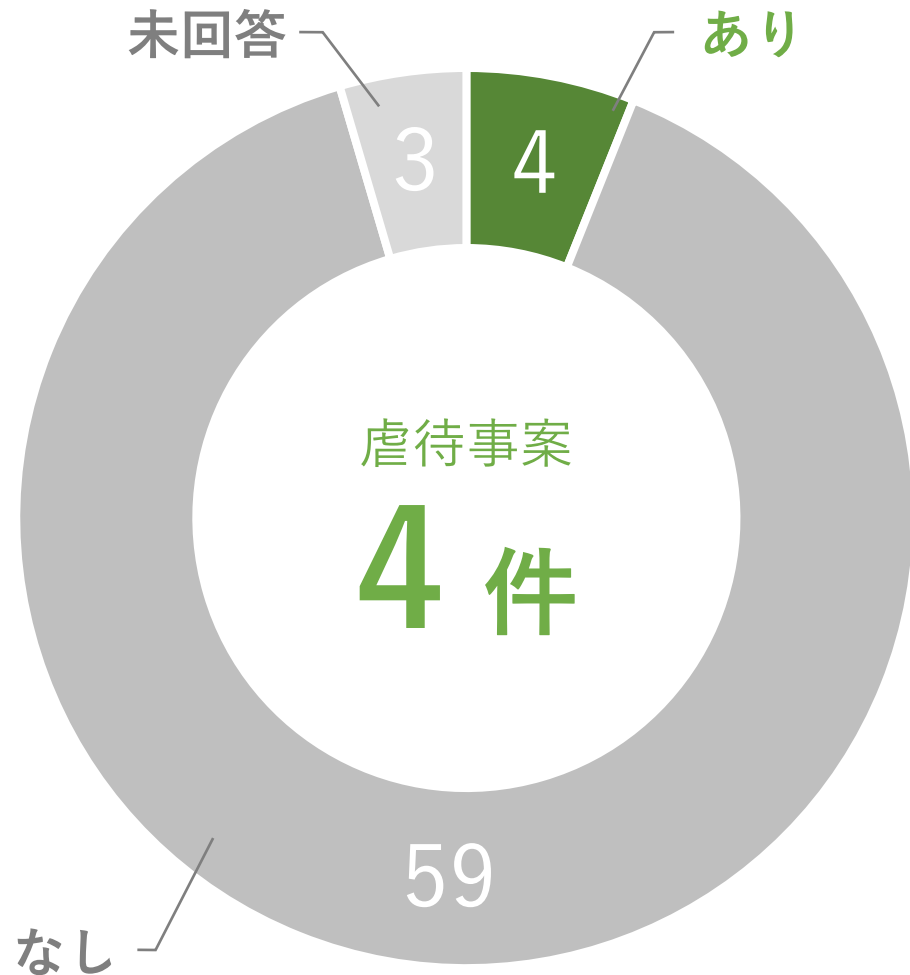


● 要保護者児童対策地域協議会への参加



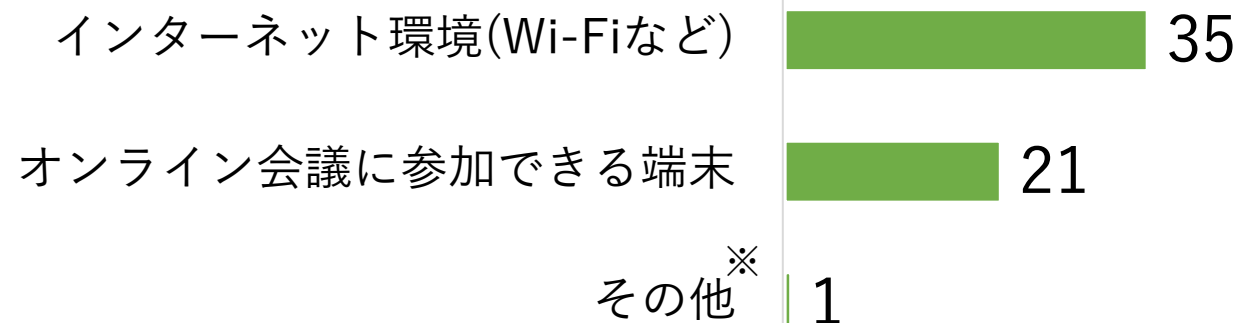
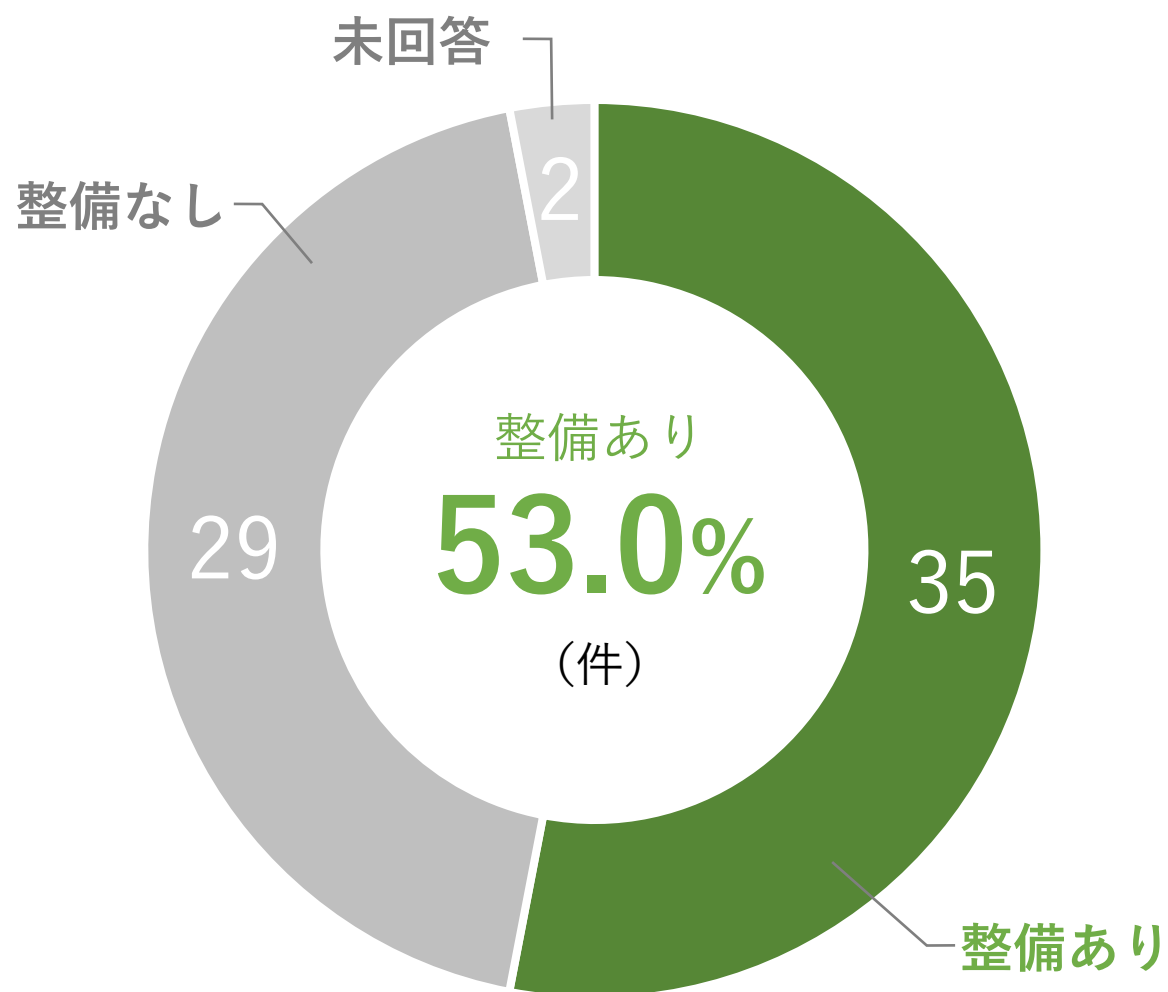
- 平成29年度に比べ、5館が要保護者児童対策地域協議会へ参加していた。

● 児童館が気づいた児童への虐待事案（令和3年度実績）



- 令和3年度は、児童館は4件の虐待事案を発見した。
- 平成29年度は、6件の虐待事案があった。

● ICT環境の整備の有無（新規設問）



※職員用の環境はあるが、入館者用の環境は整えていない

- 半数以上の児童館で、インターネット環境やオンライン会議に参加できる端末などが整備されていた。

● 児童館として重視する取組、将来の展望など（一部抜粋）

- 遊びを通した子どもたちの健全育成
- 各種遊びのプログラム開発と普及
- 育児ストレスや閉塞感を抱えた保護者が増加している中、乳幼児親子が楽しく触れ合い保護者同士が気軽に交流できる環境やきっかけ作りの場を提供する。
- 利用者が増えるであろう日曜日や祝祭日の施設の開放を視野にいれ、関係機関と調整を進めている。
- 今の児童は身近な自然を感じ親しみながら成長したり、色々な子、年齢の子、人とふれあいもまれる経験が特に少なく、失敗経験も少ないので、そういう機会を与えていきたい。
- 地域のコミュニケーションの場となるように色々なイベントなどを考えていく。
- コロナ禍でも児童館で安心安全に遊べるように、消毒など衛生面に気をつけている。

※ 回答の原文を基に、事務局で表記などを修正

● 現状における課題、将来的な課題など（一部抜粋）

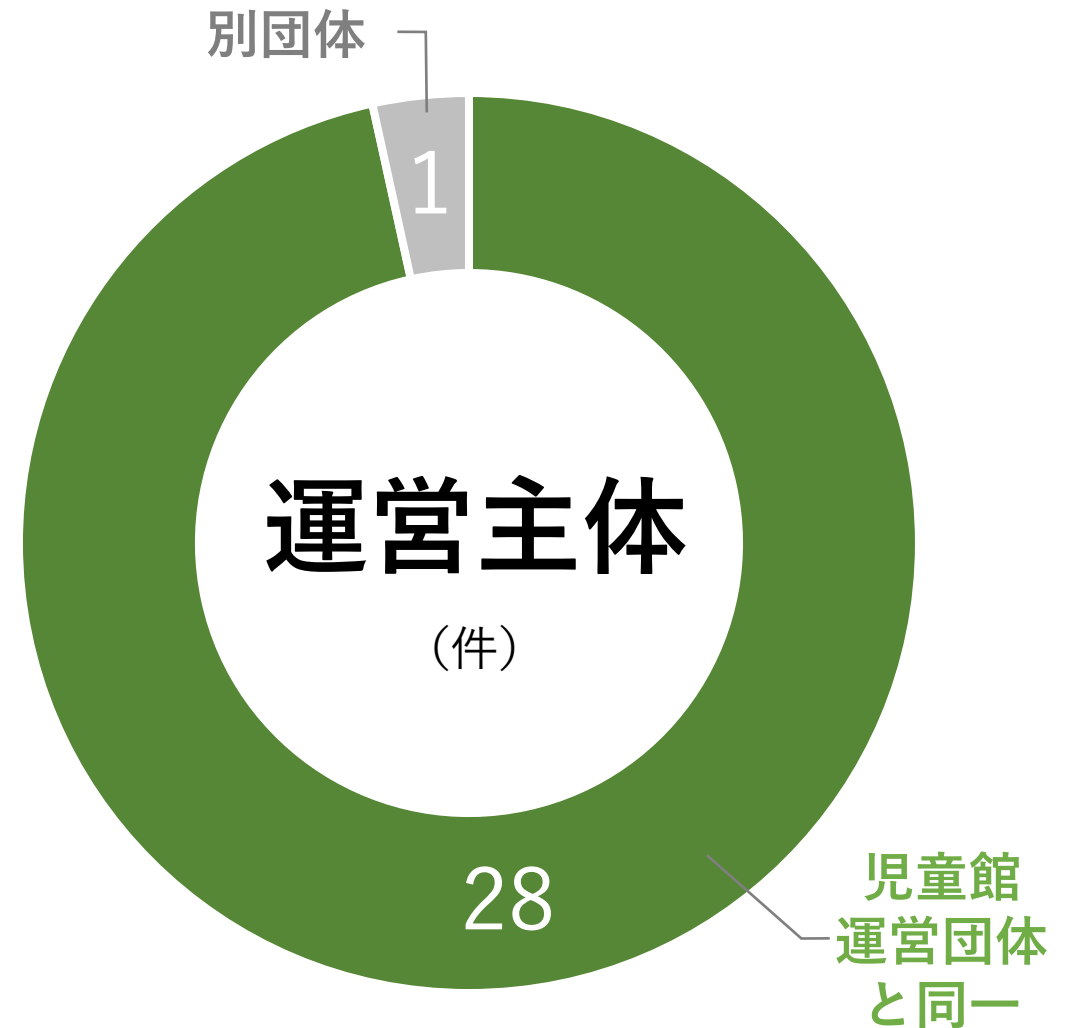
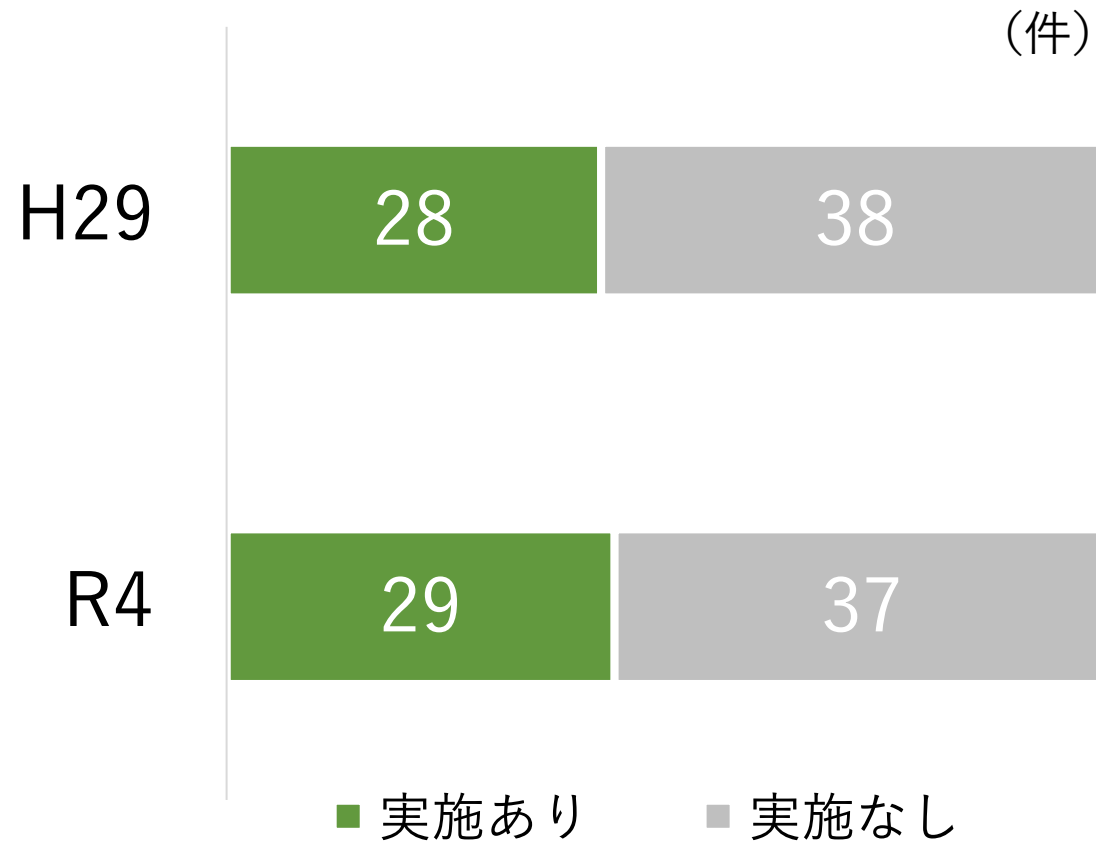
- 少子化が進み、またコロナ禍もあり、以前に比べて来館者の減少が目立っている。
- コロナ禍による来館者数の減少も課題とし、行事も形を変えていかなければならない。
- 子どもの遊びや習い事や学校行事は急速に変化している。児童館そのもののあり方を考え直す必要性を感じる。
- 相談や子育て講座、読み聞かせなど、様々なイベントや支援の活動を進めていますが、参加者があまり増えず悩んでいる。
- 補助金がとにかく少なく、何回か著名活動、市長交渉をしたがほとんど効果が無く、満足な人員配置ができていない。
- 児童厚生員の確保と児童厚生員の高齢化

※ 回答の原文を基に、事務局で表記などを修正

(4) 放課後児童クラブ

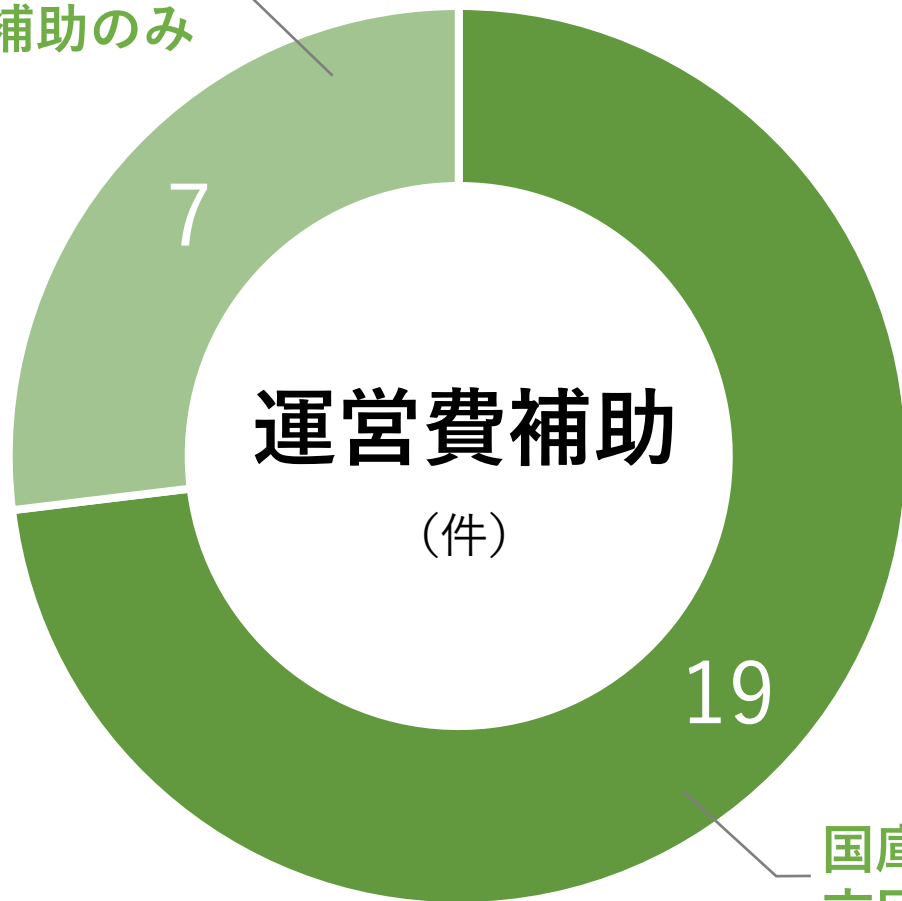
● 児童館での放課後児童クラブ実施状況・運営主体

実施状況



● 運営費に対する補助

市町村の
単独補助のみ



運営費補助

(件)

19

国庫・都道府県・
市区町村の補助あり

- 73.1%の放課後児童クラブが、国庫・都道府県・市区町村の補助を受けていた。

● 登録児童人数（令和4年10月1日現在） ・ 開所日数（令和3年度）

登録児童人数



- ~40人 ■ 40人~ ■ 70人~
- 100人~ ■ 130人~ ■ 160人~

開所日数



- ~250日 ■ 250日~ ■ 280日~

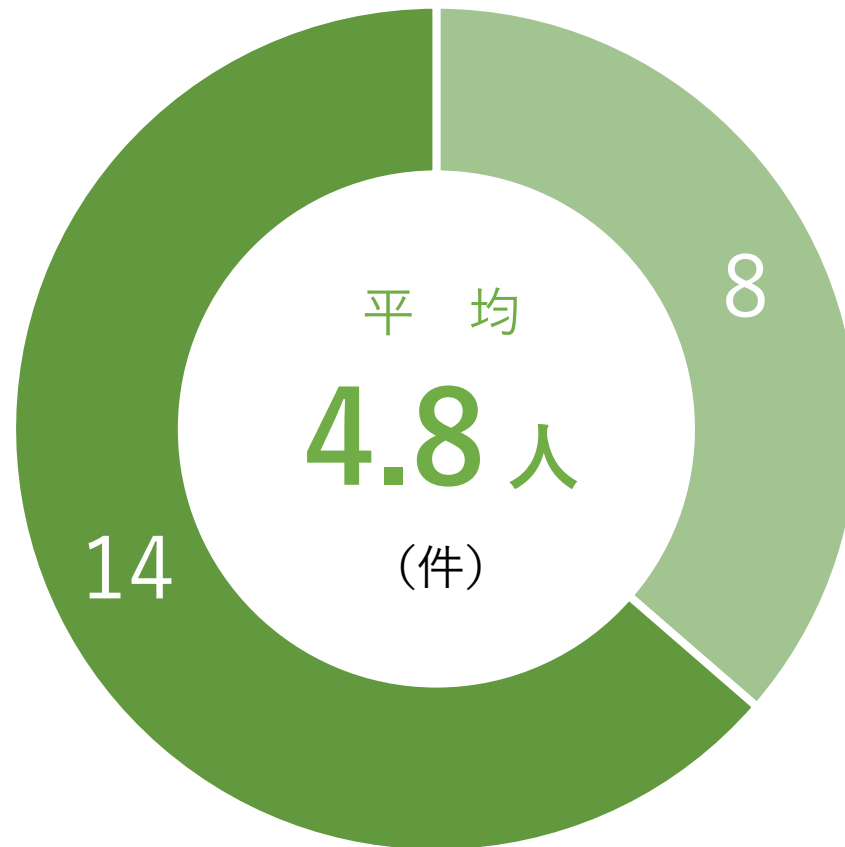
● 放課後児童支援員の人数

支援員総数



■ 1~5人 ■ 6~10人 ■ 11人~

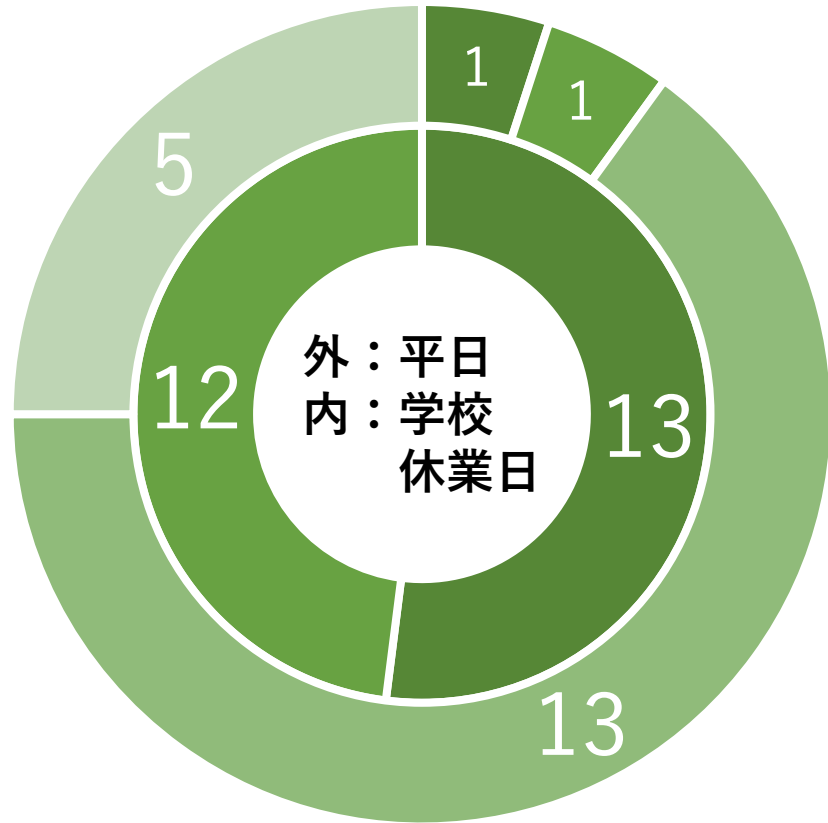
認定資格研修 修了者



■ ~5人 ■ 6人~

● 放課後児童クラブの開設日・時間

開始時間



■ 7時台 ■ 8時台 ■ 9時台 ■ 11時台以降

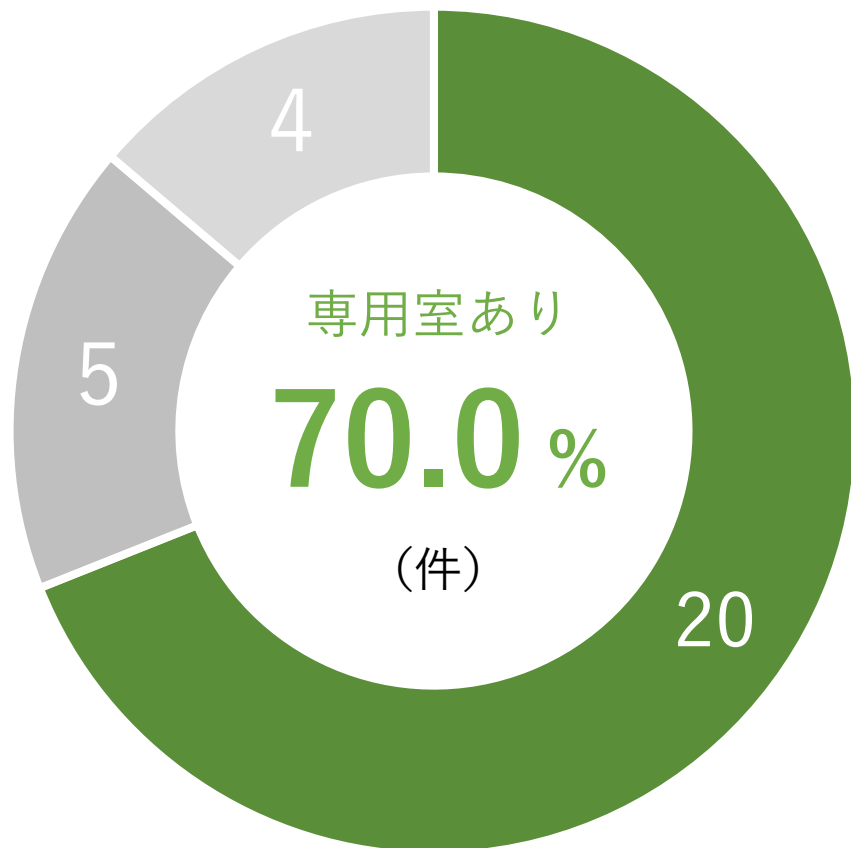
終了時間



■ 17時台 ■ 18時台 ■ 19時台

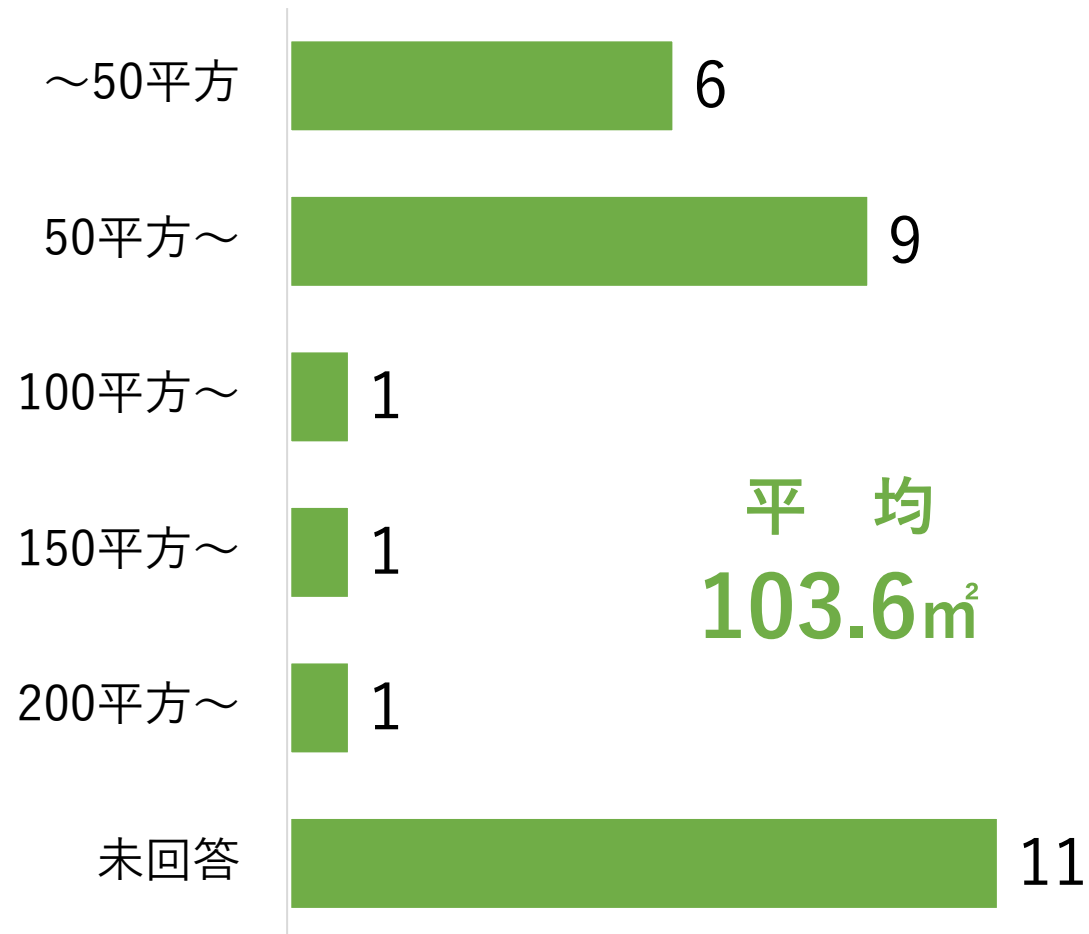
● 児童館内での専用室の有無

専用室の有無



■ あり ■ なし ■ 未回答

専用室の床面積



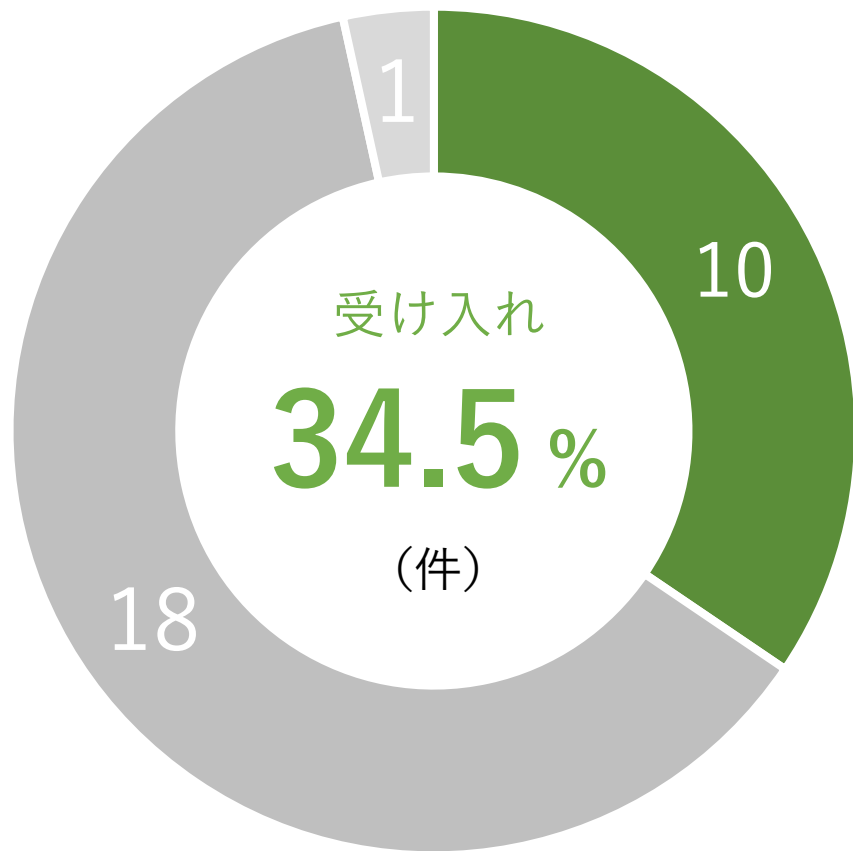
● 利用できる学年



- 24館(82.6%)が、すべての学年で利用ができる館だった。

● 障がい児の受け入れ

受け入れ有無



■ あり ■ なし ■ 未回答

受け入れ人数

